

総務常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	担 当 課
1	新総合計画に対する意見及びその対応について	企 画 政 策 課
2	行政改革次期計画の策定について	
3	押印の見直し状況について	
4	旧大窪支所、旧片浦支所及び旧曾我支所の利活用について	公 共 施 設 マネジメント課
5	(仮称) 公共施設包括管理業務委託の事業化に向けたサウンディング型市場調査の結果について	
6	デジタル化によるまちづくり推進事業等の進捗状況について	デジタリイノ ベーション課
7	市有財産（ハイツ寿）の売却の再募集について	管 財 課
8	放置自転車の移動・処分等の事務における通知漏れ事案に係る対応について	地 域 安 全 課
9	持続可能な消防団体制のあり方に関する検討の開始について	消 防 課

令和3年11月12日

新総合計画に対する意見及びその対応について

1 総合計画審議会からの一次答申

- 総合計画審議会では、計画全般に係る事項及び基本構想について4回の議論を経て一次答申を取りまとめ、令和3年（2021年）10月7日（木）に市長に手交。
- 一次答申では、基本構想案の方向で概ね妥当であると判断した上で、全体的な方針に関し意見を述べ、適切に総合計画案に反映するよう求めている。
- 現在、総合計画審議会では、実行計画に係る議論が進められており、第10回会議（12月9日）を経て、二次答申を取りまとめていく予定。

【参考資料1-1】第6次小田原市総合計画基本構想・実行計画案について（一次答申）

2 パブリックコメント及び市議会会派ごとに提出された意見への対応

- 第6次小田原市総合計画行政案に対するパブリックコメントによる意見及び市議会会派ごとに提出された意見について、現時点での市の考え方を整理。
- 当該意見については、総合計画審議会に資料として提示し、審議に当たって参照いただいている。
- 計画への最終的な反映結果については、令和3年度末を目途に公表する予定。
- なお、対話の場については、10月末までに68回（参加者910名）開催しており、その概要については、整理でき次第公表する。

		パブリックコメント	市議会会派
件数 (該当箇所)	全体	19 件	5 件
	序論	11 件	8 件
	基本構想	13 件	10 件
	実行計画	189 件	48 件
合計		232 件	71 件

【参考資料1-2】総合計画行政案に対するパブリックコメントによる意見対応一覧

【参考資料1-3】総合計画行政案に対する市議会会派からの意見対応一覧

3 計画策定の今後の流れ

- 基本構想については、総合計画審議会からの一次答申や市民意見等を踏まえて修正を行い、12月定例会に議案として提出する予定。
- 実行計画については、総合計画審議会からの二次答申（12月下旬）を踏まえ、2月上旬に取りまとめた上で、議会に報告する予定。

参考資料1-1

総計審第1号

令和3年(2021年)10月7日

小田原市長 守屋 輝彦 様

小田原市総合計画審議会

会長 出石 稔



第6次小田原市総合計画基本構想・実行計画案について(一次答申)

令和3年(2021年)8月23日付け企第40号で諮問のあった第6次小田原市総合計画基本構
想・実行計画案について、慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり答申します。

一 次 答 申

今般諮問された第6次小田原市総合計画基本構想及び実行計画案のうち、本審議会では4回にわたり計画全般に係る事項及び基本構想について議論した内容を、一次答申として取りまとめた。実行計画については、引き続き、本審議会における議論を進め、二次答申として取りまとめていくこととする。

本一次答申では、全体としては、第6次小田原市総合計画基本構想案の方向で概ね妥当であると判断した上で、全体的な方針に関し意見を述べることとする。なお、一次答申に加え、本審議会で出された意見については、市当局で検討を進め、適切に第6次小田原市総合計画案に反映されたい。

現在は、少子高齢化、価値観の多様化、気候変動、グローバル化など、課題は量質ともに困難さを増し、目下の新型コロナウイルス感染症にも的確に対応していかなければならない。こうした社会経済情勢の変化が激しく、先の見通しが難しい時代であるからこそ、小田原市が目指す2030年の姿を分かりやすく示し、多くの共感を得ながら、取組を進化させていくことが必要となる。

これまでの市民力や地域力を生かした協働の取組を土台とし、公民連携やデジタル技術の活用を新たな推進エンジンとして、性別や年齢、在住・在勤に関わらず、意欲を持った人がチャレンジでき、活躍できる環境を整えながら、多様な主体と行政が一丸となって、幸せを実感できる持続可能な地域社会が形成されていくことを期待する。

第6次小田原市総合計画全般

- 第6次小田原市総合計画案では、小田原市が目指す2030年の姿と実現への道筋を掲げており、計画策定やその推進にあたっては、今後の小田原を担う子どもや若者の声を聴く取組をはじめ、小田原の未来を考える機会を積極的に設け、共に小田原市が目指す2030年の姿を実現していく機運を醸成していく必要がある。
- 市民の皆さんが、第6次小田原市総合計画の特色イメージがしやすい言葉を小田原の歴史から抽出することや、「世界が憧れるまち“小田原”」にどう向かっていくのかを明確にし、それらを広く発信していくことで、第6次小田原市総合計画の浸透が図られると考える。
- 第6次小田原市総合計画案は、全体的に未来に向けて責任を果たすSDGsの考えを読み取れるところが少ない。SDGs未来都市に選定されている自治体として、経済・社会・環境及びこれらを統合的に取り組むSDGsの考えを盛り込むとともに、計画体系の見せ方を工夫していく必要がある。
- 第5次小田原市総合計画の推進エンジンである市民力や地域力を生かした課題解決や協働の取組を土台としていく考えが示されているが、地域別計画の位置づけを明確にするとともに、この機を捉えて、地域コミュニティ関連の組織や取組について、市民の皆さんが分かりやすく、住みやすさの実感につながるよう整理すべきである。
- 社会が複雑化し変化のスピードが速い時代にあって、小田原市が目指す2030年の姿を示したうえで、多様な主体の意見を聞きながら取組を柔軟に進化させていくとともに、計画と推進のタイムラグを生じさせないよう、取組の推進を念頭に置くことを望む。
- 計画の進捗を評価・共有するうえで、指標の設定は大きな意味を持つ。この指標については、全体像が見えるよう、大きな指標とそれに関連する小さな指標という階層構造を示していく必要がある。また、状況の変化や目標設定のミスマッチに対し、指標を柔軟に軌道修正する考えや、SDGsの視点による施策間の連動性を踏まえた評価についても検討を進めてほしい。

基本構想

- 基本構想は抽象的な表現が多くなっているため、「世界が憧れるまち “小田原”」の実現に向けた小田原ならではの取組については、今後の実行計画（重点施策、施策・詳細施策）の議論が非常に重要となる。この点は、二次答申において示していく。

1 まちづくりの理念と 2030 年に目指すまちの姿

- 「世界が憧れるまち」では、何に憧れを抱くのか。世界の都市を見渡せば、外の人に向けて憧れをつくるという考えではなく、そこに住む人たちがまちを好きになること、そして、シビックプライド（まちへの誇り）が醸成されていることが鍵となっている。
- 小田原には、歴史や文化、自然環境、そして人といった素晴らしい地域資源がある。こうした資源を生かした取組を進め、自分たちの身の丈にあったまちをつくる、まちへの愛着を高め、住み続けたいと思える小田原にしていく、そして、発信に力点を置きながら、「世界が憧れるまち」として国内外から認められる道筋とするべき。
- これまで蓄積されてきた市民力は小田原の財産である。公民連携の取組も含め、活動の見える化と市民の関心・関与を促進する両面の取組により、まちに関わる気持ちを醸成していくことが必要となる。
- 小田原に行ってみたい、住んでみたい、住み続けたいという流れは連動している。特に、行ってみたいの観点では、今後のインバウンドの動向や地域の足である公共交通のあり方等を念頭に置くとともに、国内外の人が小田原をどう思っているかなど外からの目線を踏まえ、具体的取組においてターゲットやアプローチを明確化し、地域資源を生かした取組を展開していく必要がある。
- 人口 20 万人規模の都市を目指していくことについて、実行計画の人口シナリオにおいて言及はあるが、都市機能を整備し一定の経済循環を実現するためには、小田原市を中核とする広域的な取組が不可欠になると考える。

2 まちづくりの目標

- 3つのまちづくりの目標それぞれに小田原市が目指す2030年の姿を示しているが、あわせて指標を設定することで、実行計画に掲げる指標との構造化が図られ、分かりやすい計画になると考える。3つの目標間の関連や、実行計画の指標との関係についても検討されたい。

(1) 生活の質の向上

- 子育てについては、親の立場からの記述となっており、子どもたち自身が夢や希望を持って育つことができる環境を整えていくことも重要になる。子どもを尊重する姿勢や、子どもの立場からの視点で記述を加えてほしい。
- 県の重点施策であり、国の健康医療戦略にも位置づけられている未病コンセプトを引き続き盛り込み、連携した取組を進めてほしい。
- 生活の質の向上に資するデジタル技術の活用について、2030年の姿として暮らしにどのように定着しているかなど、市民の皆さんがイメージしやすい内容とされたい。

(2) 地域経済の好循環

- コロナ禍で働き方が変わっていく中で、小田原の立地を生かした起業の観点をメインに打ち出していくべき。起業による課題解決の促進と人材育成は、内発的な産業形成や小田原に住む魅力の創出に加え、チャレンジできるまちとして、若者や女性の活躍にもつながると考える。具体的には、ローカルベンチャー（内発的な地域内での小さなビジネスをつくる）の視点、老若男女関係なく起業や小商いを展開する人をサポートする取組、ベンチャーキャピタル（将来成長が見込める中小企業や、創業したばかりの企業などに出資という形で資金を供給する組織）とその投資先の誘致などを検討されたい。
- 企業誘致の促進も重要な取組であるが、ソーシャルビジネス（ビジネスの手法を用いた社会的課題解決の取組）やリビングラボ（新しい技術やサービスの開発を利用者や市民も参加する共創活動で行う取組）などの新しい概念を取り入れてほしい。

- 雇用の増加を若い世代の転入につなげていくためには、働き方の多様化を的確に捉え、福祉、教育、子育て、防災面などの生活の質の向上に掲げる取組と連動させ、小田原に住むプラスアルファの価値を提供していく必要がある。
- まちづくりの推進エンジンに掲げるDX（デジタルトランスフォーメーション）については、農林水産業における展開のほか、地域の企業に対するサポートについても検討し、地域経済の好循環につなげてほしい。

(3)豊かな環境の継承

- 小田原の自然環境の豊かさは誰もが認める重要な地域資源である。その特徴である、森里川海がひとつらなりの自然環境を生かし、取組を推進されたい。
- 再生可能エネルギーや地域循環共生圏の取組については、農業、水、食料などとの関わりのほか、新しい産業に結びつく可能性があり、環境と経済の両側面からの視点を持ち総合的な取組を進める必要がある。この点については、地域経済の好循環での記述について検討されたい。

3 まちづくりの推進エンジン

(1)行政経営

- 人・モノ・金の経営資源に情報を加え、効率的かつ有効に活用しながら、持続可能な形でサービスを提供し続けてほしい。
- 小田原市は、県西地域の核であり、地域全体の未来を描くリーダーとして、広域連携に重みを付けて取り組んでいく必要がある。

(2)公民連携・若者女性活躍

- 推進エンジンとして、若者女性活躍を前面に出していくか、年齢や性別に関わらずみんなが活躍できることをメインに掲げていくかについて活発な議論が行われた。若者と女性だけにフォーカスする意義、女性が置かれている状況は多様であり活躍ではなくライフスタイルの選択を重視する現実、活躍が重荷にならないか等の意見の一方で、活躍

したい人が活躍できないことが問われている、活躍したいと思っている若者は支援や期待が必要と感じている、また、人生 100 年時代の高齢者の位置づけ等についても言及があった。

- 最終的には、年齢や性別に関わらずそれぞれの選択でチャレンジし、活躍できるまちを目指すことを前提とし、活躍したい人が活躍できていない現状を捉え、若者や女性が活躍できる環境づくりを進めていく考えに至った。こうした考えに基づき、若者女性活躍については、今後、市民の皆さんに分かりやすい明確なビジョンを示されたい。

(3) デジタルまちづくり

- デジタルまちづくりは、データによって市民の皆さんの課題や希望を理解しているまちになることであり、個人情報保護に係る記述とあわせて、その趣旨を明示されたい。
- 行政基盤のDXだけではなく、民間の持つデータとの連携も必要となるので、データ連携基盤の整備について触れるとともに、地域のネットワーク整備やデバイス普及などの環境整備投資についても検討を進めてほしい。この視点は、地域経済の好循環とも連動する。

総合計画行政案に対する
パブリックコメントによる意見対応一覧

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)	
1	-	全体	-	-	-	総合計画の策定は義務ではなくなりましたが、小田原市であえて策定する理由を教えてください。	地方自治法の改正により、基本構想の策定義務は撤廃されていますが、社会が大きな転換期を迎える中でも、長期的な社会変化を見据え、未来に向けたまちづくりを進めるとともに、市政運営全般の2030年の姿とその実現に向けた取組を総合的にまとめる総合計画の策定が必要と考えています。
2	-	全体	-	-	-	現在の実施計画では、選挙により総合計画の方向性と逆方向の首長が当選したとしても、前の首長の方向性で作られた総合計画に縛られてしまう恐れがあり、それは選挙の結果という直近の民意の反映を阻害することになるため、総合計画の目標年次については総合計画の策定は義務ではなくなったことも考え、首長選挙のある年を最終年とする4年サイクルで回すべき。	首長任期の4年にあわせて、総合計画の策定や見直しを4年サイクルで設定している自治体があることは承知していますが、本市では、時代の変化に的確かつ柔軟に対応していくため、3年3期の計画サイクルとしています。
3	-	全体	-	-	-	小田原市意見公募手続条例では、市政全般における基本的政策を定める計画及び個別行政分野における基本的な事項を定める計画については、意見公募手続を行うこととなっていますが、令和2年度末に制定され、第6次総合計画に引き継がれる2030ロードマップについては意見公募手続がされていません。2030ロードマップの策定に際し意見公募手続を行わなかった理由を教えてください。	2030ロードマップは、第6次総合計画に引き継ぐものとして作成しており、その内容を含む総合計画行政案として今回の意見公募手続を実施しています。
4	-	全体	-	-	-	小田原市意見公募手続条例では、市政全般における基本的政策を定める計画及び個別行政分野における基本的な事項を定める計画については、意見公募手続を行うこととなっていますが、令和2年3月に制定された第2期小田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略については意見公募手続がされていません。第2期小田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に際し意見公募手続を行わなかった理由を教えてください。	第2期小田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、本市総合計画に掲げる取組や事業を、国の方針も考慮して再構成した事業レベルの計画であるため、意見公募手続を実施していません。
5	-	全体	-	-	-	平成11年(1999年)、2015年、平成28年など、和暦と西暦が入り混じっている。グラフ等含めて計画内の表示を統一したほうがよいのでは。	見やすい、分かりやすい観点から修正を行います。
6	-	全体	-	-	-	箇所、か所の表記ゆれがあります。	表記を統一します。
7	-	全体	-	-	-	市が提供する各サービス/施策について、想定されるターゲットクラスターに対して、利用者や浸透度(ターゲットの、何%が知っているか)、と言う観点から見える化する事で、効率性が見えて来るので、新しいサービスや施策を評価する事も検討して頂きたいです。	市の事業や施策の評価については、新しい総合計画の策定とあわせて、その手法を検討していきます。
8	-	全体	-	-	-	せっかく大規模な市民アンケートを取っているのに、市の計画にあたってはサービスや施策を使用する側の要望をしっかり受け止めて、課題を解決して頂きたいです。合わせて、中長期的な目線で、有識者やサービス提供側の考える良い施策を織り交ぜて、頂きたいです。	今回実施したアンケートの結果については、総合計画の策定や今後の市政運営を進めていく上で参考としていきます。また、今後も同様のアンケートを実施するほか、外部の方の意見も聞きながら施策を展開していきます。
9	-	全体	-	-	-	人口動態、消滅可能性都市の議論を踏まえたコンパクトシティ的な観点の必要性についても検討し、それを広域連携地域内において導入する場合、必須である行政(生活)機能ごとの拠点の位置と数、機能ごとの効率性(集中)と安全保障(分散または複線化)の均衡点分析について、地理条件、人口条件、物理的及び時間距離とその前提となる移動手段と方法、通信インフラの有無など専門家による公開討議を希望したい。	人口減少・少子高齢化が進むなか、地域の活力を維持するとともに、持続的な都市経営を推進するため、小田原市立地適正化計画を策定し取組を進めていますが、周辺市町を含めた区域を対象とはしていません。
10	-	全体	-	-	-	政策の成果は一朝一夕には出てこないで、とにかくスピード感を持って対応をお願いしたい。	将来都市像の実現に向け、迅速かつ的確にまちづくりを進めていきます。
11	-	全体	-	-	-	基本的な姿勢として、コンパクトシティを目指す方向性と、自治体をプラットフォームビルダーにしていく方向性が見られます。前者について、青森市が、アウガという再開発ビルをオープンしましたが、初年度から赤字で、巨額の資金が税金から投じられましたが、経営破綻して失敗に終わっています。また、中心市街地に人を集めることにより、農家の減少、食料自給率の低下、騒音問題、渋滞問題、近隣トラブルの増加などが懸念されます。後者について、これは公共サービスの提供を、共(地域の団体)、私(民間企業)に任せ、自治体はその管理者になるという考えです。総務省の自治体戦略2040構想研究会では、「社会保障は、基本は一人一人自助でやっていけるようなプラットフォームが確保されることで、公助はできるだけ頼らないで済む」と主張されています。現在、コロナ禍で、公共的なものを減らしていくことが、命を削ることにつながることを明らかにしてきました。保健所の削減、病院・病床の削減政策が、守れるべき命を奪っています。自治体は、今までのようにサービス・プロバイダーであり続けさせる必要があります。従って、この2つの方向性に対して反対です。	本市の立地適正化計画では、中心市街地や生活圏を支える各拠点が公共交通によって結ばれ、将来にわたって誰もが暮らしやすく、都市の活力が持続的に確保される多極ネットワーク型のコンパクトシティの形成を目指しています。プラットフォームビルダーの考えは、自治体が単にサービス提供主体となるのではなく、公・共・私のベストミックスにより課題解決に取り組む、そのプラットフォーム形成を進めていくことが重要であり、本市では、市民の力・地域の力を生かした取組を土台としつつ、さらに幅広く公民連携の取組を推進していくこととしています。
12	-	全体	-	-	-	私は西宮市から8年前に終活目的で小田原市に移住してきた85歳の老人です。当地は自然環境に恵まれた住みよい土地であると思います。しかし、コロナ禍の発生、異常な気象現象、デジタル化、環境問題、SDGsなど社会情勢はグローバルに大転換の真只中にあります。この時期に市が2030年を見据えて市の目指すべき方向を求めて総合計画を策定するのは時宜を得たものと考えます。パブリックコメントのみならず、行政全般において常に市民の意見に耳を傾け、行政内容を市民に丁寧に説明し、この計画が行政当局と市民との間で共有され、計画遂行に連携して取り組むものとなる事を期待します。	ご意見のとおり取り組んでいきます。
13	-	全体	-	-	-	総合計画の前に市に直ぐ取り組んでもらいたい事があります。市の発行するすべての地図の方角を「北を上にする」事です。私は8年前小田原へ来て駅の観光案内所で市街地図を貰い、市役所への行き方を尋ねました。「駅の東口からでも、西口からでもバスが出ていますから、市役所前バス停で降りて下さい」と言われて、貰った地図を見ると南口、北口なら分かるが、どちらが東口か分からない、「北が右斜め上」を向いた地図で、当惑しました。この不都合さは、小田原土着の人には分からないようですが、外来者、観光客には極めて不親切なものです。最近では誰でもスマホでMAP検索をしますが、市の観光地図と方角が一致しないのでお城の周辺で迷っている人を見かけます。先日、市が発行された高潮浸水想定区域図、小田原三の丸ホールパンフレットの近隣施設ご紹介MAPは北が上になっていますが、今年度「おだわら市民ガイド」99ページの「施設マップ」は従来通りの方角です。来年度からは改めて下さい。	地図については、それぞれの用途に応じて盛り込む内容や見やすさを考慮し、製作・掲載しており、北を上にした場合は、必ず方位記号を入れています。ご意見は今後の検討の参考としたいと考えています。
14	-	全体	-	-	-	また、総合計画は、「SDGs未来都市計画」との整合性は取れているのでしょうか？ 今回の施策との紐付けを明確にしておくべきではないでしょうか？	現行の小田原市SDGs未来都市計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略は、総合計画との整合を図ったものになっており、第6次総合計画においてもその整合を図っていきます。
15	-	全体	-	-	-	第5次で作成した「地域別計画」の位置づけはどうなるのでしょうか？	第6次総合計画においても、地域別計画の役割が変わるものではなく、福祉、防災、環境などの領域における地域の主体的な課題解決の取組を促進するとともに、総合計画と一対となり、本市のまちづくりを進めるための計画として位置付けています。
16	-	全体	-	-	-	6次においても地域が自分事として計画を進めるためにも地域別計画が必要だと思いますが、どのような計画になっているのでしょうか？	総合計画策定の翌年度以降に地域別計画を改定していく予定です。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)	
17	-	全体	-	-	KGIは行政と市民の共通の目標になるので、設定根拠を明確にし、達成度合いが数値で測れるものにすべきです。	重点施策及び実行計画の目標値について、定量的な指標の設定に努めました。ご指摘のとおり、一部定性的な指標を設定しています。指標の設定については、総合計画審議会での議論を踏まえて検討していきます。	
18	-	全体	-	-	基本構想がある程度固まった時点で、再度、施策・詳細施策についてのパブリックコメントを求めることを検討してください。	第6次総合計画行政案に係るパブリックコメントで提出された意見は、総合計画審議会に示し、議論を進めるとともに、基本構想は12月定例会で議会に提案していくこととしており、改めて実施する考えはありません。	
19	-	全体	-	-	残念ながらこの約10年間、小田原は人口も産業も自然も減りました。この総合政策を見るとまだまだ足りないところがあると思いますが、2030年は明るい小田原が期待できます。ぜひ「世界が憧れるまち“小田原”」を目指していただきたいです。	「豊かな環境の継承」を土台に、「生活の質の向上」と「地域経済の好循環」の両輪を持続的に回しながら「世界が憧れるまち“小田原”」を実現していきます。	
20	3	序論	2 計画の構成と計画期間	-	策定基本計画に9年、実行に3年3期のうち、9年は長い気がする。計画を立てながら、優先順位を見極め、基本計画をブラッシュアップするところ、医療、街づくり、安全について喫緊の課題を早急に計画するように分けた方が良いのでは？	9年後の2030年に目指す姿を示した上で、3年3期で実行計画の見直しを図る計画とするとともに、毎年度、施策展開の共有や方向性を見直しを図ることとしており、喫緊の課題にも的確かつ柔軟に対応していきます。	
21	4	序論	3 ウィズコロナ、ポストコロナ社会に向けた視座	新型コロナウイルスによって顕在化した課題	-	集中化という都市の歴史は、人間という生物の許容範囲を超えてしまったとはどういう意味ですか？	都市の歴史は、狩猟採集から農業に移り、さらに町が生まれてくる集中化の流れを経て、現代の大都市の高層化のように、人間という生物の許容範囲を越えた環境をつくってきってしまったという解釈をしています。
22	4	序論	3 ウィズコロナ、ポストコロナ社会に向けた視座	新型コロナウイルスによって顕在化した課題	-	教育、病院、住居などのインフラの住居とは、社会的インフラとしての公的な住宅の事を言っているのですか？	公的な住宅に限りません。暮らしの基本となる住居、教育、病院を意図しています。
23	4	序論	3 ウィズコロナ、ポストコロナ社会に向けた視座	ポストコロナ社会における小田原の可能性	-	ストリートの定義を教えてください。	ストリートは、単なる道ではなく、情報共有や、人と人が出会う場所を意図しています。
24	5	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(1)新型コロナウイルス感染症の影響	-	とにかくワクチンを急ぎましょう！ミナカ、ハルネ等、駅近で接種できる様なインフルエンザの様に打てる体制づくりを	小田原駅前のクリニックでモデルナ社製のワクチンでの接種を開始したほか、10月から集団接種での接種回数を増やしたり、接種回数の多い会場にワクチンを優先的に供給するなど体制の強化を行います。
25	5	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(1)新型コロナウイルス感染症の影響	-	色々な所に”スピーディー”という言葉が出てくるが、今回のワクチン接種に関しても、集団接種を始めるのが他市に比べて非常に遅く(鎌倉市より1か月も後)、何故か医師会の接種が優先されていたおかげで6月24日に県から発表された接種率は、鎌倉市31.16%・小田原市2.80%と1桁も違うものだった。発表された2日後に市立病院での集団接種を始めた。市民は見ています。どんなに言葉でスピーディーと言っても、市長は市民の命より、医師会の利益を優先したんだなど。言葉ではなく行動で示さないと不信感が冗長されます。	本市ではクラスター対策のため、高齢者施設の入所者等を優先して接種を始めました。高齢者や基礎疾患のある方は、多くがかかりつけ医を持っており、個別接種を主体に実施しています。ご指摘の6月24日は本市の個別接種での2回目の接種が始まっていない時期であり大変低い数字となっていましたが、同じ資料の1回目の接種率は鎌倉市52.59%、小田原市37.18%と接種を進めていました。
26	6	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(3)SDGsの取組	-	P.6にも書いてあるように小田原市の素晴らしいところは、他市に先駆けて、未来を見据え、色々な場面で真にSDGsの取り組みを行ってきたことにある。	持続可能な地域社会の実現に向けた本市の取組は、SDGsの理念を体現するものであり、第6次総合計画においても、この考えは継続して位置付け、取組を展開していきます。
27	9	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(11)行政に求められるもの	-	(P9の図面について)幹線(鉄道)の矢印が鴨宮駅周辺の円から東京方面に2つ引かれています。1つは国府津に行く東海道線。もう一つは新幹線ですか？であるならば、鴨宮駅周辺の駅と交わらない方が良くと思います。	ご指摘のとおり、東海道線と東海道新幹線をイメージしています。小田原駅周辺からの動線を見やすくするため、1つの矢印としたことから生じた問題と認識しております。立地適正化計画において、誰にもわかりやすいイメージ図となるよう検討していきます。
28	10	序論	5 市民アンケート調査結果	-	-	計画の行政案の中で、市民アンケートを実施して、その結果をまとめていらっしゃいます。今回の計画案はその内容を捉えて、実践しようとしていらっしゃいますでしょうか。	今回実施したアンケートの結果については、総合計画の策定や今後の市政運営を進めていく上で参考としていきます。また、今後も同様のアンケートを実施するほか、外部の方の意見も聞きながら施策を展開していきます。
29	10	序論	5 市民アンケート調査結果	-	-	アンケートについて、医療に対する「何が充実すれば小田原市の医療に安心できるか」のアンケート結果も、トップ7はどれもクリティカルに重要な項目のように見受けられます。また、新病院の建設だけでは解決できない課題が多いのではないのでしょうか。サービス提供側の意見だけではなく、利用者の視点から、医療充実のために、ハコモノの建設に終わらず、ソフト面の強化もぜひ議論する事を検討して頂きたいです。	市民が24時間365日安心して医療が受けられる体制を目指して、救急医療体制の確保や、医療機関の連携の推進に取り組んでおり、今後も市民の生活に寄り添う医療を提供できるよう、関係機関と連携していきます。また市立病院では、医療関係者や学識経験者、利用者で構成する市立病院運営審議会でご意見をいただきながら、県西地域の基幹病院として必要とされる医療の提供に努めていきます。
30	10	序論	5 市民アンケート調査結果	-	-	市民アンケート調査について、今回の市民アンケート調査は、第5次総合計画と比較して、期間も短く回収件数も少ない。また回答者の属性(年代別、性別など)も公表されていないため、市民意識を正しく分析把握できているのか疑問です。例えば、行政のデジタル化の現状で30歳代と80歳代の不満の内容はが全く異なるのではないのでしょうか？第5次総合計画時と同等の市民アンケートを行ない、比較分析するべき、その上で基本構想が市民の意識にそったものになっているか確認した上で施策検討するべきだと思います。	アンケート結果について、総合計画行政案に示している内容は結果の一部を抜粋しているものであり、アンケートすべての回答結果や回答結果をクロス分析した結果などを報告書としてまとめています。
31	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	市民力や地域力とはどのようなものですか？	本市では、福祉、防災、環境などの領域で、日々の実践活動や地域の課題解決に取り組む市民や地域コミュニティ組織、市民活動団体等が数多く存在しており、その推進力を市民力、地域力と表現しています。
32	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	「世界が憧れるまち“小田原”」について、ぜひ多くの市民にこの言葉を聞かされた時に、どのように感じるかを聞いてほしい。市長は選挙の時、ひとり10万円と書いた上に前市長が1か月前に出した政策を自分の政策のように公報に書きました。本当に政治家として恥ずかしい行為です。ですからこの言葉を聞かされた時に市民は失笑してしまうのです。もうこのフレーズはやめませんか。	日本の都市は、世界から見ても治安、環境衛生、医療などの面で優れており、取り分け小田原には、こうした要素に加えて、歴史・文化・自然・交通インフラといった、他都市が羨むほど多くの地域資源が整っていることから、その魅力を十分に引き出すことにより「世界が憧れるまち“小田原”」を実現していきます。
33	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	2030年実現をめざす基本方針について、「世界があこがれる町小田原」という市の、市長のキャッチフレーズに、市民が呆れはてています。市民にとっては「私の町いい町だよ」と言える町であればいい。そんな町作り計画を作ってください	多様化する価値観を的確に捉えながら、住んでいる方が、これからも暮らし続けたいと思う施策とともに、小田原に住みたいと思う方を増やすことができる施策を総合計画にまとめ上げていきます。
34	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	小田原市は第5次総合計画「おだわらTRYプラン」に基づき、「市民の力で未来を拓く希望のまち」を目指し、市民力や地域力を生かした課題解決への取組が行われ、その取組が評価され、SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業にも選定されたと思いますが、第6次総合計画においても、この市民力、地域力を強化し、課題解決への取組拡大を加速していくことを、基本構想のまちづくりの基盤強化として目標にかかげ、最重点施策として取り組むべきではないのでしょうか？	第6次総合計画では、わが国でも特筆すべきレベルに成長した市民力や地域力を土台とし、持続可能なまちを実現していきます。また、重点施策では、福祉・防災の領域を中心に、市民の力・地域の力を生かした取組を位置付けています。

No.	該当ページ	該当箇所		意見内容		市の考え方・対応方針(案)	
35	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	基本構想 1まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿の、1行目「森里川海がひとつなら…」という表記がわかりづらい。違う言い方や「」・を使うとか、ひとつならという文言を変えるなど市民にすんなり容易に入ってくる表現にしてほしい。	市民にとって分かりやすい表現に努めるとともに、分かりにくい語句には注釈等を追記していきます。
36	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	誰もが豊かな生活を送りたいと思うし、誰もが安心して生活したいと思っているでしょう。病気になったら安心して治療が受けられる体制、質の高い教育を受け社会を豊かにしていく人材の育成などは、誰しが必要と思いつつも、コストがかかります。そのコストを市民として負担していこうとすると、残念ながらそのコストを負担しようとする市民層や負担できる所得層がいなければ、豊かな社会を築くことは出来ません。本行政案の(1)生活の質の向上(2)地域経済の好循環(3)豊かな環境の継承は小田原市が10年後の目標として賛成できます。人口増加と企業誘致は上記目的を達成するに有効な手段と考えます。私は不動産・保育所やその他事業を営んでおります。その中で満足なことは豊かな自然と温暖な気候、都市的サービスも受けながらも東京ではない東京とは同じでない町を心地よく感じています。人口増加を自然破壊と唱える方も言うかもしれませんが、放置された空き家、耕作されていない農地、整備されたいない森林・河川管理や海岸・護岸整備など人口が減っていても自然破壊が進んでいます。これは人口問題と関係のない問題です。それは人口が20万人になっても、豊かな自然を守る施策ができるれば、今以上に豊かな自然を生み出すことができます。	医療、福祉、教育等の充実による「生活の質の向上」と、企業誘致や新しい働き方に対応した環境作り等による「地域経済の好循環」、そしてこれらの土台となる「豊かな環境の継承」という3つのまちづくりの目標に向けた取組により、小田原の魅力高め、人を呼び込んでいきたいと考えています。
37	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(1)行政経営	-	アンケートの「市民と行政がともにまちづくりを進めるうえで何が必要か」の結果に対して、市の情報の公開、提供とありますが、その対応はされておりますでしょうか。「市のホームページを見れば載っている」と考えてはおりませんでしょうか。ただ情報公開するだけでは不十分と捉え、情報を浸透させるための解決策を探って頂きたいです。市が頑張って準備されたサービスや支援はあるのに、それを必要としている方々に行き届いていない事も多々あるように思われます。	今後もSNSや動画等、様々な広報手法を積極的に活用するとともに、これまで以上に庁内の担当課と連携を図ることで、より効果的な情報発信を行い、情報が必要とする市民に行き届くよう展開していきます。
38	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(1)行政経営	-	役所内も縦割りの組織となっており、その中で真面目に仕事をすればするほど、よりその組織に染まっていき、自分のことしか見えないという悪循環に陥っているように見受けられる。しかしながら、多くの課題は組織横断的に解決する必要があり、柔軟な対応が求められることがほとんどである。特に、空き家を含む既存ストックの活用、移住定住による人口増等の施策については、総合政策的な課題が多い。これらの課題について横断的に意見交換等出来る場を積極的に設けていただきたい。	社会が複雑化するなか、多くの課題への対処が組織横断的かつ柔軟な対応が求められている認識を持ち、総合的な対応が必要なものについては、重点施策にも位置付けながら取組を進めていきます。また、市民や関係機関との対話の場を積極的に設けるなど、官と民が連携を取れる体制を構築していきます。
39	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(2)公民連携・若者女性活躍	-	公民連携という言葉がやっと役所側から出てくるようになったが、一時、官民の癒着による不正が横行した以降、官と民との距離は遠くなっており、今の行政内には、そのネットワークもなく、どうやって官側から民へアプローチしたらよいか？わからないケースが多々あると思われる。まずは、各課題に対して官と民との対話の場を積極的に設ける必要があると考える。	これまで以上に魅力的で持続可能なまちづくりの実現を目指すためには、民間事業者との連携を飛躍的に強化・推進する必要があると考え、小田原市で取り組むすべての事業を提案募集の対象に民間事業者からの提案募集を開始しました。今年度は試行として、市内に事業所を有する法人若しくは個人事業主又は法人等のグループとしています。
40	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(2)公民連携・若者女性活躍	-	総合計画を活かしたものにするために、官と民が常に気軽に対話できる体制づくりを望む。	小田原市民間提案制度を活用し、官と民が連携を取れる体制を構築していきます。
41	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(2)公民連携・若者女性活躍	-	まちづくりの推進エンジンに「(2)公民連携・若者女性活躍」があるのはすばらしい。しかし、この計画案全体に女性活躍に力を入れているという感触が伺えない。総合計画なのでこういう記載になるのかもしれないが少し残念である。	市役所が一丸となり、若者や女性が活躍できるまちづくりに向けて、取り組んでいきます。
42	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(3)デジタルまちづくり	-	デジタル化の推進について、これは時代の流れからも進める必要はありますが、大事なことは住民の合意と個人情報の保護です。そのため、大胆に進めるのではなく、まずは市役所の業務に関するところで、できることから始めるべきだと思います。市の行う説明会への参加が電話予約のみというのがありました。メールで申し込むことも可とする、そんなことから始めるべきです。そして、スーパーシティの再提案には、応じないようにすべきです。「岩盤規制の大胆な緩和」をもとめられているので、住民の合意を得たうえで提出し直す時間ありませんから。	小田原が有するポテンシャルにデジタル技術と規制改革を組み合わせることで地域課題を解決し、持続可能な小田原の実現を目指しています。よって、スーパーシティ構想の採択に向け、引き続き取り組んでいきます。
43	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(3)デジタルまちづくり	-	デジタルの町づくりについて、国の施策にいち早く乗って小田原市をアピールしたいようですが実力が伴っていません。じっくり職員の能力を育てる基本的なプランでじっくり進めて下さい。	「デジタル技術を最大限に活用し、持続可能で活力のあるまちづくりを推進することで、豊かな未来社会を実現する」という理念のもと、デジタル化によるまちづくりに取り組んでいきます。
44	18	実行計画	-	-	-	実行計画について、冒頭のまちづくりの目標と施策の表は、「表のタイトル」「網掛けの説明」もなく、何を示そうとしているのか不明です。施策の中でどれが重点施策(医療・福祉、防災・減災、教育・子育て、地域経済、歴史・文化、環境・エネルギー、まちづくり)なのか理解しやすいようにしてほしい。	総合計画が分かりやすいものになるよう記載の修正を検討します。
45	20	実行計画	重点施策	-	-	重点施策について、2030年の目標の数値目標は、小田原市の現状やベンチマークとする他市等との比較がないため、目標として設定する値が適正なのか誰も判断できない。また、定性的な目標も何らかの数値目標(指標)は設定すべき。(例えば、アンケート結果)	市の目指す方向性が分かりやすくなるよう、「2030年の目標」を含めた重点施策の記載内容の修正を検討します。
46	20	実行計画	重点施策	1 医療・福祉	(1)安心の地域医療体制	現時点の二次救急医療の圏域内自己完結率を教えてください。	令和3年9月1日時点で、二次救急医療の圏域内自己完結率は90%となっています。
47	20	実行計画	重点施策	1 医療・福祉	(2)地域共生社会の実現	現時点の包括支援センターの圏域ごとの地域福祉相談支援員の配置率を教えてください。	本市では地域包括支援センターを、日常生活圏域ごとに計12箇所設置しており、地域福祉相談支援員は、令和3年9月時点で2名を配置しています。今後増員を予定しています。
48	20	実行計画	重点施策	1 医療・福祉	(3)健康寿命の延伸	現時点の小田原市の男性と女性の健康寿命を教えてください。	本市として公表している直近の健康寿命は、平成27年時点で、男性78.57歳、女性83.72歳です。
49	21	実行計画	重点施策	2 防災・減災	(1)地域国土強靱化の推進	災害時に適切な情報が多様な手段により全ての人に届いていることの確認はどのように行うのですか？	多様な情報伝達手段のあり方について情報弱者を含めた全体的な検討を行い、次段階では市民へのリサーチを行いつつ整備を進める予定です。
50	21	実行計画	重点施策	2 防災・減災	(2)地域防災力の強化	逃げ遅れゼロの実現の確認はどのように行うのですか？	計画策定から2030年までにおける死者数ゼロを目指し、周知啓発を行います。
51	21	実行計画	重点施策	2 防災・減災	(2)地域防災力の強化	近年話題となる富士山噴火による災害対策においても各市町村や公、民の道路管理事務所のみならずJR東日本、JR東海、小田急、西武を交えた人員、物資の移動状況の確認や災害時の代替策など話し合いの機会を常に持つべきと思う。	富士山火山対策については、公共交通機関を含め、国や県等と連携して検討を行う予定です。

No.	該当ページ	該当箇所		意見内容		市の考え方・対応方針(案)
52	21	実行計画	重点施策	2 防災・減災	(2)地域防災力の強化 防災については、昨今の自然災害の増加を踏まえ、災害対応に携わる関係者が改めて現状に対する共通認識を持ち、日常から顔が見える中で備えていく必要があると考える。また、防災に関しても市内部の組織内あるいは市と県、国との関係係局の連携等非常に問題が多く、実際に現場の最前線で災害対応にあたる市内業者にそのしわ寄せがくることが多い。	災害の激甚化などのトレンドを適切にとらえ、対応がスムーズに進むよう関係機関とも連携について検討を重ねてまいります。
53	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育 予測不能な時代(VUCA)において、自分で考え抜く力・やりきる力が増々重要となると考えます。二宮尊徳翁のような人財を創出するためには、偉人の考え方を踏襲しながら新たな視点で考える教育も推進頂きたい。	郷土の偉人である二宮尊徳翁の業績から、その思想や考え方を学ぶことは、小田原の子どもたちにとって大切なことですので、郷土学習等の中で引き続き取り組んでいきます。
54	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育 「新しい学校づくりの推進」とあり、厚生文教常任委員会に出された資料によると「本市における学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方を整理し」とあります。また、小田原市学校施設中長期整備計画には、「学校施設の将来的な再編も含め、学校施設の最適化を検討してまいります」とあります。つまり、統廃合を視野に入れるということです。学級の人数が欧米と比べても、かなり多いのが現状で、教職員の長時間労働は改善されていません。そんな中で、統廃合という選択肢ありきで進めてははいけないと思います。	「新しい学校づくり推進事業」は、適正規模も含めた望ましい教育環境を検討していくものですが、統廃合ありきでの議論ではなく、本市の教育の在り方を踏まえ、子どもたちがより良い学校生活を送るための教育環境はどうあるべきか、という視点からの議論としていきたいと考えています。
55	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育 市報8月号の市長と有識者との対談で、小宮山氏が「2050年を考えると、最大の産業は教育だ」と指摘され、「公民連携の実質的なモデルを小田原で」と言われています。 今、日本は長引くデフレ状態で中間層の所得が落ち込み、一部の富裕層との分断が顕著になり、子供の教育に費用が掛かるので出産を控える傾向が見られると言われています。 行政案でも教育について「子育てに夢や希望が持てるまち」を目指し、人口の社会増にもつなげる姿勢は見られます。私は小田原に来て、駅周辺に塾が多い事に驚きました。そしてその塾が市外の有名校に合格した生徒数を掲示して競っているのを見て更に驚きました。これは小田原市内の中学、高校を軽視する風潮の現れだと思えます。 小田原市が子育て、子供の教育に力を入れている、ここで教育を受けさせるのが子供の為になると若い親たちに感じさせる具体策が必要です。 公私幼保施設の充実は勿論の事、市立小中学校での教育費負担の一律無料化(給食費、修学旅行費用を含む)、を打ち出して欲しいと思います。	ご提案の市立小中学校での教育費の一律無料化ですが、給食費や修学旅行費用については受益者負担の基本的な考え方や利用の有無による公平性の観点から、全額公費負担はなじまないものと考えています。
56	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育 教育について、なんでもかんでも国の方針に従っていく姿勢がみえます。教科書(中学校歴史)の再選定はほとんどの自治体が「昨年決定した教科書でやる」と決めました。市民は再決定の意味を知らないし、再購入になるとしたらムダ遣いです。幸い現教育委員さんがきちんと考えて昨年通りとなりました。	義務教育において、学習指導要領に基づき教科書で学ぶことは全国共通で実施されていますが、本市はそれらを学ぶための歴史、文化、自然、産業等の資源に恵まれており、教育の強みと考えています。これらを有効に活用するとともに、本市の学校教育振興基本計画を踏まえ、「未来を創るたくましい子ども」の育成を目指してまいります。
57	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育 コロナ禍の今、学校に配ったタブレットで、いつでも自宅などでオンライン授業ができる体制・環境を一刻も早く実現すべきではないでしょうか？	新型コロナウイルス感染症拡大の状況の下、登校に不安を感じたり、感染者との濃厚接触により登校を控える児童生徒のため、オンライン授業実施のための通信環境の提供のほか、臨時休校等に備えた対応を行っています。
58	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育 質の高い学校教育の『質』とは何かわからない。	子どもたちが将来の夢を持ち、社会を創る力を身に付けて成長するための教育内容を充実させることが教育の質の向上につながると考えており、ステップアップ調査の活用、ICT教育の推進、魅力ある施設整備等の取組を進めていきます。
59	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育 小田原の子ども達は、学力面よりもむしろ体力面で平均値以下と伺っている。教育の質の中に子ども達の体力向上もふくまれているのか？	個別の取組として、体力・運動能力向上事業を実施してまいります。なお、令和元年度の本市の中学生は、全国平均を上回っています。
60	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(2)子ども・子育て支援 現時点の保護者の子育て環境や支援への満足度はどれくらいですか？	「第2期小田原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査(平成30年度)」で、子育て環境や支援の満足度を1～5の5段階で未就学児の親に伺ったところ、中間の3以上の評価をする人が66.5%となっています。
61	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(2)子ども・子育て支援 小田原市内に産婦人科が少ないため、安心して産むことができる環境の構築を検討頂きたい。また、子どもを望みながらも妊娠できない夫婦への不妊治療支援を国に先立ち導入するなど、あわせて検討頂きたい。	平成29年度に子育て世代包括支援センターを設置し、令和3年7月にはセンターの分室を開設し、妊娠期から子育て期にかけての切れ目のない支援体制の構築に努めてきました。今後もセンターの機能強化を図るなど、いただいたご意見も含め検討してまいります。
62	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(2)子ども・子育て支援 保育所を運営して日頃感じることは、保育が本当に必要な人に保育の提供ができない制度です。保育所に子どもを預けるには、原則仕事をしていないと預けることはできません。しかし、出産後の女性が産休・育休制度以外で仕事から離れると、復職しようにも保育所に預けれなく、仕事につきにくい状況です。保育所に入れるために無理して産休・育休の制度を使っているケースがあります。 点数の問題で就職予定者は点数が低いですし、労働時間が長い方のほうが、短い方より点数が高いです。しかし、これが現実合っているかという点、相当乖離しています。 出産した後、子どもという時間を求め短時間労働(非正規も含め)を選びたい方も多いです。終身雇用制度から変わりつつある労働市場・環境で、保育所入所の基準は時代に適合していません。 今の制度では、就職してからから保育園探しは始まり、保育園が決まるという流れですが、保育園が決まってから仕事を見つけたいと、多くの人は求めていると思います。就職より前に、保育所を決める制度化です。 また、小田原に移住者を増やすにも、保育所を見つけてから移住を決めるケースは充分に考えられます。雇用の面でも新たな人材の確保が期待できます。安心して小田原で子どもを出産し、安心して育てられる環境ができます。さらに働く機会があれば仕事生まれ、税収が増えます。 市内には当社(企業主導型保育所)のように小田原市の認可保育所とは別に、国の基準で設置された保育所もあります。新しい保育所整備をしなくても、柔軟な運用と連携で待機児童問題に限らず、移住者増加・企業誘致(優先的に入所できる制度)にも効果が期待できます。 国の制度で点数化して入所者を決定していると思受けられますが、豊かで安心して子育てのできる小田原市独自の制度を設けるべきと考えます。	保育所の入所判定に係る市独自の制度を設ける予定はありませんが、保護者のライフスタイルが多様化する中、公平な判定ができるよう、毎年、指数を見直しています。
63	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(3)幼児教育・保育の質の向上 職場内保育の整備支援を独自に行うなどの検討を頂きたい。	企業主導型保育所や事業所内保育所に対し、市が独自に補助金等の整備支援を行う予定はありませんが、設置に向けた事前相談の中で設置予定の地域の保育状況や地域の児童が入所できる枠等について話し合いを行い、企業だけでなく地域にとってもメリットがあるよう相談を行っています。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
64	23	実行計画	重点施策	4 地域経済	(1)企業誘致の推進 働く場所の定義を教えてください。	従来からの働く場として認知されている工場やオフィスのほか、小田原の恵まれた地域資源を生かした「サテライトオフィス」など、「働く場」を創出することを目指します。
65	23	実行計画	重点施策	4 地域経済	(3)地域資源を生かしたビジネス展開 新規創業数はどのように調べるのですか？また、法人の設立に限られるのですか？	法に基づく「小田原市創業支援等事業計画」による支援を受けて、法人に限らず創業した事業所数をカウントします。
66	23	実行計画	重点施策	4 地域経済	(3)地域資源を生かしたビジネス展開 新たなビジネスの展開は「美食のまち」だけなのでしょうか？	「美食のまち」に限らず、小田原の恵まれた地域資源を生かして、従来になかった形でビジネスを展開することを含みます。
67	23	実行計画	重点施策	4 地域経済	(3)地域資源を生かしたビジネス展開 「市内産業の海外展開の支援」はどういった支援を想定しているのか不明です。	「市内産業の海外展開の支援」では、海外に向けて販路を開拓・拡大しようとする事業者に対し、専門機関の斡旋等の支援により商談機会を創設することで、世界に向けて小田原の商品を流通させることを目指します。
68	23	実行計画	重点施策	4 地域経済	(3)地域資源を生かしたビジネス展開 エネルギー分野の促進の具体的なアクションはありませんか？	民間事業者との連携により、再生可能エネルギーの導入促進に向けた取組を行っており、具体的なアクションとしては「重点施策 環境・エネルギー (1)再生可能エネルギーの導入促進」に基づき実施していきます。
69	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 「・・・木造化等の天守の整備を含めた将来の小田原城天守や大手門のあり方に関する調査研究を進めます。」の記述は大変心強く思います。歴史を語るのに衣食住のを知ることは世界共通の興味・関心事です。その中で日本の木造建築は世界に誇れるものです。その木造建築を語るのに調査研究を抜きにはあり得ないことです。木造建築の最も大事な要素は構造であり、構造即意匠なのであって意匠が分かればそれでよいというような考えであってはなりません。今後、速に調査研究を進め、近い将来に天守や大手門が木造で復元することを期待しています。建築以外の調査として、その時代の背景、森林の状況、木材の供給、職人、それらを統括する人たちなど複合的な調査研究も視野に入れて欲しいと願います。伝統は未来を繋ぐ財産です。小田原市の輝かしい未来の姿を想像して嬉しく思います。	いただいたご意見を今後の調査研究を進める上で、参考とさせていただきます。
70	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 「第6次小田原市総合計画 行政案」を拝読させていただきました。この中で歴史資産整備の一環として、小田原城址整備の具体的な検討課題として、この度「天守閣の木造化等」が挙げられていましたことに期待を感じております。 観光地としてのエリアを考えた場合に、広範囲の熱海・湯河原・箱根地域の要として小田原の存在がありますが、常々その観光地資源の弱さを感じておりました。 外国人を小田原城へご案内しており、コンクリート造りであることが判り、彼らが大変落胆して「遠くから眺めていた方が良かった」と申していたことに、こちらもそれ以上の落胆と、恥ずかしさを感じた次第でした。 戦禍の荒廃した街の瓦礫を集め、50年の歳月をかけて街の復興を成し遂げたドイツ人からすれば、RCでの再現はあまりにも安易な選択と受け止めた気持ちが身に染みて理解できたからです。以降、外国人をご案内する場合に、小田原城へはお連れしないで、遠くから見せるようになってしまいました。 耐火基準や耐震の構造上の課題があつてのことだという事は理解していますが、木造でもそれをクリアーできるということを近年知り、だとすれば、近い将来に本物の天守閣を是非構築していただきたいと、たいへん期待をしております。 わざわざでも行きたくなる本物の場所。テーマパークやバーチャルが席卷する時代にあつて、これからは本物しか長く話題にならないだろうと、そう思うからです。 どうか、よろしくご検討をなさってくださいませ。	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
71	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 小田原城はもちろん木造にした方が良いと思いますよ！今のままでは、あと50年持てば良い方でしょうね。木造にすれば何百年と持つのです。維持管理も修理するまで殆どかからないから、良いんですよ！今のままだととにかくお金がかかります。鉄筋コンクリートでは、長い間持たないしとにかくメンテナンスにお金がかかるんです。小田原城を木造にして！城下町を再建して下さい。古き良き日本の伝統は、世界に誇る日本の文化です。もう一度取り戻しましょう。繋がりも大切にしながら！	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
72	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 近年大型木造化の流れが強くなり、国策においても公共建設の木造化が推進されてきています。日本は、世界でも類を見ない木造技術が発展して、住宅・社寺建築をはじめ、多くの文化遺産を生み出してきています。城のデザインそのものが日本の国土に適している特徴は、基壇が高い・風通しが良い軒が深い等気候風土からもその形が木造に最もふさわしいところからきています。鉄筋コンクリート造では、あくまでも形を装った型枠にすぎません。文化財的にも価値はないです。是非、原状復旧を進めていただきたく切に思います。	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
73	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 ここでは、天守木造に向けて準備検討組織を早期に立ち上げるべきと主張します。実現に向かっては、多くの課題を消化していくわけですね。たとえば、 ・3次元模型と引図など資料の徹底解析を行い、現代の安全基準を満たす構造設計 ・木材の調達とその加工体制 ・伝統木工法を体得している技術者の確保と育成 のような直接建設に関する課題以外にも ・現在天守内にある展示物を移設するための歴史博物館の建設 ・数年に亘る工期おける天守不在をカバーする施策 ・建設予算とその調達段取り など多くの様々な課題が並行的に走っていかねばならないわけで、全体構想を緻密に描き、進捗管理する組織が必要ですね。 まずは、準備検討組織を市の内部に正式に立ち上げて、然るべき識者、市民を招集して、各課題を分科会に担当させていく体制を敷くべきです。	いただいたご意見を今後の調査研究を進める上で、参考とさせていただきます。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
74	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 この度の「小田原市第6次総合計画行政案」を拝見しましたところ、施策のなかに「木造化等の天守整備を含めた将来の小田原城天守や大手門のあり方に関する調査研究」の文言を見つけ、たいへん嬉しく思っております。小田原城は言うまでもなく本市にとって重要な歴史・文化・観光資源であると同時に、城下町としての街のアイデンティティを形成する象徴的な存在でもあります。現行の天守閣も戦後という混迷する時代状況のなかで、多くの市民が希望を託した復興天守としてその役割を十分に果たしてくれたとは思いますが、一方で外形を模しただけのコンクリート造りという条件は「模造」というイメージを避けることはできません。木造の天守閣として復元であることに違いはありませんが、ありし日の天守・大手門をより美しい姿で存在させようとする意思は、本市が掲げる計画が、禁止的な未来における一時の利益にのみ資するものでなく、遠い過去・未来を踏まえた大局的なヴィジョンに立ったものであることを如実に物語ります。この一点が、本計画のもっともオリジナリティに富む部分かと思ひます、どうかその「思想」をぶらすことなく、実現に向けて着実に歩みを進めていただきますようお願い申し上げます。	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
75	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 城下町小田原は江戸や大阪より以前に最大の城下町であったにかかわらず、現在は市民ですらその面影を実感できません。当然ながら国道などの通過客も、その実感はなく、R1や青橋から「あ、お城だ…、小さいな」と思うだけです。たとえ小田原北条が関東を支配していた事を知っていても、やはり印象は「小さいお城」と思うそうです。長年の工事により二の丸や銅門等が再現され、最近では天守閣こそ改装されたものの、その特徴である惣構の整備はあまりなされておられません。まずは、<国道1号と国道255号(早川口・板橋見附、箱根口、山王口・江戸見附)を優先に整備>し、「へえ～ここから、小田原城なんだ！」と実感できるような惣構えを中心とした街づくりと平行して、新交通網の整備を主とした総合政策を行えば、観光(教育、経済活性)・生活(利便向上・渋滞緩和)・防災なども兼ね備えた街づくりができると考えます。いくら魅力ある観光地が点在していても、回遊性が不便なら単なる経由地のままです。また、鎌倉のように許容量を超えた人が押し寄せれば、大渋滞が発生し生活も不便になり観光客どころか住民流出にもつながります。	点在している観光スポットへの誘導に向けて二次交通の拡充やパンフレット等を活用し惣構など魅力ある拠点のPRを行っており、いただいたご意見などを参考とし、引き続き取組を実施していきます。
76	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 神奈川以外の都道府県(以下、県表記)では、城郭があった都市がそのまま県都(県庁所在地)として機能していたり、城下町の市区町村でなくとも、同県民なら県内のお城に愛着があるのが当然です。例えば本市も支援をした熊本城は、地震で損壊した際に市民だけでなく、熊本県民が自分の街の事として捉え、大変に悲しい思いをされた事は私達にも伝わるところであります。しかしながら、もし小田原城が被災した際に、熊本県のように神奈川県内の他市民、例えば横浜の人がショックを受けるでしょうか？おそらく答えはNOです。残念ながら、縁がある人や足柄圏内2市8町の住民、平塚や秦野あたりの近接都市の住民を除けば、「他県の出来事」のように感じる人がほとんどだと思います。もっと言えば、天守閣が残っていない場所(江戸、浜松、仙台など)のほうが、神奈川よりも地元の城下町に愛着があるのではないのでしょうか？ 現に私が学生時代の同級生に川崎市民がいましたが、小田原を静岡県だと思ってました。この様な話は枚挙に暇がありません。社会人となった今も、初めてお会いする横浜、相模原付近の方も、同県と認識はしているものの、似たような傾向があり、担当が西湘エリアになり初めて小田原に来た人もいました。一度だけ、機械修理を頼んだ際に、メーカーの担当者がお城マニアで、作業中もソワソワして「リニューアル待ってたんです。他の予定入れなくて！この後行くんです…」という人もいましたが、このようなケースはごく稀です。これはひとえに、<相州=神奈川県の中心が小田原であった事を県民が実感できない>ためと考えます。 神奈川、それどころか関東の中心地であったことを実感でき、小田原を市民だけでなく県民が誇りに思う事ができるようにするためにはどうしたら良いか？最も効果的なのは、「小田原を神奈川県の県庁所在地にすること」ですが、もはや不可能であり不毛な努力に終わります。そこで実行可能な解決策は何か？それは「小田原城惣構えの整備」と言えます。これはARなどとは違い、製品・技術規格や端末所有の有無を問わず、恒久的に効果を発揮するもので、訪れた邦人外国人、老若男女が生身一つで体感できるものです。	いただいたご意見などを今後の史跡小田原城跡惣構の整備を進める上で、参考とさせていただきます。
77	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 有識者意見にある「小田原には歴史の深さがあるので、都市にとって一番の下絵になる歴史を現代とつなげてほしい。」の象徴として、小田原城の木造復原を具現化して戴きたい。歴史の深さを視覚化するには、喪失建造物であればその時代の姿形のみならず、素材や工法も可能な限り本来通りに復原すべきであり、その上で最先端の復原技術を投入する事で、歴史と現代を繋げる高度な価値を創出出来ると考えます。 小田原城の木造復原は高度な価値の実現であり、その価値は歴史文化のみならず、新たな都市整備手段の見本としても、小田原を内外にアピールする礎になると確信します。	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
78	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 城下町や宿場町の町並みはその土地の自然と歴史との中で育まれて、創り上げたものであり、その土地の個性を示し、固有なものである。そして、その個性を保ち続けることで、人々の心のふるさととなる。どこの地域でも、「東京」となってしまったら、全く魅力のないものになるであろう。 小田原は、古い伝統・歴史を基にして、新しい城下町・宿場町のまちづくりが行われるべきである。 そして、その町に核となる建物が、歴史の文脈の中で復元されたら、もっとその町に求心力が増し、観光資源として存在が増し、町に経済的活力が生じ、生活は向上していくこととなる。 小田原の中心的な核は、小田原城であり、天守であると思う。現在は鉄筋コンクリート造で復興された天守であるが、内部空間はビル建物と変わらない。ここに、歴史を検証した文化財となりえる評価(復元)と伝統技術を駆使した職人による往時の伝統構法にて、町の核になる部分の復元が最もふさわしいと考えられる。 復興天守になった理由は、当時文化庁と市とのやり取りの末、最上階の展望バルコニーが勝ったようであるが、やはり歴史的な評価がきちんと必要であったことは、今になって証明されている。それは、もし、大地震にて現天守が崩壊したら、再建築するには、文化庁の許可が必要となり、今の復興天守をもう一度と言うわけにはいかないのである。一から復元に向けての調査・研究が必須であり、万が一のことを考慮して、今から再構築のための準備することが望まれる。 今すぐ結果を出すことが目的でない。上記のように時間をかけてやるべきことは、市がイニシアチブを取って進めることが最も望ましいことであり、将来のまちづくりのスタートとなる。	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
79	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 三の丸ホールの開業と合わせて、お堀からの正規途上ルートの整備や常設の「お休み処」として店の整備をしてたり、かまぼこ通り・箱根口ガレージ報徳広場・文学館・はじめ周辺施設との連携を行い、観光客の流動化を図ってほしい。そのシンボルとして、小田原城の木造化は歴史の再現ができ観光の目玉となっていくと思いますので、実現化を推進してほしい。	小田原城を中心とした観光客の回遊性向上については、以前より様々な方法で取り組んでおり、引き続き史跡の整備や周辺施設との連携などを検討し、取組に生かしていきます。 天守の整備については、将来の小田原城天守のあり方を検討していくものであり、まずは調査、研究を進めていきます。 また、隣接する観光交流センターで案内を行い、回遊性の向上を目指しており、小田原三の丸ホールのパンフレットでは近隣施設の紹介をするなど、周辺施設とも連携しながら回遊性の向上を目指しています。
80	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 小田原城の木造化が検討されるのは嬉しいことです。関西には大きな木造建造物が数多くありますが、関東にはあまりありません。京都と奈良に3年ほど暮らしておりましたが、大きな木の建物はなぜか「ホッと」気持ちを和ませてくれます。小田原を訪れるたびに目にする小田原城。今も見上げるたびにいいもんだと感じておりますが、これが木造になったのならば、遠方からも小田原城をみるためにやってくる方々も増えるのではと思っております。	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
81	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 「第6次小田原市総合計画 行政案」の中で『木造化等の天守の整備を含めた将来の小田原城天守や大手門のあり方に関する調査研究を進めます。』とあります。小田原城は耐震補強を含め、平成28年にリニューアルされておりますが、「木造」の天守は歴史ある小田原のシンボルとして一層映えるのではないのでしょうか。木造再建については、いつのと時代の小田原城になるのか、木造再建後に文化財となり得るのか等、課題はあるものの、研究調査を進め、どのような小田原城が市民にとって1番なのかを模索することが重要なのではないのでしょうか。また、木造での再建は、築城当時の技術を用いて行われるものと推察いたしますが、伝統的な建築技術の承継等、歴史・文化的にも有益なことではないのでしょうか。	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
82	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 小田原城天守木造は、小田原のまちづくりのSDGs。天守を木造復原する意義を市民の中に共有認識を広げ、市職員や市議にも、様々な課題が控える中でもその重要性を考える機会を増やすことが必要だと思えます。 天守を木造化する意義は、経済効果、技術の伝承、郷土愛などの様々な視座から語られています。根源にあるのは、小田原がSDGs都市として世界に誇るまちになるための象徴的存在の必要性だと考えます。 森里川海運環の大きなポテンシャルを持つ小田原の自然環境の保全のために、都市の木質化は重要な要素です。県西部の豊かな森林資源を活用することで森林の保全、水資源と海の保全がなされます。公共建築も住宅も木造化することで、生活空間にやすらぎがもたらされます。RCの建築物には寿命がありますが、木造建築は、補修を繰り返すことで数百年維持が出来、木材資源の活用、工法技術の伝承が行われ、歴史の厚みある街景観と生活文化が育まれます。日本の環境において、木の文化は、まさにSDGsの具体です。 天守木造復原が小田原のまちづくりの象徴に位置づけられ、そのプロジェクトを通じて、小田原の都市デザイン全体が深い意味を持って木質化に向かっていくことを期待したいと思います。	地域産木材を活用した公共施設などの木質化を展開するとともに、地域産木材の利用拡大や着実な森林整備、林業・木材産業の活性化を促進し、「木の文化の再醸成」を図るなど、いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
83	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 人の流れは交通インフラの整備に左右されます。 圏央道の完成に伴い、神奈川県内では厚木から相模原にかけて物流拠点、工業系生産施設の集中が起っています。小田原の未来の姿として、歴史都市としてアイデンティティーを確立する必要があると思えます。その意味から、今回の計画に記載のある小田原城の木造化等の天守の整備の調査研究はぜひ推進してほしいと思えます。 木材は地域で生産できる持続可能(サステナブル)な材料です。この木材を利用した建設を文化財のみならず、教育施設、福祉施設、公共施設等に広げるためにシンボルとして、また中大規模木造の技術開発のモデルとしての役割も小田原城天守等の木造化に期待したいと思います。天守を木造化する場合、ある程度の規模の木材の加工場・貯木場が必要になります。このような施設整備は小田原市内の建物の木造化に大きく寄与します。 鉄筋コンクリートは関東大震災後の復興住宅に採用されてから国内で大きくシェアを大きくしました。現在の小田原城天守も復興天守として鉄筋コンクリート造であることは当然と思えます。そして、日本において鉄筋コンクリート造の建物を100年近く使用して、その欠点も見えてきました。例えば、コンクリートの材料には塩分を含まない砂が必要ですが、その砂の多くは輸入に頼っています。化石燃料を使用して運んでいます。また、鉄筋コンクリート造の建物を100年以上維持するには大変困難です。 このような点からも時代背景を考えると木造での文化財の整備は、地域経済、地域環境保全の観点からも推進すべきと考えます。	地域産木材を活用した公共施設などの木質化を展開するとともに、地域産木材の利用拡大や着実な森林整備、林業・木材産業の活性化を促進し、「木の文化の再醸成」を図るなど、いただいたご意見を今後の調査研究の参考とさせていただきます。
84	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(1)歴史・文化資源の魅力向上による交流促進 「小田原天守閣木造復原」にぜひ期待致します 若い頃に、あこがれの「白鷺城」を観光したことがありました。 案内して下さった方は歴史の先生でもありましたので、とてもわかりやすく、物語をお話していただきました。本物の「白鷺城」の中で、そこで起きた歴史の一部を聴くわけですから、とてもリアルに感じたのを覚えております 小田原は気候風土に恵まれ、交通機関の便宜の良さにも魅力のある街です。 又、近隣が全国からお客様にお越し頂いている「観光地」とあって多くの方が往来しています。さらには、語り継がれている歴史物語はたくさんある様にも感じています。 東海道新幹線で西に行きますと、いくつかの各県のお城が目に入ってきます。 眺めながら「戦国時代」を想像したりもしますが、やはり「白鷺城」で感じたまでのリアル感はないだろうな。とってしまいます。 先人たちの残した沢山の歴史物語がある街だからこそ、少しでも、あたたかさを感じる木造の「天守閣」が似合う街だと実感しています。ぜひとも前向きにご検討して下さい。	いただいたご意見などを参考とさせていただき、将来の小田原城天守のあり方を検討していきます。
85	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 (仮称)文化によるまちづくり基本計画とはなんですか？	「小田原市文化によるまちづくり条例」に基づき、条例の基本理念及び市の責務及び施策方向性に即して定める基本計画です。基本計画は、本市の文化振興に関する施策及びこれによるまちづくりに関し、基本方針及び推進を図るための事項を定め、令和3年度中の策定を予定しています。
86	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 小田原三の丸ホールの指定管理への移行とあるが、施設オープン当初から指定管理ではないのですか？	当面の間は直営で管理運営を行い、ランニングコストを精査した上で、早期の指定管理者制度への移行を目指します。

No.	該当ページ	該当箇所		意見内容		市の考え方・対応方針(案)
87	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 子供達がスケートボードを町中でやっていたり駐車場で遊んでいます。危険だと思いませんか？公園でやっても怒られてスケートボードを安全に楽しむところがありませんよね。スケートボードはサーフィンに通じるところがあり今回の海を生かした小田原市の活性化にも関係があるかとおもいます。なので、スケートボードを安全に楽しむところを作って頂きたいです。よろしくお願ひします。	新たなスポーツ施設の整備については、既存スポーツ施設のあり方と合わせて、第6次総合計画の重点施策に位置付けて、検討していきます。
88	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 6 次小田原市総合計画において、小田原市内に「エンターテインメント空間を演出できる 1 万人規模のアリーナ施設」の新設をご提案いたします。 ■エンタメ特化型アリーナが新設されるとどんなまちになるか【“歴史・文化×現代文化“のハイブリッド型都市が現有資源のチカラを引き出す】 地域の枠を超えたエンターテインメント(有名アーティストのコンサート、スポーツイベント等)が定期的開催されることにより、近隣の若者はもちろん、交通アクセスの良さがより生かされ全国各地から若者や感度の高い人々が小田原を訪れるきっかけとなり、国内外からの幅広い集客が期待されます。 アリーナを目的に小田原を訪れる人々が増えれば、今まで訪れることのなかった層の観光機会へと結びつき、現在有している歴史や文化、自然・美食文化、観光資源などの小田原が有するポテンシャルを発揮できる機会がさらに増えていくことで、より洗練された都市への変化が期待できます。 また、大規模な企業説明会や展示会、フォーラムなどでの利用も見込め、多彩な層が小田原を訪れるきっかけとなります。 今ある恵まれた歴史・文化に洗練された現代文化を取り入れ、ハイブリッド型都市となれば、「世界が憧れるまち」小田原に近づくことができると考えます。 ■小田原市民への効果【市民や地域団体、未来ある子どもたちの挑戦するチカラを引き出す】 小田原は非常に観光資源が多く、外から訪れる方へのイベントやおもてなしは全国有数であると言えます。しかし、市民アンケートの調査結果内の小田原市から転居したい理由の 1 位が「娯楽や余暇を楽しむ場が少ない」という結果となっている通り、市民の、特に若い層が生活圏内で楽しいと感じる場所が少なく、休日は近隣の他都市に遊びに出かけるという事象が起こっています。市民が生活圏内で「娯楽や余暇を楽しむ場」を創造し、地域の枠を超えたエンターテインメントを誘致することができれば、市民の楽しみを作り出すことができ、この課題を解決できると考えます。 現在地域で活動している団体もエンターテインメント空間を演出できるアリーナを活用することができれば、一層洗練された運営が可能となり、地域スポーツや地域文化の振興にも大きく作用します。 そして、地域の枠を超えたエンターテインメントが小田原で開催されることにより、地域に住む子どもたちが“本物”や“ブ”に触れるチャンスが格段に増えることとなります。夢や希望を持つきっかけが増え、なおかつ質の高い教育を受けることにより、幅広い分野で活躍する市民が増えることが期待できます。 ■「世界が憧れるまち」小田原」のシンボルに【小田原全体のチカラが集結し、市民や関わる人々のチカラを引き出す】 休日は地域の枠を超えたエンターテインメントが展開され、まちに人呼び込み、地域の経済発展や市民の満足度向上につながります。 また、平日は市民が利用できる運動施設、防災施設、教育機関、公民連携の拠点などを併設・隣接させることにより、「世界が憧れるまち」小田原」を象徴し、推進する施設となれば、小田原市のビジョンを実現させるまちづくりの中心的存在になることが期待できます。	まずは、令和3年9月5日にオープンした小田原市民ホール(愛称:小田原三の丸ホール)において、著名なアーティスト等による鑑賞事業を実施することで、本市の存在をアピールしていきたいと考えています。 また、小田原市総合文化体育館・小田原アリーナは、メインアリーナの定員が6,000名ですが、これまで、大規模なスポーツや文化イベントを行う施設として活用されており、今後も引き続き有効活用していきたいと考えています。
89	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 酒匂川スポーツ広場に代わる、恒常的スポーツ広場を求めます。子どもときの思い出で、城内球場がありました。小田原城内にサッカーや野球、ソフトボールなどができるスポーツ広場があるといいです。小田原駅からのアクセスが良く、全国から集まりやすいです。また、三の丸ホールとも併せ、市の中心市街地の活性化にもつながると思います。	酒匂川スポーツ広場を含むスポーツ施設全体のあり方については、第6次総合計画の重点施策に位置付けて、検討していきます。
90	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 ほぼ毎年のように大雨が降ります。そうすると小田原市では増水した酒匂川が河川敷のグラウンドを破壊します。そうするとその度に小田原市が税金を使ってきれいに整備します。もったいないと思いませんか？ 河川敷のグラウンドを移設したほうがよいと思います。私の案として考えたのが、小田原城址公園内の元野球場や二の丸広場などを野球、ソフトボール、サッカー、ラグビーなどができる多目的広場に作る案はどうでしょうか？小田原からも近く小田原のシンボル小田原城もあるのでお城の中にある多目的広場をコンセプト。三の丸ホールも一体にした広場は、選手や関係者、見に来る人などたくさんの人に小田原の魅力をアピールすることもできるので、移設するならこの場所がよいと思いました。是非ご検討下さい。	酒匂川スポーツ広場を含むスポーツ施設全体のあり方については、第6次総合計画の重点施策に位置付けて、検討していきます。
91	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(3)世界とつながる機会の創出 外国籍住民の日本語教育が浸透し、日常生活での交流が生まれているとともに、学校における外国語教育もあいまって、海外に出て学びたい、活動したいと思う子どもが増えていることをどのように確認するのですか？	本市で実施している国際交流事業(ときめき国際学校・海外姉妹都市青年交流事業)への応募者数は、一つの指標になると考えています。
92	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(3)世界とつながる機会の創出 他の国の文化とか世界とつながる機会に触れという言葉が出てくるが、バブル時代に小田原で実施されたオーシャンクルーズのイメージと重なる。P.8に書いてあるように市税330億の現状でふさわしいものか考えてほしい。	外国籍住民の増加やインターネットの普及により、日常生活において、他の国や地域のさまざまな文化や習慣に触れる機会は増えています。身近なところから、海外に興味を持つと同時に自国を見つめ直す契機とし、多文化共生の推進、子どもたちの国際理解の促進につなげていきます。
93	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 再生可能エネルギー導入量とは何に再生可能エネルギーを導入した量のことですか？	市内に導入される再生可能エネルギー設備全体の発電容量です。
94	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 環境エネルギー対策として、核融合発電所による産業基盤、農業人口減減による農業の工業化(Amazon化)システムをデザインしたSDG s街づくり。	持続可能な社会の実現に向けて、再生可能エネルギーを活用した先進技術の実装に取り組んでいきます。
95	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 小水力発電と蓄電設備をセットで設置することで、豊富な水資源をエネルギーへ活用可能と考える。	市内の再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは太陽光発電が高いため、建物や土地への太陽光パネルの設置を中心とした施策を実施していますが、小水力発電もポテンシャルの一つとして検討を進めていきます。
96	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 マイクログリッドの取り組みこそもっと市民に知らせるべき。	地域マイクログリッド事業は、現在、モデル事業を構築中ですが、運用開始後も市民に対し周知を行っていきます。
97	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(2)地域循環共生圏の構築と森づくり 都市住民の定義を教えてください。	東京都、横浜市及び川崎市のいずれかにお住まいの方を指しています。
98	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 小田原駅西口・東口の民間再開発事業やストリートの形成が進み、小田原駅周辺のにぎわいが創出されていることをどのように確認するのですか？	小田原駅周辺流動客数や優良建築物等整備事業を活用した住宅戸数といった指標を注視しつつ、各地区での公民連携でのまちづくりの取組の進捗を踏まえて総合的に判断していくことになると考えています。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
99	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり ストリートの活性化について、お堀端通り、御幸が浜、蒲鉾通りに抜ける通りに小型電気モビリティを使用して、不定期な動線としても良いのではないかと民間事業の参入もありで。	ご意見については、小田原駅・小田原城周辺のまちづくりを検討する上で参考とさせていただきます。
100	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 市民会館の跡地利用として、まず更地にして、どういう風景が広がるかを確認した上で、以下を提案させていただきます。 <1学橋臨時駐車場の拡大>市民会館時代では保育園の発表会などがあるだけで、周辺の民間駐車場も含めて満車になる状況であった。この案では少なく見積もっても40台→90台に拡大できる。※景観と維持費用のため、基本的に平面駐車場を提案。 <2大手門(鐘つき堂)の整備>お濠側からも、国道からも見えず、ガイドさん無しで訪れる人はまばら。日清亭、21区事務所、司法書士事務所の移転を要請および支援。東電駐車場には建物を建てないよう要請。小田原城の大きさを感じる上で重要な門跡であり、向かいの裁判所と合わせしっかり整備すべき。 <3山車小屋の設置>鐘つき堂の隣に21区の山車倉庫があるが古く危険で、せっかくの城跡を台無しにしている。当の山車は、昭和1年製作と小田原市内でも古い部類であり、松原神社の神輿庫や23区の山車倉庫を参考に、祭典期間以外でも広く市民や観光客に見てもらえるようにすべき。鐘つき堂と相乗効果を生むような倉庫建設に補助をしてはどうか? <なお、小田原(城下町=旧小田原町)の祭りは、神輿の担ぎ方と、屋台山車の形状とお囃子が日本全国でも特有のもの。>また、各自治会や神社が行える活動には限界があり、市政の支援が必要。これは観光収入で結果的に市政にも還元される。 <4道路・歩道の拡幅>小中学生の通学路ながら、市民会館時代は歩道部が狭い割に交通量が多く、登下校にも安全とはいえない状況であった。また、お堀端からの誤進入や、浜田耳鼻科の駐車場から出て左折してしまう逆走車も散見された。よって、市民会館跡地と本町臨時駐車場の北側一部を、車道と歩道に使用し、車道においては片側1車線の対面通行を可能とすべき。これにあたり、大聖ビル・高橋ビルには移転の要請と支援が必要。 以上、これらにより国道1号線の通過客(特に東京方面から下って来た車)は目の前に、天守閣・大手門・お濠・山車小屋が現れ、城下町を感じる事ができる。車を停めて観光したくなる客動線を構築でき、9月完成の三の丸ホールとの動線を相互に強固なものにする。観光政策が「点から線」へと変わってきてるが、さらにその上、「線から面」に格上げできる。 ∴このような観点から、市民会館の残置や、ハコモノ(新施設)の建設は、景観・観光・交通・費用などの面から不適切と考える。	<1学橋臨時駐車場の拡大について> 現在の本町臨時駐車場を含む市民会館等の跡地活用については、平成30年に策定した「三の丸地区の整備構想」において、整備の方針を段階的に位置付けていますが、三の丸地区の整備構想以降、社会情勢や周辺環境等が変化していることを踏まえ、整備機能を再検討しているところです。ご提案については、整備機能を再検討をする上で、民営駐車場を含む周辺の駐車場の充足率などの状況を考慮しながら、設置の有無や規模等を判断していきます。 <2大手門(鐘つき堂)の整備について> 大手門については、重要な資源であると認識しており、その復元の可能性について検証しながら資料の調査・研究を行い、史跡にふさわしい整備を進めていくための将来像を検討していきたいと考えています。 <3山車小屋の設置> 山車小屋の設置はひとつのご意見ではありますが、市内の他の事例は民間の助成制度などを活用したものです。ここは景観計画重点区域のため、建築物の外観を良好な景観形成に著しく寄与する修繕を行う場合は補助を行っています。なお、特色ある小田原の祭りにかかる有形・無形の民俗文化財(山車・神輿・小田原囃子など)を次世代に確実に継承していくために、どう支援の手立てをしていくかについては、今後の検討課題としていきます。 <4道路・歩道の拡幅について> 三の丸地区の整備構想に位置付けている短期計画の整備エリアは、市民会館跡地をはじめ、本町臨時駐車場を含むエリア一体を対象としています。整備機能を再検討し整備を進めていく中で、道路・歩道の拡幅や移転等が必要な物件については、その必要性に応じて調整していきたいと考えています。
101	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 箱根口の整備とその名称の優位性確保のため、国道1号線から「小田原城の門がある」と分かるような工夫をする。門は土台がある三の丸小側をまず再現し、対面側も整備を行う。これにあたりスポーツ会館を三の丸小のように城下町らしい建物、箱根口門とつながるようなデザインとした増改築をする。 現状ではトレーニング室や道場が非常に狭く、駐車するにも停めにくい。建築から年月も経っており、防災拠点の確保(感染症以前に、三の丸小だけでは足りない)という面からも、いずれにしろ増改築は必要である。また隣接の土産物店であるが、立地的に孤立しており不便であるため利用客が少ない。むしろ向かいの藤棚駐車場側に移転すれば、観光バスの客が立ち寄れる上に、空いたスペースを用いてスポーツ会館を拡大できる。現在の受付および観光ガイド待機所を2階建てなどにして統合したほうが気軽に立ち寄りやすい。	ご意見については、今後のまちづくりを検討する上での参考とさせていただきます。
102	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 世界が憧れるまち「小田原」を目指すならエレベーター位あっても良いのでは? 世界的に見ても歴史や文化、自然・食環境・交通アクセスに恵まれた小田原は、他都市が羨むほどの可能性があります。その可能性をいかんなく発揮し、世界中の人が行ってみたい、住んでみたいまち「世界が憧れるまち」小田原」を目指します。と計画には書かれております。 この課題の中で、特に弱者や障害を持つ方、子育て世代にも注目していただきたいと思えます。その意見の一つに、小田原駅前の地下街への導線の問題について申し上げます。 現在、地下街へ車椅子やベビーカーで行きたい場合は、ラスカの中にあるエレベーターで降りることが唯一の方法です。これは、本当に優しいまちづくりなのでしょうか? 先日、駅前商店会側に障害者の方の車が止まり、地下街の「みんなのトイレ」に行きたかったのですが、ラスカまで行くのに大変で周りの人たちが持ち上げ地下まで降ろしたことがあります。もしラスカと反対側に一か所でもエレベーターがあれば、どれほどの方が利用するか?とどれだけ弱者に優しいか?は一目瞭然だと思えます。大雨でも車椅子で駅に向かうのに手前でエレベーターに乗り地下街を通り、ラスカの3階まで上がれば傘もいりません。現状はロータリーまで傘をさして向かい、ラスカに入るか、大雄山線側のエレベーターを使うしか方法はないのです。他にも不便な所や施設もありますが、ぜひ小田原の駅前の顔として、「見えるまちづくり」「弱者に優しい施設づくり」をお願いしたいと思います。	小田原駅前での地下街へのエレベーターの設置は、スペースの確保や地下施設への構造的影響などから、現状では困難な状況です。今後、民間による再開発などの動向を見ながら検討したいと考えています。
103	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 人口増加のため、「小田原駅周辺地区の高層マンション(タワーマンション)の建築の推奨」 小田原駅は新幹線も停車し新宿、東京方面にもアクセスしやすい地域です。高層マンションの需要は高く人口増加に直結する良い案だと考えます。	高度地区の高さ制限については、駅前の商業地域等において、緩和規定を設けています。なお、その場合においても、天守閣の標高未達とすることとしており、現時点においては、この運用を続けていくものと考えています。
104	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 御幸の浜の活性化として、湘南地域と比較して御幸の浜は波が立ちやすく、水深もあるので一般的な海水浴やSUPやカヌーなどでの利用は制約がある。海が一般的な海水浴に不向きという点から御幸の浜プールは補完的な用途があるが、その存在が十分に宣伝されていなかったと考えられる。また海では安全に「オープン・ウォーター・スイミング(OWS)」の体験や練習ができるような漁協などと協力したような体制があれば、「海水浴には不向き」ではなく、「OWSに適した」という評判を得ることができるとも思われる。また「ペブルビーチ」も特徴となりうるし、個人的には、波に浮かんで海中で聞く、引き波の鳴らす砂利の音も御幸の浜のユニークな魅力と考えている。	近年、海の利用は多様化、複雑化していることから、漁業者をはじめとした関係者と意見交換を行い、漁業と海洋性レクリエーションの共存に向けた研究を進めます。また、御幸の浜プールを含むスポーツ施設全体のあり方の検討については、第6次総合計画の重点施策に位置付けています。いずれにしても、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
105	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 御幸の浜については夏季のみ稼働しているプール施設を改善し、民営化や公設民営によって通年利用可能な施設(トイレ、シャワー、カフェレストランなど)を付帯させることにより、夏に限らず、いずれの季節にも快適に海からの日の出、真鶴半島の景色、潮騒の魅力を楽しめる場所とすることが可能と考える。	御幸の浜プールを含むスポーツ施設全体のあり方については、第6次総合計画の重点施策に位置付けて、検討していきます。
106	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 交通の妨げとなる駐停車を減らしたり、カーシェアリング拠点としたり、道路事情の劣る近隣において自家用、来客用、配達用に共同利用できるような駐車場については、市内に豊富に存在する寺社所有の檀信徒専用駐車場を活用できればと思う。賃貸事業を行うと寺社側に税法上の問題が生じるが、それを迂回、軽減できる方法を公共目的のため、あるいは民間駐車場運営会社などと策定できればよいと思う。	ご意見については、今後のまちづくりを検討する上での参考とさせていただきます。

No.	該当ページ	該当箇所		意見内容		市の考え方・対応方針(案)
107	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 中心的商業施設であるコロナやダイナシティが駅から遠い。施設の無料バスなどもあるが、やはり駅から遠く、車を持たない近隣以外の市民にとっては行きづらい場所で、路線バスも経路が複雑であり、曜日によっては混雑している。また、この近隣に住んでいる住民は、「土日は車を出せない事がある」(新幹線ガード付近住民の話し)との事。	公民連携での公共交通の利用促進により、混雑軽減に取り組んでいます。なお、路線バスの経路は、バス事業者のHP等で検索できますのでご活用ください。
108	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり みんなが集まれるビーチパークの整備	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
109	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 酒匂海岸は利用客が大変多いが、トイレ、シャワー、津波避難塔など他の海にあるインフラが全く無いので整備	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
110	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 子供も楽しめる浅瀬のビーチが欲しい	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
111	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 酒匂海岸は利用客が大変多いが、トイレシャワーや津波避難塔など他の海にあるインフラが全く無い。整備するべき。また、釣りの方やバーベキューをするひとが多く、駐車場が狭く、止まらない事が多いので、あと3倍くらい広くしていただきたい。そうすることで、酒匂周辺のお店も儲かるようになるし、人の流入が増え良いと思う。ただし、ゴミなどのルールを徹底しなければならないと感じる。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
112	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 御幸の浜を、安定してサーフィンが可能な人工リーフを設置し、移住定住交流人口増加につなげるべき。藤沢市の海のようにすれば、移住者が増え、海をベースに生活する人が増えおしゃれな、海の街をアピールすることができるだろうし、そこで新しいカルチャーが生まれ、小田原市にとってとても良い方向に進むと思います。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
113	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 御幸の浜周辺に駐車場が無いので、ビーチパークと複合した駐車場を整備するべき。	市として、海岸周辺の駐車場整備については、近隣住民の方への影響もあり、整備の予定はありません。小田原漁港西側エリアには、漁港の駅TOTOCO小田原敷地内に46台、隣接する県駐車場に120台の駐車スペースを用意しています。
114	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海の近くにおしゃれなカフェをたくさん作ってほしい	カフェなどの飲食店や小売店等の出店は、消費者の需要が見込まれ、採算性が高いと事業者が判断した場合に生まれるものであり、出店希望者から相談があれば対応していきます。
115	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 気軽に海水浴ができるビーチパークを作ってほしい	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
116	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり サーフブランドなどおしゃれな雑貨が売っている店がたくさんほしい	雑貨を扱う小売店や商業施設の出店は、消費者の需要が見込まれ、採算性が高いと事業者が判断した場合に生まれるものであり、出店希望者から相談があれば対応していきます。
117	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海を生かしたまちづくりについて、ビーチカルチャーや交流拠点となる、おしゃれなビーチパークを整備するべき。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
118	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海を生かしたまちづくりについて、御幸の浜周辺に駐車場が無いので、ビーチパークと複合した駐車場を整備するべき。	市として、海岸周辺の駐車場整備については、近隣住民の方への影響もあり、整備の予定はありません。小田原漁港西側エリアには、漁港の駅TOTOCO小田原敷地内に46台、隣接する県駐車場に120台の駐車スペースを用意しています。
119	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海を生かしたまちづくりについて、私は海のない埼玉の出身だが、小田原はせっかく街からすぐ近くに海があるのに、普通に生活していると海が存在を身近に感じる事がなく、非常にもったいないと思う。ようやく漁港周辺が、一般客向けの店舗ができて駐車場が解放されたり、totocoができて賑わうようになってきたが、自然の海を感じる憩いの場が足りない。ぜひ御幸の浜周辺をビーチパークとして整備してほしい。海から離れたところに住む市民でもアクセスしやすいように駐車場を増やすとともに、駅からの公共交通手段を増やしたり、小田原城やかまぼこ通りをつないだ街歩きコースをアピールすることで街中の広い範囲を活性化することができる。小田原の海はドン深で危険な面もある。ビーチパークというキーステーションを設けることで、安全な楽しみ方を知らせることもできる。海を身近に感じられない理由の一つに西湘バイパスによる断絶もあると思っているが、一方でビーチに出る場所を限定できる。これを生かして、街と海を上手につなげてほしい。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
120	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 小田原の海の利用について。市外からの利用者です。サーフィンや、釣りを通じて湘南や小田原の海を利用して頂いています。早速ですが、小田原の海を利用して頂くときにいつも感じる事があります。それは、駐車場の環境です。特にトイレや公共の駐車場がない事です。例えば ①酒匂の駐車場:トイレ設置や路面の舗装してほしいです。出来れば無料のままです。 ②御幸の浜駐車場:駐車場がタイムパーキングのみ。割高…こちらに市営の駐車場があると嬉しいです。 ③早川漁港の駐車場:狭いし、止めづらいし、朝は漁師さん専用?こちら市営の駐車場があると嬉しいです。 私見ですが、小田原の海沿いにはゆったりとした、環境の整った駐車場が、無いような気がします。是非とも整備をお願いします。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
121	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海を活かした街づくりをぜひして頂きたいです。せっかく遊泳可能な海があるにも関わらず、湘南方面の海とは違い、盛り上がり欠けています。駐車場やシャワー、トイレ設備が整っていないのも残念です。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
122	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海を活かした街づくりについて、SNS映えする様なカフェや鎌倉の様に食べ歩きできるゾーンなどあれば若い子達もたくさん小田原に遊びに来てくれるのではないかなと思います。小田原が素敵な海のある、SNS映えする様な有名な観光地になればいいなと思います。	県が事業主体となり進めている早川海岸整備において、背後地の生命、財産を守ることはもちろん、漁業と共存しながら、市民の憩いの場となるような海岸の整備に向け、県に働きかけていきます。なお、小田原漁港やかまぼこ通り周辺地区は、海鮮料理の店舗等の出店や海を活かしたイベントの開催等で人気の観光スポットとなっており、SNSでの情報発信により若いリピーターも増えています。ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
123	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海を生かしたまちづくりについて。小田原市が初めて海についてこのような動きとても良いことだとおもいます。自分は縁があり、小田原市の海で遊ばせてもらっています。他湘南地域と違い、どん深であり遊泳にはてきさないと思いますが、地域の方の憩いの場として、散歩や釣り、その他SUPなど楽しんでいる方々がいます。そこで、トイレ、シャワー、遊歩道の整備をし、地域の方にとって海をもっと身近な物として感じられる様な整備を願っています。まずは、御幸の浜にシャワー、駐車場等気軽に立ち寄れる様になるといいなとおもいます。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
124	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海の利用の駐車場を整えたいです。	市として、海岸周辺の駐車場整備については、近隣住民の方への影響もあり、整備の予定はありません。小田原漁港西側エリアには、漁港の駅TOTOCO小田原敷地内に46台、隣接する県駐車場に120台の駐車スペースを用意しています。
125	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり おしゃれなビーチパークが欲しい	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
126	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 初心者でも楽しめるサーフポイントが欲しい(浅瀬のビーチが欲しい)	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
127	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海の施設を充実して欲しい	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
128	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 小田原から東京へ通う子育て世代の者です。コロナ禍で小田原の魅力が再評価されるなか、是非海を活かした街づくりを行なってほしいです。大磯以東に比べせっかくの海資源が活用されずもったいないと日頃から感じています。御幸や酒匂と言ったビーチがあるので是非そこを整備していただきたいです。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
129	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり せっかくある海を活かしてほしいです。贅沢を言うのであれば湘南に相応しい藤沢や辻堂平塚のビーチパークのような幅広い年代が楽しめる場所を考案していただきたいと思っています。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
130	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 海を生かしたまちづくりについて、海を観光資源として活かしていないと感じるため、市街からの来訪者を呼び込む為に海辺を楽しむ環境を整備するべきだと思います。また、海が市民にとっての生活環境の一部として認識され親しまれる為の意識づけや環境整備が必要と感じます。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
131	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり マリンスポーツを楽しむ人向けにトイレやシャワー設備の設置	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
132	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 観光客向けのおしゃれなビーチパークの整備(ボードウォークやカフェ等)	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
133	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり ファミリー向けに子供が安心して遊べる浅瀬のビーチの整備	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
134	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 交通アクセス向上の為に海沿いの駐車場の整備	市として、海岸周辺の駐車場整備については、近隣住民の方への影響もあり、整備の予定はありません。小田原漁港西側エリアには、漁港の駅TOTOCO小田原敷地内に46台、隣接する県駐車場に120台の駐車スペースを用意しています。
135	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり ドッグランやスケートボードパーク等、海に直接興味がなかった人達に訴求する設備の整備	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
136	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 環境整備と併せて、海のまちとしてのブランディングとPRが必要	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
137	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり ビーチパークを作ってサーフィンやスケボーが出来るようにしてほしい！	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
138	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり 茅ヶ崎湘南夢ワクワク公園、横須賀海風公園の様な海とカルチャーの発信的な施設が必要だと思います。この点小田原はとても弱いですが、どこでも「〇〇禁止」って事が多いです。	海岸の管理者は神奈川県であり、市の一存により海岸整備を実施することはできません。しかし、本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、ご意見を参考に今後の活用について検討していきたいと考えています。
139	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	- 人口の社会増社会減の問題は小田原市に限ったことではなく他の自治体においても同様であり、他自治体においても社会増のために訴求と環境整備の移住定住促進策を展開してくると思いますが、社会増につながる小田原としての強みはどのようなものがありますか？	本市には、長い歴史の中で先人より継承されてきた歴史・文化、森里川海がオールインワンでそろっている豊かな自然環境、都心にもアクセスしやすい充実した鉄道網や道路網があり、新しい生活様式へと変容しはじめている社会において、こうした本市の魅力は域外の方を呼び込むチャンスになると考えています。

No.	該当ページ	該当箇所				意見内容	市の考え方・対応方針(案)
140	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	-	人口増対策に、ロボット化、海外からの実習生の活用を。また、子育て等支援金の充実、給付金の配布、早川、根府川等沿岸地域に小規模工業輸出入港湾、の増設、その他、リモートワークでのプログラミング化拠点の設立	外国人の技能実習は、滞在可能期間が最長3年となっていることから、直接、定住人口増につながるものと思われませんが、技能実習制度を通じて、人づくりへの国際貢献や関係人口の創出に寄与するものと考えています。 子育てに係る給付等の支援の充実については、現行制度の状況をよく見ながら、国や県の施策の方向性等も踏まえ、支援が必要な人に届くように引き続き検討していきます。 また、業務のロボット化(RPA)は令和元年度に導入を開始し、順次適用業務を拡大しているところです。
141	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	-	人口増を明確な目標に掲げた点については大いに評価できる。今後の具体的な施策について期待するところである。	ご意見として承ります。
142	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	-	私が日々過ごす中で行政に対し強く希望することは、学校や福祉、道路などのライフラインなどの施設に充実したよりよい環境を望みます。そのためには、税の増収が不可欠ではないでしょうか。税の増収を得るためには、当然人口を増やすこととなります。 今回の総合計画案の構想にある『9年で人口20万人にする』について私も大いに賛成です。しかし、今の状態のまま本当に人口増加は望めるのでしょうか？過去から今も小田原市で推奨している『空家の再利用』だけで人口1万人を増やせると本気で思いますか？私個人的には『空家の再利用』は何の成果もなく失敗だと思えます。新たな人口を増やす具体的な方法が必要ではないでしょうか？ やはり人口増加にはその受け皿が必要だと思えます。そのためには既成市街地からいかに住宅供給面積を広げられるかがポイントです。	空き家の再利用だけでは、人口20万人規模の都市の実現は難しいものと認識しています。そこで、第6次総合計画行政案では、空き家をはじめ、中古物件として不動産流通にある住宅を住宅ストックとして捉え、情報発信をしていきます。 また、既成市街地における低未利用土地の活用も立地適正化計画における誘導施策に位置付けており、あらゆる方策により人口20万人規模の都市の実現を目指していきます。
143	32	実行計画	施策・詳細施策	施策 2 高齢者福祉	詳細施策 1 生きがいづくりの促進	市は健康寿命の延伸を重点施策として取り上げています。 そのこと自体は結構な事ですが、市財政において扶助費の増加が避けられない現状を考えると敬老祝い金の取り扱いを再考すべきと考えます。 厚労省によると国民の年齢階級別医療費は65歳以上が54.6%を占めています。高齢者割合が国全体より多い小田原市の場合はそれ以上になっているかと思えます。 高齢者の多くは自宅での平穏な死亡を望んでいるのに、実際は病院での死亡が大多数を占めているのが現状です。そして病院では本人のQOLを考えると疑問があるような延命治療を施され、医療費の増加の要因となっています。 厚労省では後期高齢者医療費の見直しをしましたが、予てから「人生会議をしてみませんか？」と呼びかけています。市は今の敬老祝い金制度を廃止し、75歳になった人に後期高齢者医療制度の説明に併せて人生手帳を配布し、自分の人生を振り返り、今後の過ごし方を考え、人生の終末について家族とも話し合う機会を持つように促すことが有効であると考えます。	敬老行事については、関係団体(民生委員、自治会等)の代表者と市が、数年ごとに検討会を開催し、対象者や金額などの見直しを行っています。今後の祝金のあり方についても、その中で検討していきます。 人生会議については、「在宅医療と介護の連携推進」の取組の中の1つとして、実施していく方針です。
144	33	実行計画	施策・詳細施策	施策 3 障がい者福祉	詳細施策 3 障がい者サービスの充実	詳細施策3障がい者サービスの充実を見ますと目標値で、介護給付及び訓練等給付の利用者数として基準値2108人と掲載されていますが、この数字は一見するとかなりの利用が、現在されているように見受けられますが、たとえば家事援助、身体介護などのサービスは同一障害者がサービスをだぶって利用している事もありますので、介護給付及び訓練等給付の延べ利用者の数値が過大な印象を与えるので、例えば、数値は同一障害者による重複利用の延べ数ですとの表記等をされた方が、総合計画を閲覧される方に障害者福祉の置かれた正確な立ち位置を伝えることが出来ると思えます。	介護給付の中の居宅介護サービスには、身体介護や家事介護通院等介護などの種類がありますが、居宅介護サービスを複数ご利用の方については重複しないようにカウントしています。ただし、同じ介護給付費の中の別のサービス、例えば、居宅介護サービスと重複して短期入所などをご利用の場合、それぞれのサービス利用者ということでカウントしています。いずれにしても、介護給付と訓練等給付にかかるサービス別実利用者数を目標値としています。
145	36	実行計画	施策・詳細施策	施策 5 地域医療	詳細施策 4 新病院の建設	新市立病院には緩和医療、ホスピス病棟の設置も検討して欲しいと思います。	市立病院では、がん診療連携拠点病院として、主に一般病棟に入院中のがん患者に対し、緩和ケアチームによる適切な緩和ケアを行っています。新病院でも引き続き同様の体制で行う予定であり、緩和ケア病棟を設置する予定はありません。
146	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災	詳細施策 1 災害被害軽減の推進	小田原の海岸は、かつては波打ち際まで100m~200mある砂浜でした。子供達は、凧あげや野球に興じました。御幸ヶ浜は、夏ともなればビーチパラソルが並び海水浴場として賑わい、木下大サーカスのテントを張った興業が行われました。多くの小田原市民にとって、原体験の一部でしたが、今やその姿はなく、石ころだらけの狭い海岸になってしまいました。 砂浜が豊かであることは、防災上も重要です。大きな波が来ても砂浜で吸収されて、減多に堤防まで来ることはありません。今は、台風の波が西湘バイパスをすぐに崩壊させるようになりました。 酒匂川の河床がこの40年の間に急速に上がって、河川断面が相当減少しています。水を運ぶ川のキャパシティが減って、大雨が降るとあふれ出る危険が現実性を増しています。飯泉の取水堰は、今や水をせき止めているのではなく砂をせき止めてしまい、本来海に流れていった砂が貯まりに貯まって、栢山よりも上流に至る河川断面を減少させています。砂浜の後退と河床の上昇は、砂を海に流さない状態を作ってしまったことが原因であることは明白です。ダンプカーでわずかな量の砂を海に運んでいます。自然に流れるようにする根本的な対策が打たれないままです。 飯泉の取水堰を、取水はするが、砂はすべて海に流れるように大改良することは技術的には可能だと思えます。また、既に溜まってしまった膨大な量の砂を24時間継続的に海に運ぶ設備も可能だと思えます。 このままの状態を放置しておく、5年以内に、酒匂川の洪水と海岸の浸食による被害が頻発するでしょう。かつての海岸や河床を原体験として持つのは高齢者だけになり、大半の市民も行政もこの問題に現実的なイメージを持たず気づいていないことが恐ろしいのです。総合計画の中の防災部分だけでなく、都市景観、教育、観光商業にも横断的に関わる重要問題として取り上げるべきだと思います。	管理者である県では、山から海に至る各方面の管理者が連携し合う、「酒匂川総合土砂管理プラン」を策定し、酒匂川の生態系にも配慮しながら堆積土砂の掘削や海岸の養浜事業を実施しています。
147	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災	詳細施策 1 災害被害軽減の推進	現在、県内河川において堆積土砂の除去が進められているが、単に土砂を取り去るだけでなく、川床の掘り下げを進めれば、水路としての活用も可能になり、氾濫危険も減少するうえ、<堆積砂の効率よい排出により海岸養浜>につながる。川砂の利用価値はあるが、溜まった分を全て建築用に回せば、文字通り国土の減少になる。飯泉取水堰の吐出量もこれを踏まえて設定して欲しい。御幸の浜の場合、自分が小学生だった35年ほど前は、今の海岸線から20mは沖合いだったのではないだろうか？供給される砂が無ければ減るのは当然で、いくらTバー等を作っても防波堤としか機能しない。永続的で自然な砂の供給が解決策と考える。	管理者である県では、山から海に至る各方面の管理者が連携し合う、「酒匂川総合土砂管理プラン」を策定し、酒匂川の生態系にも配慮しながら堆積土砂の掘削や海岸の養浜事業を実施しています。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
148	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 1 災害被害軽減の推進	整備すべき自然環境に酒匂川を提案します。酒匂川に神奈川県水道事業団の取水堰がありますが、堰があるために川底があがり砂が海に流れず河川の氾濫リスクが生まれました。さらに、海に川の堆積物が流れないことによる海岸浸食、魚などの海産物資源の減少なども、この影響です。小田原市民があまり受益しない神奈川県の水道施設で、自然が失われ、魚は少なくなり災害の危険にさらされている現状をから、10年後はもう一度豊かな小田原の海・山・川が戻ることを願います。	管理者である県では、山から海に至る各方面の管理者が連携し合う、「酒匂川総合土砂管理プラン」を策定し、酒匂川の生態系にも配慮しながら堆積土砂の掘削や海岸の養浜事業を実施しています。
149	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 2 災害時即応体制の強化	現在設置されているマンホールトイレの場所と今後追加を考えている場所を教えてください。	現在町田小学校に設置しています。今後、広域避難所等防災拠点への整備を検討しています。
150	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 2 災害時即応体制の強化	水に関して、上下水道と防災の枠組みの中に記述がありますが、地下水の重要性についての視座が不足しているのではないのでしょうか。災害時の給水について、給水車での供給にまずは眼が行っています。小田原には、浅井戸も自噴井戸もまだ多数存在します。市内の井戸をその普段の使用の有無も含めて調査し(勿論飲料に適するかどうかの検査も併うわけですが)、災害時に活用できる体制を敷くことを課題にすべきでしょう。特に災害時には、十分な飲料用、洗濯用、洗浄用の水が最も重要な存在になります。給水車での供給には限界があります。小田原は、地下水が豊富である利点を活かした防災時の水対策を考えるべきではないのでしょうか。	引き続き、市内井戸水の利用の視点を含めた災害時の飲料水及び生活用水の給水体制の整備について、国・県等の動向を注視しながら検討していきます。
151	40	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 3 地域防災力の強化	施策 7 防災・減災に関して、詳細施策に「女性の参画」を追加してほしい。地域、地元の情報を多く持っている女性、女性の視点は不可欠。	女性の視点の重要性は認識しており、各地区の避難所運営委員会では避難所運営に女性のニーズを執り入れるため、女性メンバー登用の促進や委員への意識啓発を行っているほか、市の配備職員の1/3を女性職員にするなど、すでに男女共同参画の観点で対策を講じています。
152	41	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 4 危機管理体制の整備	関係機関4件とはどこですか？	湘南七市四町防災事務連絡協議会、中越大震災ネットワークおじや、県西部広域行政協議会、東海道五十三次との連携を指しています。
153	41	実行計画	施策・詳細施策	施策 7 防災・減災 詳細施策 4 危機管理体制の整備	他県での災害発生時にあらかじめ決めた避難先として空き家を活用することを検討してはどうか。	所有者との合意形成や、空き家の発生が流動的であること、空き家は古い建築物が多く、避難先としての適正把握など、様々な課題があるため、避難先として空き家を活用することは検討していません。
154	45	実行計画	施策・詳細施策	施策 10 子ども・子育て支援 詳細施策 4 青少年育成の推進	非日常型体験学習とはどのようなものですか？	家庭や学校では得られない体験を通して、日ごろ当たり前と思っていた物事の大切さを改めて認識するとともに、学校や年齢を超えた仲間との交流を通して自主性・自立心・協調性・創造性などの豊かな人間性を育む事業です。
155	46	実行計画	施策・詳細施策	施策 11 教育 詳細施策 1 教育活動の推進	先年、PISA調査で日本の小中学生の読解力低下が明らかになり、文科省でも読解力向上プログラムを取りまとめたと報じられました。9月9日の読売新聞夕刊に、「小学生時代に読書量が多いほど、中学生や高校生になって授業が楽しいと思えたり、新しいことに興味を持ったりする割合が高い」との文科省の追跡調査結果が紹介されていました。読解力はすべての学習の基礎になるものです。子供の時から読書に親しむ癖を身に付ける事は何時の時代にも必要な事であると思います。学校図書館の充実を図り、資格を持つ学校司書の常駐体制を目指すべきだと思います。	ご指摘のとおり、読書力はすべての学習の基礎であり、その向上は大変重要なものと考えています。市では、学校司書を全校に配置し、読書環境の向上、学校図書館の充実を図っていますが、今後も学校司書が十分にその能力を発揮できるよう、適切に対応していきます。
156	46	実行計画	施策・詳細施策	施策 11 教育 詳細施策 1 教育活動の推進	ステップアップ教育は埼玉県の結果も読ませていただいたが、結論的には、一人一人の児童の伸びを見ていくとあってはいるものの、教師の力量の底上げが目的でそのために子供たちへテストの負担を与えるものになっている。福井県の教育委員会の取り組み(一人一人の個性を伸ばす)こそ、本当に子供たちの自己肯定感を高めるものだと思う。ぜひ授業の運び方、子供たちの生き生きした姿を見てほしい。ステップアップはやめるべき	ステップアップ調査は、個々の児童生徒の成長度合いを捉えることにより、きめ細かい指導や取組に生かすためのツールです。教師の指導力向上も期待されますが、これも児童生徒に還元されるものと考えています。調査の実施に当たっては、児童生徒の過重な負担にならないよう、取組を進めていきます。
157	50	実行計画	施策・詳細施策	施策 13 商業・地場産業 詳細施策 2 地場産業の振興	伝統工芸品の小田原漆器は丈夫な木製品であるため、脱プラスチックにも貢献できるものと考えている。	小田原漆器をはじめ、木製品全般の流通は脱プラスチックに効果的と考えています。木製品の持つ温かさや耐久性、職人の技術などのほか、環境への好影響の期待も含めて情報を発信していくことを検討します。
158	50	実行計画	施策・詳細施策	施策 13 商業・地場産業 詳細施策 3 中心市街地のにぎわいづくり	小田原駅地下でダンス(ブレイクダンス)の練習orイベントを行いたいです。	地下街の公共広場は過去にダンスイベントの実施実績があり、主催者より利用希望をいただき、公共広場の運用目的に合致すれば、調整のうえイベントの実施が可能ですが、練習等での使用は難しいと考えています。
159	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 1 農業の担い手育成と交流体験の推進	主な取組「新規就農者の支援」について、目標値の基準値(令和2年度)に63人ありますが、年齢の内訳(内定年後の就農者)地区別では、どこの地域が多いですか？	新規就農者数は令和2年度までで、60歳以上の方は12名おり、一番多い就農地は久野の3名となっています。
160	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 1 農業の担い手育成と交流体験の推進	もしも耕作地が不足していれば、荒地地調査で希望者に対し、農業委員会(貸出制度)に交渉して耕作面積の拡大を計ってはどうですか？(住居が近く、農機具等の条件が整わないと難しいのでは)	毎年度実施している荒廃農地調査で、農地の所有者に対しては農業委員会の農地有効利用希望者の登録制度を案内し、農地の流動化に努めています。
161	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 2 生産基盤の整備と農地の維持・保全	主な取組「耕作放棄地の予防対策」について、目は標値の基準値5.7haですが、多い地域はどこですか？	耕作放棄地解消事業補助金の解消面積を数値として使用しており、対象地域は市内全域となっています。
162	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 2 生産基盤の整備と農地の維持・保全	高齢化が進む現状で次の世代での継続が難しい・・・家族構成(子供が女子)や小規模農家では若手が遠方に就職して地元には住んでいません。また、収入を考えると農家では経済的に生活不能です。・・・いい考えを教えてください	担い手不足は本市でも重要な課題となっています。現在、農業者の作業を手伝う援農者の育成に取り組んでおり、将来的に作業支援を必要とする農業者と、援農者をマッチングしたいと考えています。JAでも農業支援隊が主に水稻の作業支援について取り組んでおり、市としてもJA等と連携して農業者を支援していきます。
163	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 2 生産基盤の整備と農地の維持・保全	・農道・用水水路の整備・維持管理 農道が狭隘して軽トラックすら走行不能。用排水路が昔のままで大雨が降る度にくずれてしう。(一時的にでも土留工事を実施していただきたい)	具体的な箇所等をご教示いただければ、職員が現地を確認し、その対応方法について検討していきます。
164	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 2 生産基盤の整備と農地の維持・保全	関連計画に「小田原市農業振興計画」とあるが、当地区(下大井)は荒地地が年を増す毎に増加している状況です。今後としては、農業振興計画 第5章 小田原市の農業振興施策 基本方針2 次世代・・・施策1優先して利用する農地の検討 ②農地集積を積極的に実施して頂きたい。更には、小田原市の特産物として土地活用してはどうですか。(生産者・JA(指導販売等)・小田原市(広報))・・・3者が手を携えて頑張れば小田原市の農業の発展に繋がるのではないのでしょうか。	農業振興計画の施策の1つとなっていますが、将来に渡り優先して利用していく農地を明らかにし、担い手に対する賃借による農地の流動化に努めます。また、需要が拡大傾向にある湘南ゴールドやレモン、キウイフルーツ等については、産地化に向けてJAや農業技術センターと連携し、高品質、高収量の栽培技術の研究や、農業者への研修を促進していきます。
165	53	実行計画	施策・詳細施策	施策 15 水産業 詳細施策 1 漁港・漁場の整備	小田原漁港だけでなく、石橋、江之浦、米神漁港の水揚げ量も目標値にしてはどうか？	石橋・米神・江之浦の市営3漁港については、漁業の利用頻度等を勘察し、江之浦漁港を優先に施設の機能強化を図ることとしています。市営3漁港とも水揚げ量はありません。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
166	53	実行計画	施策・詳細施策	施策 15 水産業 詳細施策 1 漁港・漁場の整備	平時の水上交通路としての復活だけでなく、防災の側面からも災害および大規模渋滞時の救援・救急活動のためにも船舶が出入りできるように、海底の岩を除去したり、棧橋および突堤を修復し、米神港など、廃港や旧船着場の整備をしておくべき。 現状、早川港以外に大型船が泊まれる港がない。次回、R135号や西湘BPが災害で通行止めになった際に、海からのアクセスができるようにする事。せめて海上自衛隊の輸送艇が石橋港や米神港などに接岸できるようにすべき。	既に災害時の海上輸送拠点港としての機能確保されている小田原漁港を拠点に、道路が寸断された場合の海上輸送ルート等について、関係機関とともに研究を進めていきます。
167	53	実行計画	施策・詳細施策	施策 15 水産業 詳細施策 4 小田原漁港エリアのにぎわいづくり	是非とも早川漁港で釣り大会をやってもらえると嬉しいです。例えば、漁港の船の出入り口を網で、塞いで漁港内を大きな釣り堀にする。そこに漁船で取った小田原の魚を放流。そうすれば、魚が逃げずに魚釣りが楽しめると思います。受付は、市内の釣具屋さんで、参加資格は、市内の釣具屋さんのお客さん。アジのお祭りについて、小田原の海と魚に触れられて、家族で楽しめると思います。そんな企画があったら嬉しいです。過去にあったらゴメンなさい。	「釣り」をはじめとした体験型観光は、小田原漁港周辺の魅力創出のための貴重なコンテンツと考えていることから、今後、研究を進めていきます。
168	54	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 3 観光コンテンツの充実	「北條五代を大河ドラマに」という誘致を行っています。懸念が2つあります。一つ目は、これは一時的なカンフル剤として機能する、一つの「目標」であり、母体となる街づくりが完成していない状態で実現しても、はずみ車は回りません。現段階では継続的な観光客誘致、知名度向上、人口増加には繋がりにくいです。二つ目は、感覚で申し訳ないのですが、何か「ドラマ化の実現がゴール」のような運動(手段の目的化)になっている気がします。	北条氏の魅力を活用し、広域で地域の活性化を目的に活動しており、大河ドラマ化は1つの事業です。ドラマ化後もその効果を活かし活性化に取り組む考えです。
169	54	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 3 観光コンテンツの充実	小田原城の周辺エリアをフリーWi-Fiとして、様々な情報が取れたり観光拠点のポイント獲得のイベントなどを行ったり、外国人向けの多言語での案内が容易にできるなど、世界が憧れる町にしたい。	観光施設でのフリーWi-Fiの導入をはじめ、観光案内板の多言語表記、多言語パンフレットの配布、翻訳機の導入や多言語対応観光アプリの提供など、外国人観光客にとって旅行しやすい環境を積極的に整えています。
170	54	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 3 観光コンテンツの充実	私は30年小田原で暮らしています。子供の頃、台風や波が高いときに、波打ち際の波が他所より高いから海に近づくと口酸っぱく言われました。調べると、波打ち際の波が高いのは小田原の海は深いからと。土砂をオーストラリアのクランガッタ地域のようにパイプで常時運び入れ、多少波が高くなくても湘南地域のように遠浅のビーチを作れば、今の様に驚異的な波打ち際の波が起こりづらく、なおかつ安全性も高まるため海水浴もしやすくなるかと思えます。小田原の海に砂浜を醸成し、尚且つ観光地としての海の活用をすべき。	県が事業主体となり進めている早川海岸整備において、背後地の生命、財産を守ることはもちろん、漁業と共存しながら、市民の憩いの場となるような海岸の整備に向け、県に働きかけていきます。
171	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 3 観光コンテンツの充実	東京、横浜など都市部、そして鎌倉、葉山、江ノ島など利便性の高い観光地での周遊と比較して、小田原での観光は自然環境資源の点で勝ると思われるが利便施設、飲食や購買、休憩やトイレの機会に乏しく、かといって全く自然なままの登山のような環境とも異なり、事前の準備や情報収集の度合いによっては不慣れな、あるいは目的が「歴史のある城下町」なのか「里山、海、川など豊かな自然」なのか明確でない、中途半端な観光地と評価されかねない。	本市には豊かな自然環境、歴史、文化、食が揃っており、それらを掛け合わせて来訪者に楽しんでもらいたいと考えています。また、それらを回遊しやすくするため、レンタサイクルや回遊バス事業を推進しています。
172	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 3 観光コンテンツの充実	高松城「玉藻城」では、年に一度大学生の「お茶会」が開かれております。(今はコロナでお休みかも知れませんが)それを体感した時に、お城の使い方をこういうことに使わせてくれるとは「何と教育熱心な土地だろう。」と考えたことがありました。当然社会人になってからも、生かされてくる情緒的な体験だと思えます。この実体験がその後、お茶への興味にもつながって下されば・・・とも思っています。	小田原城址公園では年間を通じて様々なイベントを開催しており、平成25年には小田原城で茶会を開催したこともあります。小田原城が、若年層の記憶に残るような場所となるように今後も活用していきます。また、歴史的建造物である清閑亭などでも茶会を開催しています。
173	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	地域の特性である海と山との近接、具体的には箱根、特に湯本地区との近接性を生かすのであれば、夏休み期間に湯本(旅館組合巡回バス)-御幸の浜親水施設(プール)間でシャトル運行などすれば夏休みの家族旅行客の新規需要を掘り起こすこともできるのではないか、また途中の早川取水口か地球博物館あたりに親水施設があれば海、川、山とを連携させた体験を提供できるのではないかと考える。	ご意見については、今後のまちづくりを検討する上での参考とさせていただきます。
174	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	小田原駅周辺や小田原城内、蒲鉾店などの経営する観光施設などでの利便性が高いが、小田原市推奨のウォーキングコースのほとんどは休憩や給水、トイレを快適に済ます機会がないものとなっている。行政の要請で経路にコンビニエンスストアなどを配置できるのであれば良いが、商業的には不可と思われる。したがって公設の休憩所を設置し、有料であっても快適なトイレ、持ち帰りの負担を解決できる有料ゴミ回収施設、売店や自販機、防犯通報・救急設備などを備えることが適当ではないかと考える。課金方法はSuicaやPasmoなど電子マネーに限定すれば管理コストは抑えられようと思う。ゴミ回収については観光客向けの有料ゴミ袋をコンビニエンスストアやお弁当店などで販売する方法でも良いと思う。ついでにゴミ拾いなどしてもらい、自分の出したものと一緒に、家に持ち帰らずに済み、正当な手続きで処分できることには価値があると思う。新大久保や鎌倉小町通りなどで食べ歩き後のポイ捨てが問題となっているのは広く知られている。また海洋プラスチック汚染も大きな問題となっている。それらに対する先進的な回答を模索することに意義がある。 快適性、利便性に対する有料化を徹底し、かつその対価を原資に快適性、利便性の向上と違反行為の監視を行えば、良質な観光における行動が誘導され、観光地としての高い価値が担保されるのではないかと考える。	市で設定しているウォーキングコースは、小田原ならではの自然や歴史を生かしたものであり、施設や設備を設置する予定はありません。なお、民間施設と協力してトイレや休憩所を提供しており、一部には仮設トイレを設置して対応しています。
175	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	観光客向けのウォーキングコースは地域住民のための日常的なウォーキング、ジョギングコースとなりうる。そのためにも快適性、利便性の向上は求められていると考える。里山や河岸などの過度でない人流の増加は防犯や不法投棄防止など環境維持の効果も期待できる。	現在のウォーキングコースは自然環境が良く地域住民の方も利用いただいています。
176	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	小田原駅から徒歩圏、小田原城、かまぼこ通りと隣接した「御幸の浜」はまた小田原漁港、箱根板橋へも徒歩圏であり、(総構えなどの山歩きの散策に対して)平坦な散策路の中継点となりうるポテンシャルの高い地域資産と考える。また小田原駅をスタートゴールとするルートだけでなく早川駅、箱根板橋駅などを利用して熱海、箱根方面へ向かうルート、行きは歩きでも帰りは電車で小田原駅へ戻るルートに集客できれば早川駅、箱根板橋駅周辺の活性化にもつながる。	案内所の整備やまち歩きガイド、観光回遊バス、レンタサイクルなどを通じて早川・箱根板橋方面の回遊促進に努めています。また、早川や板橋地域をスタート地点としたガイドツアーも行っています。
177	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	小田原湯本間や小田原真鶴間はバイパス的の道路開発の影響により「沿道の賑わい」が失われたように感じる。沿道の賑わいの再興は困難かもしれないが、ウォーキング客や鉄道利用者により途中駅の利用者が増えれば駅周辺に小規模商業施設の需要が生じるかもしれない。根府川駅からの眺望、長興山お参りなど鉄道を利用してのスポット観光もあまり健脚でない人向けに宣伝する価値がある。	案内所の整備やまち歩きガイド、観光回遊バス、レンタサイクルなどを通じて早川・箱根板橋方面の回遊促進を進めています。また、早川臨時観光案内所を開設するなど、回遊促進を行っています。
178	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	観光の観点からは箱根周遊券、箱根旅助けのような狭い枠にとらわれることなく御殿場線に囲まれたすべての地域を周遊できるような割安なフリーパスがあれば「葉山女子旅」的な人気を博すかもしれない。	鉄道事業者の協力が必要である中で、現在はフリーパスを使った周遊企画の予定はありませんが、誘客に向けたPRにおいて連携しています。
179	55	実行計画	施策・詳細施策	施策 16 観光 詳細施策 4 回遊の促進	小田原の良さは、自然だと思えます。すぐ海、すぐ山。しかしながら、海に行くのも、山に行くのも駐車場が少ないと思えます。海や山の風景を眺めたいけど、車がとめられない。駐車場があれば、人が来る。人が来れば商売ができる。ぜひ、駐車場等のインフラ整備をお願いしたいと思います。	本市では公共交通機関を利用してもらう、街なかを含めた地域全体の回遊性の向上を目指しており、二次交通の拡充に努めています。

No.	該当ページ	該当箇所		意見内容		市の考え方・対応方針(案)
180	56	実行計画	施策・詳細施策	施策 17 歴史資産 詳細施策 1 小田原城などの整備・活用	お濠について、数年前にTV番組で水を抜いたが、雨天であり、放置期間も少ないため全く意味がなく、生物調査・盗難等の遺失物調査以外は、むしろ悪臭が発生しただけだったのではないだろうか。しかしながら掻い掘り自体は遺跡調査や水質改善の観点からも必要であると考えられるため、今度は市として、区画を分け段階的にしっかり行うべき。きちんと天日に晒した本来の掻い掘りを実施すれば、水質浄化もでき、入念に遺跡調査もできる。済んだ箇所から部分的に掘り下げ、地下タンク等も用いて、増水時にお堀で一時的に貯水できるような機能を持たせる。以前より幾分良くなったが、小田原駅東口お堀通りおよび学橋前は大雨時に冠水する事がある。	掻い掘りについては、史跡整備に伴う遺構調査や管理のため、将来的には実施が必要であると認識しており、今後の検討課題としていきますが、貯水タンク等により掘り貯水機能を追加させることは、遺構保護の観点から難しいと考えています。大雨時には状況を確認し、必要に応じて対策を検討します。
181	56	実行計画	施策・詳細施策	施策 17 歴史資産 詳細施策 1 小田原城などの整備・活用	手漕ぎボート乗り場を2箇所作り、時間制で貸出を行い、どちらに返却しても良い事にすれば、遊興としてだけでなく、実用性を持たせて運営できる。例：藤棚側で借りて、幼稚園側で返す。	史跡であるため、手漕ぎボートの船着場の継続的な設置は難しく、継続的に運営していくことには課題があります。
182	56	実行計画	施策・詳細施策	施策 17 歴史資産 詳細施策 1 小田原城などの整備・活用	お濠の水質が良くなればホタルの再来も期待でき、飼育も可能となる。三の丸小の横を流れる水路や菖蒲池などで飼育すれば、小田原城の周辺に定着する個体も出てくると思われ、それだけで新たな観光要素が生まれる。 ※城内小時代に数年間、お濠端幼稚園側の崖でホタルを飼育していた。 ※2010年ころ、本町の実家の壁にホタルがいた。	虫の飼育については、管理上の課題も多く難しいと考えていますが、堀を活用した様々な取組ができるよう、堀の管理を適切に行っていきます。
183	56	実行計画	施策・詳細施策	施策 17 歴史資産 詳細施策 2 文化財の保存と活用	小田原市を首都圏に位置する最高の歴史都市にする。 市長が掲げる「世界が憧れるまち」にするためにはヨーロッパからも評価される本物の文化財の整備とその運用を活発にすることだと思います。歴史的文脈の上にスーパーシティ構想のようなデジタル技術の融合政策を施すことで、世界が憧れる、かっこよい街になるとおもいます。	市の業務の様々な分野でデジタル技術が有効に活用できるよう取組を進めていきます。いただいたご意見を今後の文化財の整備を進める上で、参考とさせていただきます。
184	56	実行計画	施策・詳細施策	施策 17 歴史資産 詳細施策 3 歴史まちづくりの推進	詳細施策3歴史まちづくりの推進で、板橋地区の山月の事が、触れられていませんでしたが、山月は宿泊施設として利用されていたことから、宿泊を希望する海外観光客や歴史に関心を持って小田原市を観光に訪れるグループなどの方たちに最適ではないかと思えます。不動産会社の所有とのことですが、今後の利用を考慮されてみてはどうでしょうか。	山月(旧共寿亭)は国の登録有形文化財として登録されており、また、小田原市ゆかりの優れた建造物として認定していることから、所有者の意向も尊重しながら、必要に応じた支援を検討していきます。
185	58	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 1 文化・芸術の振興	(仮称)文化によるまちづくり条例の基本計画とは、24ページの(仮称)文化によるまちづくり基本計画とは別のものですか？	「小田原市文化によるまちづくり条例」に基づき定める計画が「(仮称)文化によるまちづくり基本計画」であり、行政案24ページの「(仮称)文化によるまちづくり基本計画」と56ページの「(仮称)文化によるまちづくり条例の基本計画」は同一の計画を示しています。
186	58	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 1 文化・芸術の振興	神奈川県の方針では県西地域は未病地域ですが、小田原が本格的な歴史都市に発展すれば、鎌倉から湘南の庭園文化圏を経て小田原につながる歴史都市回廊が出来上がり、物流・生産を中心とした圏央道地域と差別化した発展、つまり、人流が期待できます。世界を見たときに小田原市の規模では小さすぎます。ぜひ広域を視野に入れた小田原の未来像を描いてほしいと思います。	「小田原市文化によるまちづくり条例」では、基本理念として、文化の振興に当たっては、観光、国際交流、福祉、教育、産業等との連携を図るとしています。この連携は市内に限らず広域的な連携も必要となるため、歴史的な文化資産についても活用しながら文化振興を進めます。
187	58	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 3 図書館サービスの充実	今やDXは想像以上の速さで進行しています。 国ではデジタル庁が発足しました。年齢を問わず市民がデジタル・リテラシーを身に付けたいと生活に不自由な時代になって来た感じ。市は「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現を目指すとしていますが、市立図書館にデジタル図書館システムの導入を進めるべきであると考えます。	図書館では、来年度以降に電子書籍貸出サービスの導入や図書館所蔵の地域資料等のデジタル環境での提供等を通して、市民の皆様の情報取得に関する利便性の向上を図っていきたくと考えています。
188	58	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 3 図書館サービスの充実	小田原へ来て初めて市立図書館に行ったときに星崎記念館と表示され、中に入ると星崎定五郎の胸像が置いてあったのでその由来を市のHPで読みました。星崎氏が「子供の勉強のための施設をつくってもらいたい」と言って市に寄付されたのがきっかけでこの施設が出来たと知り、感心すると共に見習いたいものだと思います。図書館の再編に伴い星崎記念館は閉鎖され、星崎氏の胸像はそのまま残されています。昨年開業した東口図書館には1/3サイズのミニチュア像が目立たない所に置かれています。星崎氏の尊い遺業を継承するために、胸像は中央図書館に移設し、東口図書館ではポスターの形ででも工夫して、多くの市民に星崎氏の事績を知らしめるべきだと思います。	星崎氏の胸像は本年8月末に中央図書館に移設しました。今後、星崎氏の事績をパネルで紹介していきます。駅東口図書館ではミニチュア像を設置していますが、機会を捉えて事績の紹介を検討していきます。
189	59	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 4 生涯スポーツの振興	御幸の浜プールを親水施設として建替え、改装するには公費負担を抑えた民間の資金、アイデアを活用したプロポーザルを募集することが適当と考える。近隣の事例として大磯の照が崎プール、大磯ロングビーチの集客・利用状況も参考とできるかもしれない。	御幸の浜プールを含むスポーツ施設全体のあり方については、第6次総合計画の重点施策に位置付けて、検討していきます。
190	59	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 4 生涯スポーツの振興	御幸の浜プール、特に50メートル競泳プールは海のある小田原の象徴として継続して欲しい。そのためには民間との連携、通年施設化、多目的施設化が合理的と考える。	御幸の浜プールを含むスポーツ施設全体のあり方については、第6次総合計画の重点施策に位置付けて、検討していきます。
191	60	実行計画	施策・詳細施策	施策 19 脱炭素 詳細施策 1 温暖化対策の推進	二酸化炭素排出量はどのように算出するのですか？	全国のエネルギー使用量から算出した炭素排出量を、産業部門や家庭部門などの部門別に各市町村の活動量(世帯数や製造品出荷額など)で按分する方法で環境省が算出した、市区町村別の二酸化炭素排出量推計値を用います。
192	60	実行計画	施策・詳細施策	施策 19 脱炭素 詳細施策 2 エネルギーの地域自給の推進	再生可能エネルギー導入量の千kwとは毎時の発電量のことですか？	毎時の発電量ではなく、市内に導入される再生可能エネルギー設備全体の発電容量です。
193	62	実行計画	施策・詳細施策	施策 21 自然共生・環境保全 詳細施策 1 生態系の維持保全	森里川海の連環を考える上で、小田原の地下水脈の研究が待たれるところです。表層を流れる川の水をはるかに上回る量の真水が、我々の眼に見えない地下から海に注がれています。海岸に近い井戸水が塩辛いのも、地下水の圧力が海の圧力より高いからです。膨大な地下水が、どのように流れているのか、学術的に解明されきっていませんが、今後、小田原の自然環境のあり方を考える上で、必要になる知見です。都市デザインにおいても、地下水のことを把握した上での開発を考えていくべきとも。	「小田原市豊かな地下水を守る条例」制定時に地下水の流動調査等を実施し、条例に基づき、各事業場からの地下水揚水量報告のほか、地下水位や水質調査等を継続的に実施することで、地下水全体の把握に努めています。いただいたご意見などを参考とし、今後も豊かな地下水の保全に努めていきます。
194	62	実行計画	施策・詳細施策	施策 21 自然共生・環境保全 詳細施策 2 森林・里山の再生	森林整備面積とは維持管理していく森林の面積のことですか？	原則として、森林の維持管理は森林の土地所有者が行うものですが、市や森林組合では、森林の土地所有者と協定や契約を締結したうえで、森林の土地所有者に代わって森林整備(間伐・枝打など)を行う取組を進めています。ここで示している目標値は、上記で示した森林整備の面積を示したもので、維持管理していく面積とは異なります。
195	64	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備 詳細施策 1 計画的な土地利用の促進	究極的には全体的な土地流動化と地区計画により基盤の目状の住宅地を創造できれば地域の価値が向上することとなる。その場合、旧来の法令にとらわれず、市街地、住宅地として価値向上を目指し、最低限の幅員は5mを基準とすべきと考える。	地区計画を決定することにより、基盤目状の道路や道路幅員を5m以上と計画することも可能です。地区計画制度の活用・促進を図ることで、地域特性を生かしたまちづくりを進めたいと考えています。
196	64	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備 詳細施策 1 計画的な土地利用の促進	小田原駅周辺は高層建築物を集積し、郊外は広い敷地に低層住宅のメリハリのある都市計画がいいと思います。地図に線引きされた既存・既成の計画でなく、地形・地勢に合わせ、地区計画などを利用した都市計画を進めたいと思います。	本市の高度地区は用途地域と連動し、秩序ある都市環境の維持・保全を図っています。総合計画において、地区計画制度の活用・促進を図ることで、地域特性を生かしたきめ細かなまちづくりを進めるとしています。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)	
197	64	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備	詳細施策 1 計画的な土地利用の促進	人口増加のため、「市街化調整区域への規制緩和」小田原の魅力は都心へのアクセスだけではなく、海・川・山など自然が豊かなところも魅力のひとつです。小田原の郊外に住居を求める方も多くと不動産業者の方をはじめ多方面の業者さんから耳にします。いわゆる都心にアクセスがよい戸建派の需要が多いと各メディアでも扱っています。人口プラス1万人には今ある市街化区域だけでは受け皿は足りません。そうなるとやはり市街化調整区域に手を付けざるをえません。やみくもに解除するのではなく近隣市町村と同じような既存宅地制度に戻すだけでかなりの住宅供給面積は確保できるはずで	人口減少・高齢化などの社会情勢への対応は、本市のまちづくりにおける重要な課題です。市街化調整区域における既存集落の維持、営農環境の保全のための現行制度の適正な運用とともに、社会情勢等を勘案し適宜制度改善に努めます。
198	64	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備	詳細施策 1 計画的な土地利用の促進	守屋市長の掲げる「世界が憧れる・・・」歴史ある城下町、相模湾、伊豆、湘南、箱根、交通網の拠点となる好条件の中、住みたい街73位は行政指導による町づくりの下手さに象徴されています。高さ規制、美しい街(景観規制、色、看板等、アーバンデザインセンターによる)食べ物が美味しい、街歩き、買い物を楽しむ魅力ある町、インフラが安い・・・etc. 守屋市長からもお話しした50年100年先も変わる事の無い小田原の街、歴史を作る為の法規制の着手	これまでも、本市の特性を生かした快適で魅力ある都市整備を進めてきましたが、引き続き、立地適正化計画や都市計画マスタープラン、景観計画といった各計画に基づく施策の推進や、国からの交付金を活用しながら、地域経済の活力につながるまちづくりを推進していきます。
199	64	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備	詳細施策 2 地域資産を活用したまちづくりの推進	UMECOIによって、お城通りから天守閣が見えなくなった。JR改札口のパンoramウインドーから見えていた天守閣がミナカによって縦真つ二つに割られてしまった。駅前周辺に建設されるビルに対する規制は高さ制限が主で、小田原の象徴である天守閣が、そのビルによって人の視線から見えなくなるとは、設計段階で確認できたはず。しかし、法的な基準がないので、ビューの確保はほとんど無視されている。これからの都市デザインにおける景観規制には、高さ規制、面積規制、色彩規制だけではなく、「ビュー」という概念を重視していかなければならないと思う。市民の心のよりどころとなるもの、市のシンボルであるものは、そのビューを遮らないように開発案件が管理される仕組みをつくってほしい。	天守閣への眺望については、ミナカ小田原など大規模な建築物の設計段階から協議し、小田原市景観計画に位置付けた小田原駅ペデストリアンデッキ上の視点場からの眺望確保に努めています。
200	65	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備	詳細施策 3 市街地整備の促進	城と駅前的高度地区の見直しについて、現行の高度地区の規制よりも、さらにもっと低い規制を、行政に張って頂くことを、要望します。小田原市の都市計画を進める第一歩は、駅前と城地区の高さ規制の見直し(現行より低くする)、そして再構築にあります。現行の高度地区のままであれば、たとえ今後、どれほど城の整備を進めたところで、城下町としてあるべき景観と魅力は、大幅に損なわれてゆきます。守屋市長には、ご専門である都市計画のお力を、ここ地元小田原で存分に発揮されることを望んでおります。今こそ早急に、現在の高さ条例の見直しに取り組んで頂きますよう、要望し、お願い申し上げます。	小田原駅の周辺は、高度利用を図りつつ、秩序ある都市環境の維持・保全を図るべき地域でもあり、より厳しい高さ制限を設けることについては、土地所有者や市民の皆様の意見を踏まえて検討していくものと考えています。
201	65	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備	詳細施策 3 市街地整備の促進	城と駅前における高度地区(高さ規制)の見直しについて、城と駅前における良好な城址景観および都市景観を創出するには、現行の高度地区(高さ規制)は同じ観光都市である京都や鎌倉と比べ余りに高過ぎる。今よりも高さを抑える必要がある。小田原市では長年にわたり小田原城の整備を進めており、年々お城の魅力は増している。しかし、小田原城の魅力がいくら増しても、現行の高度地区のままでは林立する高層建築によりその魅力は大きく損なわれてしまうこととなる。小田原城は先人から引き継いだ「日本におけるトップクラスの歴史遺産」。私たちは良好な状態で後世に引き渡す義務がある。お城の周りを高層ビルだらけにしてはいけない。「世界が憧れるまち」を形作っていくためにも、志ある市民と有識者を交え、速やかに高度地区の見直しに着手することを強く要望する。	小田原駅の周辺は、高度利用を図りつつ、秩序ある都市環境の維持・保全を図るべき地域でもあり、より厳しい高さ制限を設けることについては、土地所有者や市民の皆様の意見を踏まえて検討していくものと考えています。
202	65	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備	詳細施策 3 市街地整備の促進	今後の小田原の街づくりについて、建物の高さ規制の再確認が必要だと思えます。深い歴史都市小田原は、京都や鎌倉と同じく観光都市であり、京都、鎌倉はしっかり高さ規制が設けられ、行政主導で街が守られています。先日のタウンニュースで看板規制などは掲載されておりましたが、市としての建物の高さ規制の再確認が必要です。一度失われてしまった街は、この先100年以上は変わる事はなく、50年後100年後を想像し是非見直して頂きたく思えます。守屋市長が掲げる『世界が憧れる小田原』を実現する第一歩として、ソフト面の目標は勿論、ハード面の目標として、街づくりにも力を入れて頂きますよう宜しくお願いいたします。	良好な居住環境や秩序ある都市環境を維持・保全していくために必要なルールとして、建築物の高さを制限する高度地区を都市計画決定しています。現時点においては適切に運用を続けていくものと考えています。
203	66	実行計画	施策・詳細施策	施策 23 住環境の形成	詳細施策 1 住宅ストック活用の促進	住宅ストックとは小田原市営住宅ストック総合活用計画に定める住宅ストックのことですか？	ここでいう「住宅ストック」とは、空き家をはじめ、中古物件として不動産流通にあるものを指します。移住等を希望する人(需要)に比して、移住等希望者が望む住宅(供給)が少ないことを課題として捉え、特に遊休不動産となっている住宅ストックの市場流通を促進していきます。小田原市営住宅ストック総合活用計画は、市営住宅の整備方針を定めた計画です。
204	66	実行計画	施策・詳細施策	施策 23 住環境の形成	詳細施策 1 住宅ストック活用の促進	住宅、宅地の流動化を促すためには固定資産税通知と連動させて所有者、名義人に対して資産利用状況・活用意思に関するアンケートを大規模に、あるいは地域網羅的に実施し、その結果を受けて都市計画につなげる形の、公的な誘導による相談窓口の設置や検討集会の開催などの施策を打つことが適当と考える。特に小田原駅周辺(半径2キロ程度)については、栄町、本町地区を中心に集合住宅開発が民間によって進んでいる反面、戸建て住宅適地で一種低層住居専用であってしかるべき箱根口以西海側や城山、荻窪においては流動性がほぼ枯渇しており、かつ不利な接道条件によって良質な住居や宅地が供給されていないように思われる。これらの地域では地区計画を促すような公的なサポートがあっても良いと考える。幸か不幸か小田原では大手不動産開発業者の活動が盛んでないため、地元宅建業者や信金などでいくつかのコンソーシアムを形成すれば、それらに対し公的誘導による相談や検討の成果をいかした「地上げ」的業務を募集して委託することもできるのではないだろうか。つるおかランド・バンク事業などが参考となるかもしれない。	ご指摘のとおり、特に遊休不動産となっている住宅の流動化を促すには、固定資産税通知との連動が大変有効な手段と考えます。このことから、施策に応じて、固定資産税通知等を活用していきます。
205	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	三浦半島はほぼ京急独占なのに対し富士山周囲は私鉄ばかりかJRまでけん制しあう状況にあるのは地域にとっての不幸以外の何物でもないと思う。少なくとも共通して使える電子乗車券の導入を行政として促すべきと考える。日常的な制約であるばかりでなく、緊急に迂回して移動することが必要な場合の重大なボトルネックともなりうる。	交通系ICカードの跨り利用について、鉄道事業者からは「技術的課題の解決等が必要で早急な対応は困難」との回答がありましたが、引き続き、早期実現に向け要望していきます。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
206	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	早川港から一夜城までロープウェイを。観光地同士を結び移動手段として、利便性もさることながら、その乗車行為・展望自体が観光となり、パーク＆ライド制度を併用すれば、さらに国道135号など周辺エリアの慢性的渋滞の解消・緩和にも貢献できる。また、「伊豆湘南道路」の実現により、利用者数はさらに安定的に確保できるため、料金設定にも自由度が生まれ採算性も高い。このエリアの観光地間を移動するマイカーも減らせるため、今まではトコだけだった観光客が車を停めて一夜城にも訪問可能となる。 (補足)極端な例ですが、群馬の家族が山梨に旅行したとします。帰りに地球博物館に訪問し、展示物の影響もあって、海を見たことのない子ども達が、「海を見たい！」と言い出しました。ところが現状では、ここから大渋滞するR135や小田原漁港周辺に行く事は、各施設の営業時間外である真夜中と早朝以外は極めて困難です。せいぜい、渋滞に遭いながらR134西湘バイパスから反対車線側の海が見えたら良いかな？といった感じでしょう。もし、提案する索道があれば、地球博物館の後に車で一夜城まで足を伸ばし、ロープウェイで眼下に広がる海を見ながら漁港に降りたらどうですか？子ども達のキラキラ光る目が想像できると思います。	大変面白い意見かと思いますが、本市として整備の予定はありません。ロープウェイは10億円/km以上の整備費が見込まれる上、バス路線撤退を誘発する可能性があるため、先進事例の情報収集に努めます。
207	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	陸上競技場、いこいの森・わんぱくらんど、フラワーガーデン・すわのはら公園への交通手段の整備。丘陵地であるためロープウェイ等であれば景観も楽しめる上に、森林を切り拓いて道路を新設するより経済的で、環境への悪影響も少ない。小田原駅から競技場、いこいの森、フラワーガーデンを結び、大雄山線の飯田岡駅などに接続できれば尚良い。競技場への連絡だけでも、慰霊塔小峰公園や小田原城総構えの最上部である御鐘台大堀切へのアクセスも上がる。	既存バス路線により一定の交通手段が確保されています。ロープウェイは10億円/km以上の整備費が見込まれる上、バス路線撤退を誘発する可能性があるため、先進事例の情報収集に努めます。
208	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	『市立病院への交通手段として、頻繁に氾濫する山王川・久野川を深くし、水路として活用する。駅から遠い、万年や山王地区、町田方面から市役所・市立病院へのアクセスが向上し、既存の免河原バス基地に接続すれば交通手段の複合化になる。	市立病院等へのアクセスには、小田原駅から路線バスをご利用ください。なお、同河川は急勾配で、船舶が運行可能な水路としての整備は困難と考えています。
209	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	小田急線足柄駅の西側に改札口または連絡通路と、送迎用駐車スペースを設置し、同線沿線住民の小田原市立病院への通院利便を高めるべき。	鉄道事業者からは「西口改札開設には、複数の軌道敷との立体交差が必要であり困難」との回答がありましたが、県による道路整備状況や駅利用者の推移を見極め、事業者への要望再開などを検討していきます。
210	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	小田急線足柄駅周辺の列車置場の沿道は、犬のフンが散乱しているだけで、全く無駄なスペースになっている。これなら線路が残っている廃線跡の方が趣や話題性があった。緑の小径を利用した効率の良い連絡通路があると良い。	当路線は、道路整備計画の位置付けがあるものの、厳しい経済情勢の影響等により、整備の見通しが立たないことから、歩行者等の通行を考慮し、暫定的に現状の整備を行っています。今後については、いただいたご意見などを参考にさせていただき、適切な維持管理に努めていきます。
211	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	栢山～蛸田または足柄間を高架化・地下化してもらうよう、小田急電鉄に打診・相談すべき。 栢山駅交差点の慢性的渋滞も問題であり、さらに、足柄駅～小田原駅間においても、列車が踏み切りを塞いだ状態で待機することが頻発している。朝夕は自家用車だけでなく、歩行者や自転車、バスなども交通渋滞に巻き込まれている。ここは大雄山線とも並行している線路・踏み切りに挟まれたエリアであり、早急に解決を図るべき事案。この早期解決には、地下化・高架化以外に方法はないと思われる。	連続高架化・地下化は莫大な事業費の大部分を地方公共団体が負担し施行しなければならない上、沿線住民の生活や地下水への影響も考えられることから、慎重に検討していきます。
212	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	上府中公園・小田原球場と鉄道駅と接続。 大きな大会やイベントがあると、子供を連れて遊びに行ってもその関係者の車で止められない事が何度かあった。御殿場線からの接続がもっと容易であれば、カミイチなどでお酒を楽しむ事もでき、マイカー利用者はもう少し減るのではないだろうか。高架の歩道があるだけでもかなり便利だが、球場～下曾我駅～(丘陵地帯)～大井方面(未病センター等)や二宮方面をロープウェイ等で繋げば、足柄平野全体の活性化に繋がる。梅まつりの時の交通渋滞も酷い。細街路に入り込んで動けなくなる観光客の車も目立つ。つまり集客力はあるのに、キャバがない。	既存バス路線(小田原駅～新松田駅)により一定の交通手段は確保されています。ロープウェイは10億円/km以上の整備費が見込まれる上、バス路線撤退を誘発する可能性があるため、先進事例の情報収集に努めます。
213	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	最近ではLRTが話題を呼んでいるが、路線バスやコミュニティバスも含め、陸上路面交通はどうしても渋滞が発生し、場合によっては悪化することさえある。さらに、あるバス会社では路線を減らすとの話しもある。マイカーや免許がない世帯の利便向上、高齢者の免許返納促進の面からも新たな交通手段は必要である。 そこでモノレールやロープウェイ、水路であれば、用地取得や設備費用は鉄道に比べて節約でき、話題性や港町・城下町として観光要素もあるうえ、手段の多様化は災害やテロ・事故等のリスクの分散にも繋がる。 また、海岸線は地理的要因もあり、どうしても慢性的な渋滞が発生するが、単に拡幅・複線化で解消しない問題もある。R135等を例に見て解るように高潮・津波、土砂崩れ等が発生すれば寸断され、もし並走路があっても、被災道路の交通量を補う能力はなく、渋滞が渋滞を招く悪循環となるため、代替手段としても<水路の活用>は待ったなしで行われるべき。	市民の移動のため、鉄道や路線バスを維持するとともに、必要に応じて地域と新たな移動手段の導入について検討していきます。中心市街地の水路は多くが暗渠化済で、船舶運行水路としての整備は困難です。
214	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 1 公共交通ネットワークの構築	路線バスの問題について、行政案の「道路・交通」の項目では、詳細施策として「公共交通ネットワークの構築」とあり、「誰もが快適に移動できる公共交通環境の改善」を進めるとしています。しかし、建設経済常任委員会の資料では、路線バスの退出意向の申出(3路線)について、「小田原駅～栢山駅」「小田原駅～真鶴駅～湯河原駅」の2路線については「退出もやむを得ない」としています。行政案に書かれていることとの違いに驚きます。利用している住民の意向調査をするなどして、何らかの方法で交通手段を検討すべきではないかと思えます。	小田原駅～栢山駅の路線は代替交通手段があり、小田原駅～湯河原駅の路線は1日1便で利用者がごく少数のため、調査の予定はありません。必要に応じて地域と新たな移動手段を検討していきます。
215	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	必要以上のハードは初期費用だけではなく維持費が発生するため、市の財政圧迫にもつながりかねません。例えば、74号線の警察署前の通りですが、一時的に工事がありました。そもそも工事自体の必要性も実施前に吟味すべきですが、工事の影響で2021年7月8月上旬に、74号線の城山幼稚園前から警察署前あたりまで、それまで発生していなかった渋滞が毎日発生しておりました。原因は信号のタイミングが変わった事のようなものでした。8月中旬には改善されて、渋滞は解消されました。今後もイオンモールが出来て交通量が多くなる事が見込まれます。信号のタイミングをAIで管理するなど含めて最適化すれば、インフラ整備は最小限に抑えられると考えます。逆にインフラ整備されても、信号のタイミング一つで渋滞が発生しますので、そのバランスや費用対効果はしっかりと確認して頂きたいです。	信号のタイミングについては、交通管理者である神奈川県警察が所管していますが、状況に応じ改善について市からも要請しています。
216	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通 詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	湘南伊豆道路については観光周遊道路の観点は2次的、3次的なものとして位置づけ、第1義的には地域生活道路、防災道路として明確に位置付けるべきと考える。	伊豆湘南道路については、神奈川と静岡の県際地域を結び広域的で規格の高い道路を国に要請しているもので、防災効果のみならず、県際地域の観光、産業、物流等々、様々な効果を期待しているものです。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)	
217	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	小田原アリーナ～富水駅・螢田駅が遠い！＋螢田駅沿道が危険。全国大会が行われるにもかかわらず、駅から遠い。重い・多い荷物を持って移動する選手や関係者が多く、炎天下や大雨の中を歩いていることもあり、試合や練習前に無駄な負担をさせている。これではパフォーマンスも発揮できないし、間接的にマイカー来館を促しているのと同じ。そればかりか、螢田駅の沿道は歩道部が非常に狭く交通量が多いので市内で最も危険な道路。そこで、ヤオマサ・TSUTAYA前から大橋までの道路(歩道部や中央分離帯が広い)に、屋根付き高架道を作り、動く歩道や自転車道、モノレールなどを作ってはどうか？交通量や天候に左右されることなく、テニス場やアリーナ駐車場へ横断でき、大雨や酒匂川増水時などに避難場所・避難路としても使用できる。(現状では洪水や越水時に、付近の住民が東富水小まで避難するのは困難)(2018年8月6日、大雨で冠水)	螢田駅前の狭い歩道は、地元関係者から拡幅要望があるので、この実現性を県と調整してまいります。また富士見大橋からヤオマサまでの都市計画道路穴部国府津線は、現在、県が穴部方面への延伸事業を進めており、これに伴い、ご指摘の広い中央分離帯は、将来、上空に高架道路を建設するための用地となります。
218	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	早川付近の渋滞緩和のため、早急に西湘バイパス早川出口を右折可能にすべき。ここが右折できないため、混雑する港の周辺に、行きたくない車(小田原市街地や山北、箱根方面に行きたい車)までもが流入する。そしてターンバイク等に繋がる早川交差点も無意味な右折禁止(警察でも理由が分からないとの事)であるため、その手前の見通しの悪い坂のカーブでUターンしたり、住宅地で切り返す車がいるため、事故も誘発する。これらは本当に無駄な渋滞を発生させている。この2箇所の右折禁止は早急に排除すべき。なお、警察ではICの右折禁止は「国道への接続は基本的に二車線であるべき」との理由を挙げているが、物理的にも左折車と右折車が並ぶだけのスペースは充分にあり、そもそも信号があるので合流先の交通は赤で停止しており、何ら危険性はない。私はこの地域の住民であるが、休日はR1から旧早川橋への道路(御厩戸小路)やR135が渋滞し、時間帯によっては家に帰れない事がある。これだけの観光客が来てるのにさげすみにもったいないし、渋滞や警察の取り締まりで不快な思いをさせるうえに、住民まで迷惑をしている。	2箇所の右折禁止については、デメリットも伴うため、早川地区自治会連合会や漁業関係者と協議しながら交通状況に応じて検討していきます。
219	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	小田原城から3km離れた風祭駅近くに西湘BP(箱根新道入口)の「箱根IC」があるが、「藤棚の箱根IC」と「風祭の箱根IC」を混同される事がある。これに関して2017年ころに、「IC名を改称すべきである。同ICの名称は、この交差点名で、同名駅も近く、日本で唯一の地名であることから「風祭」に変更すべき。それができないなら小田原城側を「藤棚入口」に変更すべき」との提案および経緯説明を求める意見を国土交通省、ネクスコ中日本、小田原市建設政策課にしており、各回答は下記であった。 国土交通省:「ネクスコ(当時JH)の申請を受理」 ネクスコ:「IC開通時に地元の自治体等の合意が図られたうえで名称決定」 市建設課:「当時の経緯の記録がないが、小田原の人間としてここが箱根ICと言う名称は不自然で、全くご指摘の通り。こちらとしても変更したい。名称も『風祭』が良いと思う。藤棚の方の『箱根IC』は変更できない。変えるならICの方。しかし自治体の都合での変更は、自治体が費用を持つことになる。調査したところ、内訳は不明だが、その金額は長野県内の例で2億円。残念ながら対応は不可能。」 このような回答であるが、本件は「小田原市の都合」などではなく、明らかに一部の人間の感覚の違いにより、多くの人間が困惑している状態であり、市だけでなく国や県にも提言すべき事案であると考え。もしくはクラウドファンディングや、鈴廣かまぼこさんを始めた市内外の企業にご寄付をお願いすることはできないだろうか？ 私も藤棚で観光客に二度ほど説明した事があり、また子供の頃に父と相模原の母方の伯父との会話で「255からお城の方の箱根ICです、風祭まで行かないで…」と説明していたのを今でも覚えている。皮肉なことに新型コロナの影響で、東京オリンピックの外国人を含めた観光客の増大、同ICの利用による混乱が起きなかったが、不幸中の幸いと捉え、今の内に解決していく必要がある。	伊豆湘南道路の整備に向けた機運が高まっており、仮に小田原厚木道路等とアクセスすることになれば、周辺のインター等の名称変更などを訴える機会となるので、機を逃さず、しっかりと引き継いでいきます。
220	67	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 2 幹線道路等の整備促進	都市整備としては、車道・歩道・自転車道などの道路整備が遅れていると思います。道路は街の社会資本基盤としてとても重要です。駅前メイン通りや幹線道路は、広い車道・広い歩道・自転車道の整備が必要だと思います。	道路拡幅には用地取得が必要となるため、いただいたご意見も踏まえ、計画的に幹線道路の整備を実施していきます。
221	68	実行計画	施策・詳細施策	施策 24 道路・交通	詳細施策 3 生活道路の整備と維持管理	小田原駅周辺については歴史のある市街地であり、自動車の通行を前提とした快適な道路は一部幹線に限られている。狭い道路の改善としては以下の2つの策が検討できると思う。第1に過去においても、また将来的に変更の行われない寺社所有地に対して道路拡幅やすれ違い待機所の設置を促すこと。これについては自社側から積極的に行動する誘因は乏しいと思われるのでセットバックなど境界構築物更新費用の補助や道路のため提供された土地の代替地への交換などに予算措置が必要となろう。第2は一方通行の活用となる。狭いであっても交通量が少なれば地理をよく知る地元住民にとってそれほど不便を感じないところ、訪問者や新住民にとっては運転しづらい、貧しいインフラに感じられてしまう。一方通行に、より迂回であっても対向車を気にしなくとも済むようになればより良質な道路環境と認識されることがある。実際、都市部では一方通行が積極的に導入されているように思う。	狭い道路の整備に係る対応策の一つとして、参考とさせていただきます。
222	69	実行計画	施策・詳細施策	施策 25 上下水道	詳細施策 3 上下水道事業の健全経営	下水道の問題について、建設経済常任委員会に出された資料では、「公民連携による下水道管路の維持管理手法について検討を行っている」とあり、今年4月には「公募による事業者説明会及びアンケート形式によるサウンディング調査を実施し、事業への参画の意向などを確認した」とあります。水道の民営化については、各国ですでに失敗し、公営に戻すところもあるくらいです。今回の取組が水道の民営化につながらないようにすべきだと思います。	上下水道事業はそれぞれ別個の事業であり、下水道管路の維持管理における公民連携手法の導入が、水道事業の民営化につながることはありません。
223	70	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営	詳細施策 2 効率的な行政運営	行財政改革による財政効果額の目標はいくらですか？金額がわからないと目標値の100%について評価できません。	行財政改革については、別途個別の計画を策定しており、現計画(計画期間平成29～令和4)では、目標額を14.5億円としています。令和5年度以降の目標額は今後設定していくため、現時点では記載していません。
224	70	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営	詳細施策 2 効率的な行政運営	ハード面を充実させる前に、既存のサービスやハードを最大限活用できていない、と言う可能性から探して下さい。そのためにデジタルを活用できる部分は多くあると考えます。	市の業務の様々な分野でデジタル技術が有効に活用できるよう取り組んでいきます。
225	70	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営	詳細施策 2 効率的な行政運営	競輪場の活用(あるいは廃止)については様々な規則や会計上の問題などがあると思うが、より理解された、開かれた施設とするためスポーツイベントへの利用なども検討すべきと考える。ギャンブル機能については設備も顧客もオンラインや場外へ移行することが比較的容易と思われるので、スポーツとして観戦する施設を主体とし、また、例えばスケートボード場を併設するなど他のスポーツの要素も加えれば迷惑施設からの脱却も図れるのではないかと。また周辺の駐車場の稼働状況がそれほど高くないのであれば、例えば城山陸上競技場と連携した雨天トレーニング施設としたり、ウォーキングコース上の休憩施設としたりすることが検討できるのではないかと。	競輪場については、非開催日に自転車競技連盟等自転車関係団体にバンクの貸出しを行っていますが、現時点では自転車競技以外のスポーツ施設の整備は考えていません。現在「サイクルフェスティバル」として競輪場開放イベントを行っており、その他の多目的活用については、今後も検討していきます。

No.	該当ページ	該当箇所		意見内容		市の考え方・対応方針(案)	
226	70	実行計画	施策・詳細施策	施策① 行政経営	詳細施策 2 効率的な行政運営	寄付文化の普及を。今の小田原城天守閣を建設するときには市民から寄付を集め、瓦にその名を記したと聞いています。コロナ禍で市の財政事情の悪化は避けられないでしょうが、市民に広く訴えかけ「世界が憧れるまち“小田原”」のために寄付を考える風土を形成すべきだと思います。	令和2年度に新型コロナウイルス感染症緊急対策基金を創設し、市内外から多額の寄附をいただきました。また、令和3年度からふるさと納税のポータルサイトを3サイトから5サイトに増やし、大きな災害が起きた際の災害支援を含めた寄附枠を拡充しています。
227	70	実行計画	施策・詳細施策	施策① 行政経営	詳細施策 3 公共施設の最適化	緊急的な維持修繕工事が必要な市有建築物は2%残すことなくすぐにでも直したほうがいいのでは？	各種点検で建築物の状態を把握し、修繕・更新の時期を見極めていますが、老朽化した建築物が多いことから、毎年一定数の故障等が発生します。現状では、緊急の維持修繕工事をなくすことは難しいと考えています。
228	71	実行計画	施策・詳細施策	施策① 行政経営	詳細施策 4 人材の確保・育成・活用	女性職員に限らず全職員の昇任希望率を目標値とすべき。	女性職員の昇任希望率は、本市が策定した「特定事業主行動計画」に掲げる目標の1つとして、すべての職員が働きやすい職場環境の実現を目指すものであることから、指標として適切であると考えています。
229	71	実行計画	施策・詳細施策	施策① 行政経営	詳細施策 5 広域連携の推進	国鉄民営化以前は県境をまたいだ沼津、三島、熱海と小田原との商業、教育的な生活圏の重なりがより大きかったように思う。県境も、分割されたJR各社も地理的、歴史的に絶対的な合理性を持つものではないので検討の価値があると思う。	広域連携の推進については、県西部地域のみならず、ご意見にあります静岡県東部地域や山梨県東部地域の自治体とも県境を越えて連携し、圏域内の振興、活性化を図っており、今後も課題解決に取り組んでいきます。
230	72	実行計画	施策・詳細施策	施策② 公民連携・若者女性活躍	詳細施策 2 若者・女性活躍の推進	ありふれた文言であり訴力に欠ける。若者でなく女性に関して言うならば、就労や起業を中心とした施策は多かった。もっと幅広い年代層の施策も組み入れてほしい。人生100年時代、就労、伝統文化の継承、地域及び社会貢献、市民活動など、生きがいを感じながら社会参画や活躍できるような仕組みがほしい。特に高齢女性には教育機会の少なかったデジタルで対応できるようになる研修機会が必要。コロナ禍で活動が止まっている現状がある。	未来創造・若者課が旗振り役となり、若者や女性が活躍できるまちづくりに向けて、市役所が一丸となって取り組んでいきます。また、ご意見にあるように幅広い世代の女性の意見も取り入れるよう検討を進めていきます。また、令和3年度から高齢者などがデジタル化への不安を解消できるように、スマートフォンの利用方法などに関する講習や相談を開始しました。
231	72	実行計画	施策・詳細施策	施策② 公民連携・若者女性活躍	詳細施策 3 公民連携によるSDGsの推進	他の目標では〇〇人だが、SDGsパートナー登録者数だけ〇〇者となっている。	SDGsパートナーは企業のほか団体等を含むため、「〇〇者」としています。
232	73	実行計画	施策・詳細施策	施策③ デジタルまちづくり	詳細施策 3 スーパーシティの実現	データ連携取扱サービスとはなんですか？	様々なデータを仲介させる連携基盤で取り扱う異なる分野間のデータの種類について記載しています。

総合計画行政案に対する
市議会会派からの意見対応一覧

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
1	-	全体	-	-	十分に時間をかけて市民意識を聴取し、また今後ははっきりと見えてくるポストコロナを見据えられるよう、1年前倒しの策定をやめ、予定通り現行のトライプランを遂行し、1年後に改めて策定を行うことを求める。 従前の執行部の説明では、タイトなスケジュールだがしっかりと市民意見も聴取した上、来年度予算案にも反映できるとあった。しかし、8月上旬に開始されるはずだった総合計画審議会は3週間も遅れようやく8月23日からのスタートとなった。6月の総務常任委員会において、このタイトなスケジュールには多くの議員からも懸念の声が上がっていた中、3週間の遅れは致命的と考える。 現行では、総花的な総合計画が十分な市民意見も集約されないまま、行政案ありきで進められる懸念が大変強い。現下のCOVID-19の状況は予断を許さないものであり、ワクチン接種が今年度中に進むとなれば、数年にわたり当面の間はCOVI-19の影響は完全に拭い去れないものの、現下よりも遥かにポストコロナの時代を見通すことのできる可能性が拓ける。1年後の方がより、先の未来を見通すことができる。総合計画策定に向けた今年度の努力は無駄にはならない。1年間、しっかりと市民意見を聴取し、また、はっきりと見えてくるポストコロナを見据えて、1年前倒しの撤回を求める。	新型コロナウイルス感染症をはじめとする、様々な社会状況の変化に迅速に対応し、「世界が憧れるまち“小田原”」を実現するため、令和4年4月から新たな総合計画をスタートさせる考えです。 なお、総合計画審議会の開始時期はずれ込んだものの、予定の終期までに必要な開催数(審議の機会)は確保しています。 また、コロナ禍という状況下においても、様々な手法により市民意見をお聞きしています。こうした市民意見については、総合計画審議会にも提示しながら、計画への反映について検討しており、広範な意見を踏まえた総合計画になるものと考えています。
2	-	全体	-	-	P4のストリート P7のコンパクト・プラス・ネットワークや、デジタルトランスフォーメーションなどわかりにくい用語には注釈か解説を入れる。	市民にとって分かりやすい表現に努めるとともに、分かりにくい語句には注釈を追記します。
3	-	全体	-	-	コロナ感染が増大してきています。総合計画のスタートを引き延ばしていただきたくお願いします。十分な議論を行っていききたいということです。	新型コロナウイルス感染症をはじめとする、様々な社会状況の変化に迅速に対応し、「世界が憧れるまち“小田原”」を実現するため、令和4年4月から新たな総合計画をスタートさせる考えです。 なお、総合計画審議会の開始時期はずれ込んだものの、予定の終期までに必要な開催数(審議の機会)は確保しています。 また、コロナ禍という状況下においても、様々な手法により市民意見をお聞きしています。そして、計画への反映は、市の考えを総合計画審議会へ提示した上で判断することから、広範な意見を踏まえた総合計画になると考えています。
4	-	全体	-	-	総合計画の策定は、市民が今後のまちづくり等に関して、心より期待し、かつ希望の持てる分かり易い内容にするため、より具体的な施策及び将来像を示すべきである。	施策等の具体的な記載については、市民にとって分かりやすい表現という観点から検討します。
5	-	全体	-	-	「TRYプラン」の時には、同じ内容等が別の冊子に違う表現で記載されていて重複していた感がある。何種類も冊子を作らなくても良いと考える。	第5次総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の三層構造としていたが、第6次総合計画は、基本構想・実行計画の二層とし、計画書一冊で主な取組についても明示していきます。
6	4	序論	3 ウィズコロナ、ポストコロナ社会に向けた視座	-	ここについてはすでに質疑してきたが、新型コロナウイルス感染症に対する対策については「しっかりと取り組んでいくというのは大前提」とのことでした。そのことが市民に伝わるように、緊張感をもってぜひ市民には安全安心、希望が持てるように表現の修正をすべきだと再度申し上げます。	新型コロナウイルス感染症については、現在も様々な対策を講じています。総合計画への記載の有無に関わらず、今後も状況に応じて必要な対策は確実に実施していきます。
7	5	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	-	国・社会の要請や取組の必要性だけでなく、本市が直面している課題を具体的に述べるべき。	本市の課題については、「4社会情勢の変化と本市の課題」及び「人口シナリオ」において記載しています。
8	5	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(1)新型コロナウイルス感染症の影響	COVID-19がどう小田原市を襲い、どこに綻びが出たのか、その影響の分析が全く行われていない。総合計画を策定するなら、COVID-19で浮かび上がってきた小田原市の弱点を正確に分析し、それを総合計画に反映させる必要を感じる。	新型コロナウイルス感染症については、「新型インフルエンザ等対策行動計画」に準じて対策を講じてきましたが、想定を超えた感染状況となり、全国的に大きな混乱が生じています。 こうしたことの検証は、今後、国をはじめ各自治体で行われていくと考えていますが、総合計画の中の感染症対策や、市施策への反映などについては、いただいたご意見も参考にさせていただきます。
9	6	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(7)社会のグローバル化	外国人労働者の受け入れ、とあるが、人口増加をめざすとすればある程度の規模の外国人労働者の方を増やしていく政策が必要であると思う。外国人労働者の方が、安心して働き暮らすことができる環境づくりを市としても進めていく必要がある。	「外国人労働者の受け入れ」の箇所はグローバル化の進展による国内の概況を記載したものです。なお、外国籍住民への支援、国などの関係機関との連携等により、外国人の労働環境づくりを充実していくとともに、重点施策5(3)に世界とつながる機会を掲げ、外国人にとって生活の場として選ばれるまちを目指していきます。
10	8	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(11)行政に求められるもの	限られた財源を計画的に運用することで総合計画の着実な推進を図り、併せて厳しい財政状況を広く市民に公開し課題を共有するため、財政見直し、財政目標及びその計画的取組を盛り込むべき。	財政見直し等については、実行計画の計画期間(3年間)の収支見直しを総合計画に記載する予定です。
11	8	序論	4 社会情勢の変化と本市の課題	(11)行政に求められるもの	総合計画の着実な推進には、行財政改革との一体的取組が不可欠と思われるが、その観点が不在。	「3まちづくりの推進エンジン」の一つに位置付けた「(1)行政経営」に行財政改革に取り組む必要性を記載するとともに、行政改革実行計画に基づき取組を推進していきます。
12	11	序論	5 市民アンケート調査結果	-	娯楽や余暇を楽しむ場が少ない、という意見が最も多い。特に20代30代の若い世代にとっての、娯楽や余暇を楽しむ場について、しっかりと深掘りして分析し、具体的な対応策を示すべき。	若者の視点を取り入れてまちづくりを進めていくことが必要であると認識しており、今後、若者の意見や考え方を聞きながら、また、民間の力も十分に発揮していただき、人々が集いにぎわい、若い世代にとっても魅力のあるまちづくりを進めていきます。
13	11	序論	5 市民アンケート調査結果	-	「5市民アンケート調査結果」について、約15年前の「市民満足度・重要度調査」との比較検証を記載し、新たな総合計画の見直しにおいて指針とすべき事項等について記載すべきである。	平成19年度に行った市民満足度・重要度調査の結果と、傾向は大きく変わりませんでした。計画の見直しにあたり、市民の意識と施策の方向性を確認するために、継続的に調査を実施することを検討していきます。
14	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	人口20万規模というのは、答弁によると何人から何人規模といった数値は持たない、とのことだったが、20万人以上であるとか、19万5千人から20万5千人であるといった規模感を示すべき。	人口20万人規模の都市を掲げた意図は、掲げた目標に市民や民間事業者等の共感を得て、それぞれの現場で、実現に向けた取組を共に進めていくこと、言い換えれば、人口20万人規模の都市を目指すことを旗印に、小田原の力を結集していくという考えです。こうした趣旨を踏まえ、表現については、市民に分かりやすいという観点から検討します。
15	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	人口20万規模を目指すことの必要性、実現可能性など、しっかりとページを割いて述べるべきではないか。	人口減少に歯止めをかけ、人口増加に転じることができるよう、本市の人口動態や課題を整理し、人口増加に向けた取組の方向性を、人口シナリオとして示しています。人口シナリオの追記については、市議会や市民の意見、総合計画審議会での議論などを踏まえて検討していきます。

No.	該当ページ	該当箇所		意見内容	市の考え方・対応方針(案)		
16	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	小田原の「豊かな環境の継承」を土台に、スピード感を持ったまちづくりを進め、と記載されていますが、スピード感とは、何も変わらない感覚の事です。スピード感はその表記の「感じる」ことが重要であり、それで、速度が上がるとは何一つ言っていないことになる。スピードを持ったまちづくり、とか、迅速にという表記にすべき。	第6次総合計画について、計画期間を一年前倒して策定し、様々な社会経済情勢の変化に機敏に対応しながら施策を展開していきたいと考えており、このような趣旨を、分かりやすく伝えられるよう、「スピード感を持って」としましたが、今後表現方法を検討します。
17	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	「人口20万人規模の都市を目指します」⇒「人口の社会増を図り、現状を堅持します」に修正する。(理由)人口シナリオの本市の人口動態の実績から、今後9年間で20万人達成は困難である。	人口20万人規模の都市は、高い目標ということは十分認識していますが、重点施策をはじめ、あらゆる施策を総動員して、その実現を目指したいと考えています。
18	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	「スピード感を持ったまちづくりを進め」⇒「市民と協働し、スピード感を持ったまちづくりを進め」(理由)「わが国でも特筆すべきレベルに成長した市民力や地域力といった人の力があります。」と記述していることから、小田原市自治基本条例の理念を盛り込むべきと考える。	本市の市民力・地域力が全国でも特筆すべきレベルに成長し、既に、市民、事業者、地域、各種団体が主体的に活動を展開しています。こうした前提のもと、行政案を作成していますが、記載については、総合計画審議会での議論等を踏まえて判断していきます。
19	14	基本構想	1 まちづくりの理念と2030年に目指すまちの姿	-	-	『都心からほど良い距離にあり、鉄道や高速道路のインフラが整備されている都市・・・』の表現の部分については、すでに整備完了しているようにとらえられ誤解を招くので、より市民等がイメージし易いよう、数値等を加えて記載すべきである。	インフラの利便性の維持や更なる向上を目指して、施策を展開していくことは実行計画で示しています。本市には、既に利便性の高いインフラがあるため、基本構想にこのように記載していますが、表現については、誤解を招くことがないように検討します。
20	14	基本構想	2 まちづくりの目標	(1)生活の質の向上	-	「子育てに夢や希望が持てるまち」について、小田原の質の高い教育を受けた子どもたちが、社会を創る力を身に付けて成長している。とあるが、どのような質なのか問われるところ。不登校やいじめのない学校は父母、児童・生徒にとって、重要なポイントになっています。ぜひ2030年を目指し、市立小中学校のすべての学校から不登校いじめゼロとすべくこのことを掲げてほしいものです。安全安心な学校であることがまず大切です。	すべての児童生徒が、学校教育を享受し、生き生きとした学校生活を送るため、不登校やいじめを未然に防ぐための取組は、大変重要なことと認識しています。ご指摘のとおり、安全安心な学校であることは大切なこととありますので、不登校やいじめを未然に防ぐための取組に引き続き注力していきます。
21	16	基本構想	2 まちづくりの目標	(3)豊かな環境の継承	-	2030の姿の防災に関する記載に、ア.災害対策本部機能強化に関する具体的なイメージ及びイ.富士山噴火被害に係る方針等を盛り込むべきである。(注・概要版及び実行計画等についても同じ。)	災害対策本部機能強化の具体的なイメージについては、地域防災計画や各種マニュアルの中で示していきます。富士山噴火被害に係る方針等については、国・県レベルでの検討の緒についた段階であり、結論を踏まえ、地域防災計画等への記載を行っていきます。
22	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(1)行政経営	-	全職員が一丸となって取り組むことが出来る様に、新たに(仮)「アクション会議」のようなものを導入したり、他の所管の進捗等を横断的に把握出来る様に工夫すべきである。	総合計画については、毎年度、施策等の達成度の評価・検証を行う予定であり、その結果を全庁で共有し、他の所管の進捗を把握できるようにしたいと考えています。
23	17	基本構想	3 まちづくりの推進エンジン	(3)デジタルまちづくり	-	個人情報保護に万全を期すのは当然のことですが、どのように万全を期すのか議会や市民に納得が得られないようでは市民の望むまちづくりとはかけ離れるだけです。よく考えていくべきです。	現状、国の専門調査会にて個人情報保護については必要な水準に達しているとの評価を受けています。今後とも、関係法令の規定を遵守し、市民に納得いただけるよう万全を期していきます。
24	18	実行計画	-	-	-	まちづくりの目標に当てはまらない(薄色)箇所に大事な事象があると考え。重点的に取り組むことと別にチャレンジの仕組みを用意してはどうか	まちづくりの目標に特に資する取組を濃い色で、資する取組を薄色で表現しています。全ての施策はまちづくりの目標に資するという考えになります。行政案にはその説明が無いので、分かりやすく表現できるよう検討します。なお、重点施策以外の取組は施策・詳細施策で説明します。
25	18	実行計画	-	-	-	目標部分の濃淡という表現があるが、わかりにくい。印刷状態(コピーのコピーもあり得る)や色弱の方には識別できないと思うので、改善が必要では。	様々な利用者や利用方法を想定し、見やすいものになるよう検討します。
26	18	実行計画	-	-	-	色分けされた目標の表現については、何れも捉え辛いので、後日検討することとなった「絵図面」等に盛り込んで表現したらどうか。	市民にとって分かりやすい表現に努めるとともに、見やすいものになるよう検討します。
27	18	実行計画	-	-	-	目標値の表現を3年ごとに区切り、かつ3年後、6年後、9年後と表現して一つに集約したらどうか。また、各期の目標値及び検証状況等を表記するとともにさらに、「まち、ひと、しごと総合戦略」とも合致させるべきと考える。	重点施策の目標は9年後とし、実行計画は3年ごとに見直すこととしているため、一つに集約しにくいことから、それぞれの箇所で目標値を示したいと考えています。検証方法や総合戦略との合致については検討していく予定です。
28	20	実行計画	重点施策	-	-	重点施策の「具体のアクション」において、いつまでに、どのように取り組まれるのか、説明を加えるべき。	「具体のアクション」の取組内容が分かるように修正を検討します。
29	20	実行計画	重点施策	-	-	重点施策の2030年の目標は全体的にその内容の具体性にばらつきが見られるのでわかりやすくまとめる。	「2030年の目標」の設定について分かりやすくなるよう検討します。
30	20	実行計画	重点施策	-	-	議会質問等により取り上げられている、酒匂川スポーツ広場、少年院跡地問題、県立小田原諏訪の原公園整備(第2期以降)、御幸の浜プール及びイオンタウン等、市民等の関心が高い事業の推進等について記載すべきである。	市の重点施策として記載すべき事業を改めて精査の上、検討します。
31	20	実行計画	重点施策	-	-	県事業の「城山多古線トンネル」及び「県道国府津穴部線」の促進等について記載すべきである。	施策24「道路・交通」において対応する予定です。
32	20	実行計画	重点施策	1 医療・福祉	(1)地域共生社会の実現	性別、年齢、人種、障害の有無、知識・能力の程度などにかかわらず、だれにでも暮らしやすい「小田原」を目指すため、「ユニバーサル・デザイン」に配慮したインフラ整備などを行うことを記述すべきである。	これまで地域福祉計画においてユニバーサルデザインの考え方に触れるなど、必要な取組を進めてきました。誰もが暮らしやすいまちを作る上で、ユニバーサルデザインの視点は重要と捉えています。総合計画への記載については、総合計画審議会での議論等を踏まえて検討します。
33	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(1)質の高い学校教育	質の高い教育の2030年の目標「将来の夢を持つ児童生徒の割合100%」について、示されている目標達成のための具体的なアクションで、どのようにして夢を持つようになるのかが分からない。子どもたちが夢を持つための具体的なアクションを示すべき。	児童生徒がどのように夢を持つようになるのかは、個々の児童生徒により異なるものと考えます。児童生徒が日々の様々な活動の中で、夢の種を見出すためのプラットフォームとして、「新たな学び」の実現に向けた取組の推進ほか2つのアクションを掲げています。
34	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(2)子ども・子育て支援	満足する割合が3/4、75%という数値が適正なのか疑問に思う。人口増加を目指し自然増が求められる中、守屋市政で新たにその方向に転換する為には若い世代が子を産みたくなる本市独自政策が欲しい。方針・目標・アクションが抽象的に感じられる。ここに掲出されている内容はこれまでも取り組んできた内容なのではないか。	「第2期小田原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査(平成30年度)」では、未就学児の親の満足度が66.5%であったことから適正と認識しています。方針等の内容については、とても大きく、重要な課題であると認識しているため、継続的に表現しています。
35	22	実行計画	重点施策	3 教育・子育て	(2)子ども・子育て支援	家庭教育の重要性とその支援に対する記述が必要。学校や保育園で過ごすのは、長くて24時間のうち1/3しかない。社会性を育む上でも2歳までが非常に重要な時期である。	重点施策の取組方針では、個別の事業の説明ではなく、子ども・子育て支援全般について述べています。家庭教育支援については重要であると認識しており、詳細施策において対応していきます。
36	23	実行計画	重点施策	4 地域経済	(2)多様な働き方環境の整備	目標のテレワークやワーケーションができる場所100ヶ所とあるが大丈夫か。現時点でリモートワークの職種は限られており、今後この数が拡大するようには思えない。現実的な目標値なのか気がかりだ。	全国的にテレワークが進むことで、市内事業者においてもテレワーク導入やテレワーク導入企業への対応が生ずることから、コワーキングスペースに限らない、企業単位でのテレワーク環境の整備が進むと見込んでいるため、目標値としては妥当と考えています。

No.	該当ページ	該当箇所		意見内容		市の考え方・対応方針(案)
37	24	実行計画	重点施策	5 歴史・文化	(2)文化・スポーツを通じた地域活性化 具体的アクションについて。項目は文化とスポーツが同項目となっているのに対し、文化によるまちづくり基本計画という「まちづくり」に文化を盛り込んだ形に対し、スポーツのまちづくりに言及がない。やはりスポーツに関連したまちづくりを進めるべきだと考えるし、スポーツを軸にしたエリアでのまちづくり・基本計画の検討を進めるべきだと考える。スポーツが十分でないとする、スポーツコミッションの創設支援も含めて文化と別立てでも良いのではないか。	スポーツを通じたまちづくりについては、現在は検討段階のため具体的なアクションでの記載はありませんが、取組方針で民間主体のスポーツコミッションの創設への支援やスポーツ施設のあり方検討を記載しており、スポーツと地域資源をかけ合わせ、地域の活性化を目指していきます。
38	25	実行計画	重点施策	6 環境・エネルギー	(1)再生可能エネルギーの導入促進 太陽光発電に偏り、太陽熱利用も含め、多様性のある再生可能エネルギーとすべき。	再生可能エネルギーの導入を効果的に進めるため、ポテンシャルの高い太陽光発電に資する施策は不可欠ですが、太陽熱利用などあらゆる再生資源の活用を視野に入れて検討していきます。
39	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(1)小田原駅・小田原城周辺のまちづくり 駅周辺再開発も、三の丸構想も、このコロナ禍中に全速力で進める気概が欲しい。コロナ明けの特需を見越して積極的に攻めて欲しい。	地域の自主的なまちづくり活動をしている地元協議会等と連携し、小田原駅周辺(西口・東口)の再開発事業を促進していきます。 三の丸地区整備構想については、コロナ禍においても構想に基づきながら着実に進捗しています。
40	26	実行計画	重点施策	7 まちづくり	(2)地域特性を生かしたまちづくり アクションに「海を生かしたまちづくり」と記載がある。大変素晴らしい。更に海を生かした政策を実現していただきたい。	本市にとって、海は重要な観光コンテンツであるため、「海を生かしたまちづくり」を検討していくものです。具体的な取組は今後検討を進めていくとともに、必要に応じて海岸の管理者である神奈川県と協議していきます。
41	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	- 小田原に「永住」することに結び付く、具体的な施策の記載が必要である。	市民アンケートでは、52%の方がずっと住み続けたい、38%の方が当分住み続けたいと回答しています。小田原に既に住んでいる方が住み続けたいと思うまち目指し、施策を総動員していきます。
42	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	(2)人口増加に向けた命題と取組の方向性 「出生増」については、子育て支援策について述べられているが、それとともにいわゆる縁結び政策など、未婚の方が結婚し家庭を築くための取り組みも行っていくべきと考える。	出生増に向け、子育て支援策の充実に加え、未婚の方が結婚し家庭を築く取組が全国で展開されていることは承知しており、少子化対策について、引き続き検討していく必要があると考えています。
43	27	実行計画	重点施策	人口シナリオ	(2)人口増加に向けた命題と取組の方向性 (仮)「世代別の人口増加対策会議」等の設置などにより、具体的な方策を示すべきである。	本市の人口動態の課題は、20～30歳代の若年層の流出と認識しており、子育て世代をメインターゲットとして、住まい、仕事、子育て等の取組を推進することで、当面、社会増の流れを加速していきたいと考えています。
44	30	実行計画	施策・詳細施策	-	- 基準値に関して、精査すべき (理由)基準値に令和2年度実績が多いが、雇用、商業、地場産業、観光、文化、スポーツ等の分野は新型コロナウイルス感染症の影響で数値は参考にならない。欄外に令和元年度の実績値が小さく記載されているが、それを基準値とすべき。	新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった事業は、影響前の数値を踏まえて目標値を設定しており、その数値を欄外に記載しています。このことから、基準値は、直近値を基本にしたいと考えています。
45	30	実行計画	施策・詳細施策	施策 1 地域福祉・多様性の尊重	詳細施策 2 地域福祉活動への支援 民生委員・児童委員の相談件数を目標値とすることは疑問。委員の充足率100%維持を目標としたらいかがか。	民生委員・児童委員の推薦については、地域の中で協議いただき選出しているのが現状であり、市として、委員の充足率について、100パーセント維持を目標にすることは難しいと考えています。
46	31	実行計画	施策・詳細施策	施策 1 地域福祉・多様性の尊重	詳細施策 4 多様性が尊重される社会の実現 目標値：審議会への女性参画率疑問。一人でも多くの理解と参画が必要であることから各取組事業の参画及び参加割合の増加を目標としたらいかがか。	市政のあらゆる分野において、男女の意見が偏りなく反映されることを図るため、市の審議会への参画率を設定しています。なお、各取組や事業への参加等は、個別計画「おだわら男女共同参画プラン」、「小田原市人権施策推進指針」の推進による評価を考えています。
47	32	実行計画	施策・詳細施策	施策 2 高齢者福祉	詳細施策 2 高齢者支援・相談体制の充実 主な取り組みに高齢独居世帯への対応と終活相談を加えたらと考える	高齢独居世帯への対応については、列挙した取組のいずれにも関連しますもので、それぞれの取組を進める中で総合的に対応していきます。 また、終活相談については「在宅医療と介護の連携推進」の取組の中の1つとして実施していく方針です。
48	32	実行計画	施策・詳細施策	施策 2 高齢者福祉	詳細施策 3 介護サービスの提供 主な取り組みにフレイルの予防のために栄養士による食事指導を加えたらと考える	施策4、詳細施策2主な取組「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」は、フレイル予防も含まれています。これは、認知症予防や低栄養予防等を含めた総合的な取組であり、この中で、栄養士による食事指導を実施しています。
49	35	実行計画	施策・詳細施策	施策 4 健康づくり	詳細施策 2 健康増進・介護予防の推進 主な取組を「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施とフレイル予防の充実」とすべき	「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」は、フレイル予防、認知症予防や低栄養予防等を含めた総合的な取組です。健診結果等の統計内容から、本市の高齢者はフレイル予防よりも、健診後の未受診者の受診勧奨等が重要と考えていることから現在の表現としています。
50	35	実行計画	施策・詳細施策	施策 4 健康づくり	詳細施策 2 健康増進・介護予防の推進 脳血管疾患の死亡率削減のために口腔の健康を明確に加えるべき	口腔の健康が生活習慣病の予防に効果があることは明らかになってきていますが、本市の健康課題である脳血管疾患の死亡率の高さと口腔の健康をどのように考えていくかは、令和4年度に改定予定の健康増進計画策定時に検討していきます。
51	36	実行計画	施策・詳細施策	施策 5 地域医療	詳細施策 3 市立病院の健全経営 口腔外科の設置と臨床薬剤師の確保	口腔外科は、医療ニーズや医療資源の状況等に応じて検討します。 臨床薬剤師は、現在も当院で活躍しており、今後も臨床に根差した薬剤師の育成に努めていきます。
52	43	実行計画	施策・詳細施策	施策 9 地域活動・市民活動	詳細施策 1 地域における課題解決の支援 課題解決への目標数が地域コミュニティ分科会というのは行政よりの見方。もっと市民よりの指標、例えば地域コミュニティへの満足度等にすべき。	地域の満足度を図ることについては課題と考えていますが、事業の達成目標をわかりやすくするため、指標を分科会数に設定しています。
53	43	実行計画	施策・詳細施策	施策 9 地域活動・市民活動	詳細施策 1 地域における課題解決の支援 地域コミュニティ組織人員の重複が問題となっている中、分科会の集約、縮小が図られるべきなのに現実と逆行している。	地域コミュニティ組織の分科会は地域課題に応じて地域で設置しており、担い手が不足する場合は、類似分野の分科会を統合するなどして活動を継続しています。
54	44	実行計画	施策・詳細施策	施策 10 子ども・子育て支援	詳細施策 1 子育て支援の充実 目標値：1つの事業の会員数ではなく、常に子育てをひとりにさせないために様々なサポートがあるという周知が子育て支援の充実へ繋がるのかと。そのために対象となる家庭への認知度なのではないだろうか。	子育て環境の向上には、社会全体での支援が必要であり、子育て家庭へ直接的な支援を行う人(支援会員等)の増加が不可欠です。本指標の増加は、社会全体で支援をしようとする意識の表れであり、社会の意識形成の進捗が判断できるものとして設定しています。

No.	該当ページ	該当箇所			意見内容	市の考え方・対応方針(案)
55	45	実行計画	施策・詳細施策	施策 10 子ども・子育て支援 詳細施策 4 青少年育成の推進	非日常型体験学習の参加者目標を年度140人としているが、市内の1学年全員が体験できるような施策を考えるべき。	本事業は、夏休み期間を利用して小学校5・6年生を対象に、非日常体験を通して、学校や学年を超えた交流を図り、子どもの自主性・自立心・協調性・創造性などの豊かな人間性を育むことを目的に実施しており、学校単位で学年全ての子どもが参加する形態は想定しておりません。また、目標を参加人数140人としていますが、今後、新型コロナウイルス感染症の動向や、対象児童の希望等を勘案し、必要に応じて対応策について検討していきます。
56	45	実行計画	施策・詳細施策	施策 10 子ども・子育て支援 詳細施策 4 青少年育成の推進	取組方針：地域活動を支援ではなく、地域活動と連携ではないだろうか。また、地域にあるそれぞれの学校・団体等の連携も必須なのでは。	地域団体と行政(学校を含む)は、まちづくりのパートナーとして、それぞれの分野でお互いの強みを生かし、連携・協働を図っていくものと捉えています。いただいたご意見も参考とし、今後の見直し作業の中で、より伝わりやすい表現となるよう検討していきます。
57	45	実行計画	施策・詳細施策	施策 10 子ども・子育て支援 詳細施策 5 家庭教育支援の推進	家庭教育講演会参加数を目標値となっているが、講演内容精査と総数でなく子育て中の親の参加者増を目標とすべき。	家庭教育支援は、社会全体で子育てをする保護者を支援することと認識しています。また、参加者のほとんどが子育て世代であり、参加者数を増やすことで、自ずと子育て世代の参加の増につながることも考えています。
58	45	実行計画	施策・詳細施策	施策 10 子ども・子育て支援 詳細施策 5 家庭教育支援の推進	家庭教育支援策として、他自治体でも制定している家庭教育支援条例策定を目標とすべきではないか。	条例を制定している自治体は少数です。この条例は、理念条例であることから、家庭教育支援を進めていく上での制定は通過点であり、総合計画の目標値は市民にわかりやすく伝えるため、数値での表現としています。
59	47	実行計画	施策・詳細施策	施策 4 健康づくり 詳細施策 3 食育の推進	学校給食で「はるみ」を使うなど特別に美味しいメニューを映像配信する。	現在、各学校ではその日の給食について、ホームページに写真や記事を掲載しています。また、市のホームページでも「小田原献立」など、柑橘類を含む小田原産の食材を使用した献立を紹介し、地産地消に取り組んでいる学校給食の周知に努めています。これらの取組については、さらに画像等を活用し、視覚的な充実を図っていきます。
60	47	実行計画	施策・詳細施策	施策 11 教育 詳細施策 3 きめ細やかな教育体制の充実	主な取組に「特別支援教育の充実」を追加すべき	「個別支援員の配置」、「特別支援教育相談の実施」、「就学相談の実施」、「通級指導教室の設置・運営」、「教育相談の実施」に取り組むことで、特別支援教育の充実につながると考えています。
61	48	実行計画	施策・詳細施策	施策 12 働く場所・働き方 詳細施策 3 新しい働き方の推進	2030年の目標にテレワーク100か所とあるが3年毎の実行計画では目標値がワークプレイスマーケット利用者数となっている。3年毎の実行計画目標値に2030年の目標であるテレワーク箇所をサブ指標として追加すると2030年への位置がわかりやすくなると思う。	いただいたご意見も参考とし、事業を推進する上では、双方の数値を管理できるよう努めていきます。
62	50	実行計画	施策・詳細施策	施策 13 商業・地場産業	ページ上部の説明について、販路拡大の取組を進めることで、「事業承継を促進させて、」地域経済を活性化していきます。とすべき。	市は各団体等が行う後継者育成や技術振興の事業に対して支援し、結果的に事業承継に結び付いていますが、中小企業全般の事業承継については、P48「詳細施策 2 起業支援体制の充実」の中に位置付けていますので、いただいたご意見も参考にし、表現を検討していきます。
63	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 1 農業の担い手育成と交流体験の推進	目標値：新規就農者たちが就農継続難航を示していることが問題なのではないだろうか。継続できる環境を整える支援と目標値が必要なのでは。	平成26年度以降の新規就農者については、9割以上が利用権設定(農地の貸し借りの契約)を更新しています。新規就農者に対しては、家賃や農地賃借料補助などを実施しており、引き続き支援に努めていきます。
64	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 1 農業の担い手育成と交流体験の推進	目標値はそのまま構わないので、在来農家への支援も加えて欲しい	いただいたご意見も参考とし、取組方針の修正を検討します。
65	51	実行計画	施策・詳細施策	施策 14 農林業 詳細施策 2 生産基盤の整備と農地の維持・保全	耕作放棄地の解消面積でなく、放棄地解消面積割合を目標値にすべき。	いただいたご意見も参考とし、目標値の修正を検討します。
66	53	実行計画	施策・詳細施策	施策 15 水産業 詳細施策 1 漁港・漁場の整備	一定規模の船が停泊できるようにして三浦、江ノ島、熱海と連携した取り組みを図る	過去に、イベント的に小田原から江の島間のクルーズ事業の実績もあることから、イベントコンテンツの一つとして研究を進めていきます。
67	53	実行計画	施策・詳細施策	施策 15 水産業 詳細施策 2 漁業の担い手育成と経営支援	小中学生向けの魚市場体験や小田原を海から見る体験を漁協等と連携して行って欲しい	水産業の体験は、水産市場の魅力創出のための貴重なコンテンツと考えていることから、水産市場の再整備を検討する中で、研究を進めていきます。
68	58	実行計画	施策・詳細施策	施策 18 文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策 2 文化交流の推進	既存の海外姉妹都市については初期の目的からのズレがみられるので検証を。新たな友好都市を検討したらいかがか。	アメリカ合衆国チュラピスタ市と本市との姉妹都市提携の目的は「両市が互いの伝統を尊重し、産業、教育、文化の発展や国際性豊かな人材育成のために幅広い交流を図り、両市民の間に永く友情をもたらすこと」であるため、現在実施している青年交流事業はこの目的に合致していると捉えています。一方で、さまざまな交流の実績から、姉妹都市・友好都市と銘打たずとも交流や絆を深めることは可能だとも考えていますので、草の根レベルのつながりを大切にしながら、相互理解を深めていきたいと考えています。
69	65	実行計画	施策・詳細施策	施策 22 都市整備、施策 23 住環境の形成 詳細施策 3 市街地整備の促進、詳細施策 1 住宅ストック活用の促進	具体的に、例えばマンション建設をもっと積極的に進めるだとか、古い家屋のリノベーションの推進を図るだとか、具体的な取組について表記すべき。	駅周辺の都市機能の更新や共同化などによる土地の有効活用を図り、市街地環境の改善、街なかへの定住促進に努めることとしており、優良建築物等整備事業補助金等による支援により、引き続き、住宅戸数を増やしていきます。
70	66	実行計画	施策・詳細施策	施策 23 住環境の形成 詳細施策 2 市営住宅の再整備	高層階への入居希望が少なくなっている現在、低層住宅の空き家を市が借り入れる計画を提案する。	現時点において低層の民間賃貸住宅の空き家を借り入れる考えには至っていませんが、今後の市営住宅の建替えや用途廃止の際の移転先の受け皿の一つとして研究を進めていきます。
71	73	実行計画	施策・詳細施策	施策 ① 行政経営 詳細施策 2 効率的な行政運営	データ分析を専門に行う部署の設置	各分野の施策に係るデータ分析については、それぞれの所管で適時適切に実施し、その結果を各施策に反映していくことが適当と考えるため、現時点においてデータ分析を専門に行う部署を設置する考えはありません。

行政改革次期計画の策定について

1 概要

第2次小田原市行政改革指針及び第2次行政改革実行計画の計画期間が令和4年度までとなっていることから、次期計画の策定に向け、市の附属機関である行政改革推進委員会に次期計画の基本的な考え方（視点・推進項目等）について諮問し、当委員会からの答申を踏まえ、令和5年度からスタートする次期計画を策定する。

(1) 計画期間

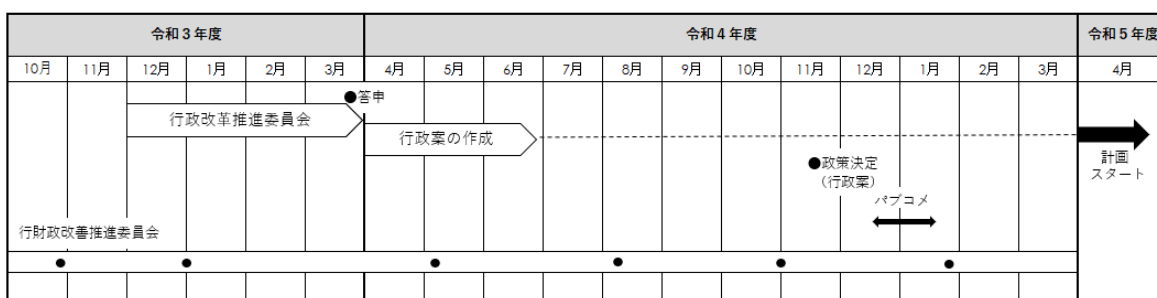
計画期間は令和5年度から令和9年度までとし、中間年度の令和7年度に改定する。

(2) 行政改革推進委員会について

任 期 令和3年12月から令和4年3月まで
 会議回数 4回程度
 委員構成 学識経験者や各種団体の構成員等の7名

No	氏名	所属等	区分
1	牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部 教授	学識経験者
2	石井 夏生利	中央大学国際情報学部 教授	学識経験者
3	西前 純子	キリンホールディングス株式会社 経営企画部	有識者（公民連携・働き方）
4	[推薦] 小田原青年会議所		有識者（経営団体代表者）
5	[推薦] 小田原・足柄地域連合		有識者（労働団体代表者）
6	[推薦] 東京地方税理士会 小田原支部		有識者（税理士）
7	[推薦] 小田原市自治会総連合		有識者（住民自治組織）

〈今後のスケジュール〉



2 基本的な考え方（目標・視点）

将来を見据えた行財政運営の推進

～持続可能な行財政運営の確立 “量の改革”

市民ニーズに即応した行政サービスの確立 “質の改革” ～

- 視点1 効率的・効果的な行財政運営
- 視点2 行政サービスの質の向上
- 視点3 持続可能な財政基盤の確立

押印の見直し状況について

1 概要

国の押印見直しに対する取組に準じ、行政手続における市民等の負担を軽減し、市民等の利便性の向上や事務の効率化を図ることを目的に、市民等から提出される申請・届出等の押印について見直し、廃止又は廃止に向け検討を行った。また、対外的な行政手続のみならず、人事手続等で押印を求めている内部手続についても見直しを行った。

2 見直し対象

市が条例等や慣行により押印を求めている全手続

- (1) 市民や事業者から提出される申請・届出等に押印を求めている行政手続
- (2) 人事手続等で押印を求めている内部手続

※契約書や協定書は、見直し対象外

※国の法令や県の条例等で押印が義務付けられている申請・届出等については、国や県の見直し結果を基に対応

3 見直し結果

押印を求める趣旨の合理性や代替手段の有無を判断基準として、これまで求めていた認印を中心に、各種申請や届出等のうち8割強の書類について押印を廃止した。

(令和3年10月現在)

区分	対象数
見直し済み（押印廃止）	1,687 種類
見直し検討中※ ₁	197 種類
見直し不可（押印存続）※ ₂	170 種類
計	2,054 種類

※1：令和3年度中に廃止予定または廃止に向け検討するもの。

※2：実印を求めている書類（印鑑登録証明書を添付）、保証人など第三者の証明が必要な書類、委任行為に係る書類など。

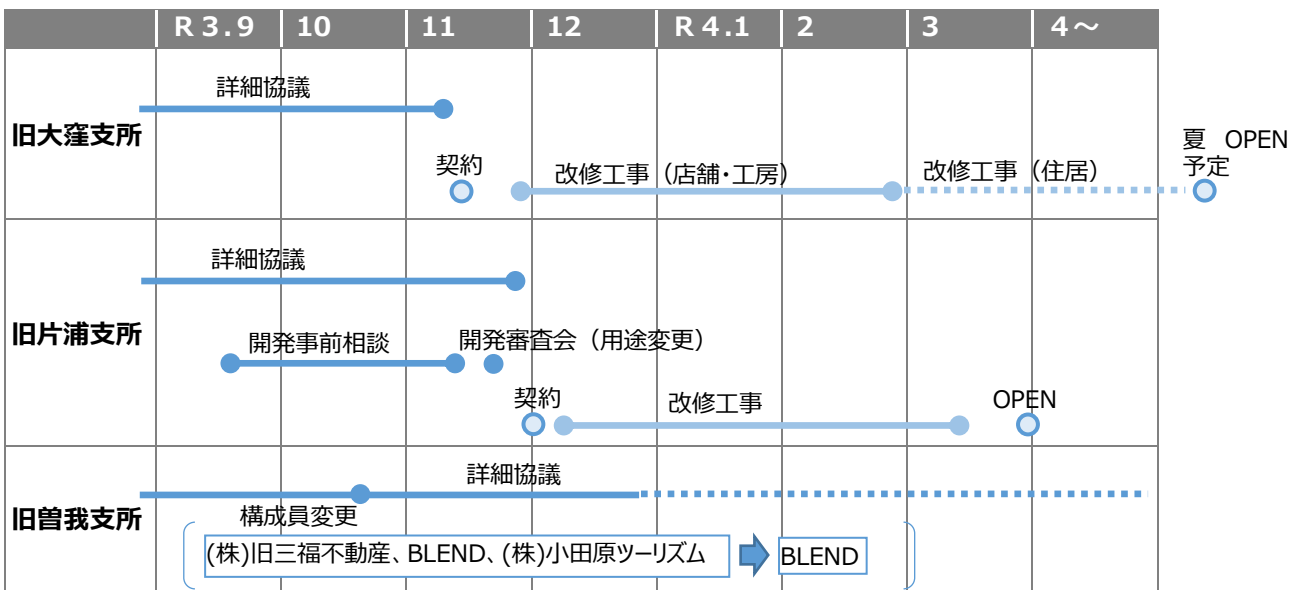
旧大窪支所、旧片浦支所及び旧曾我支所の利活用 について

1 概要

令和3年（2021年）8月から民間事業者との詳細協議を続けてきたが、旧大窪支所及び旧片浦支所については、協議が整う見込みとなった。旧曾我支所については、引き続き詳細協議を継続する。

	旧大窪支所	旧片浦支所
事業者	OTA MOKKO	(株) 文祥堂 (株) 空間編集舎
種類	・市有財産売買契約 (土地建物)	・事業用定期借地権設定契約（10年） ・市有財産売買契約（建物） ・旧片浦支所の利活用に関する協定書
契約予定額	売買代金 3,456万円	賃料（土地） 月額 47,897円 売買代金（建物） 44,000円（税込み）
事業内容	【参考資料4-1参照】	【参考資料4-2参照】
面積	土地 494.17㎡ 建物 1階 172.87㎡ 2階 78.64㎡	土地 658.29㎡ 建物 1階 262.00㎡ 2階 135.67㎡

2 経過及び今後の予定



旧大窪支所「職人文化×旧大窪支所」

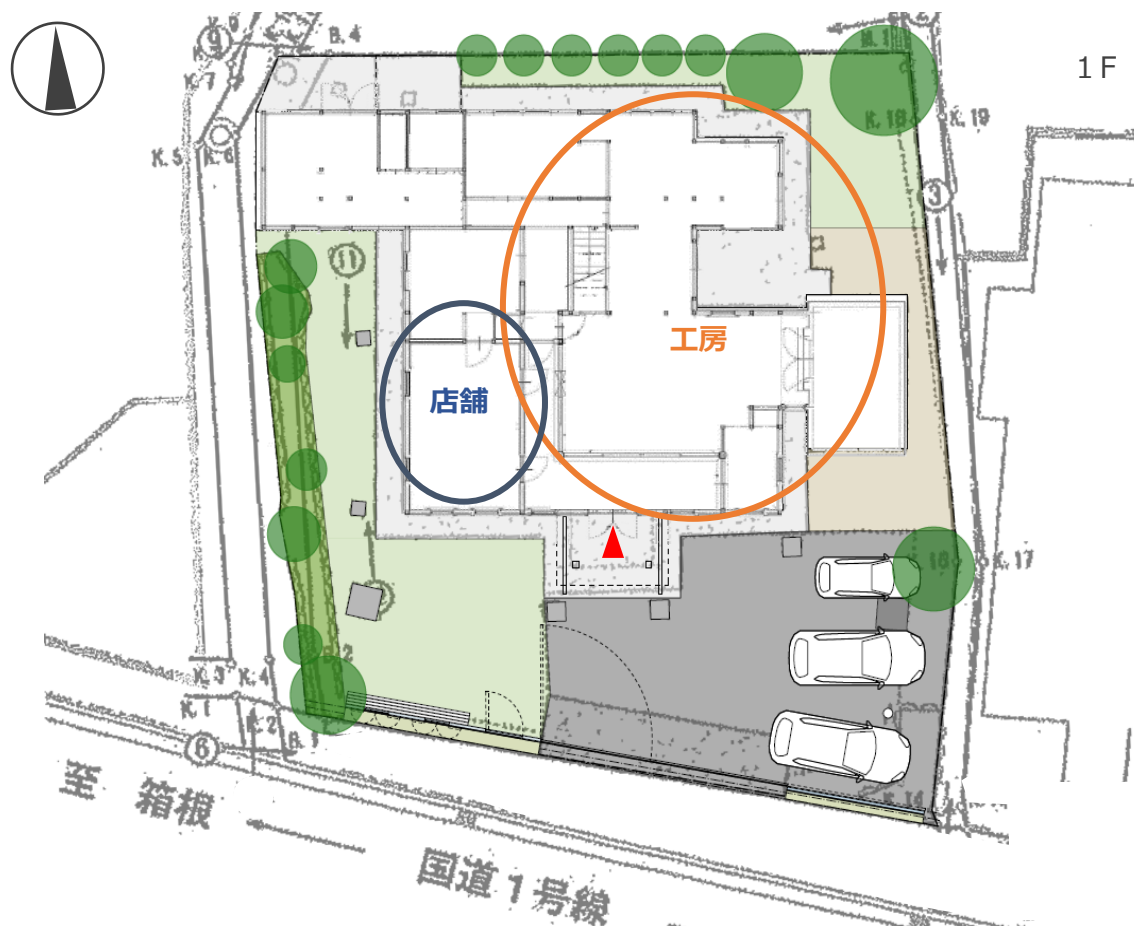
1. 事業者

OTA MOKKO 2012年に設立。現在は板橋で寄木細工の工房と店舗を構える。

2. 事業内容

- ・建物の外観を保全し、寄木細工の工房・店舗に住居を併設する。
- ・見せる工房としてオープンにし、モノが生まれる現場を体感できる場とする。
- ・板橋旧街道周辺地区の職人文化を生かしたまちづくりに寄与する。

3. 建物利用イメージ



旧片浦支所「地域と共創するワーケーションプロジェクト」

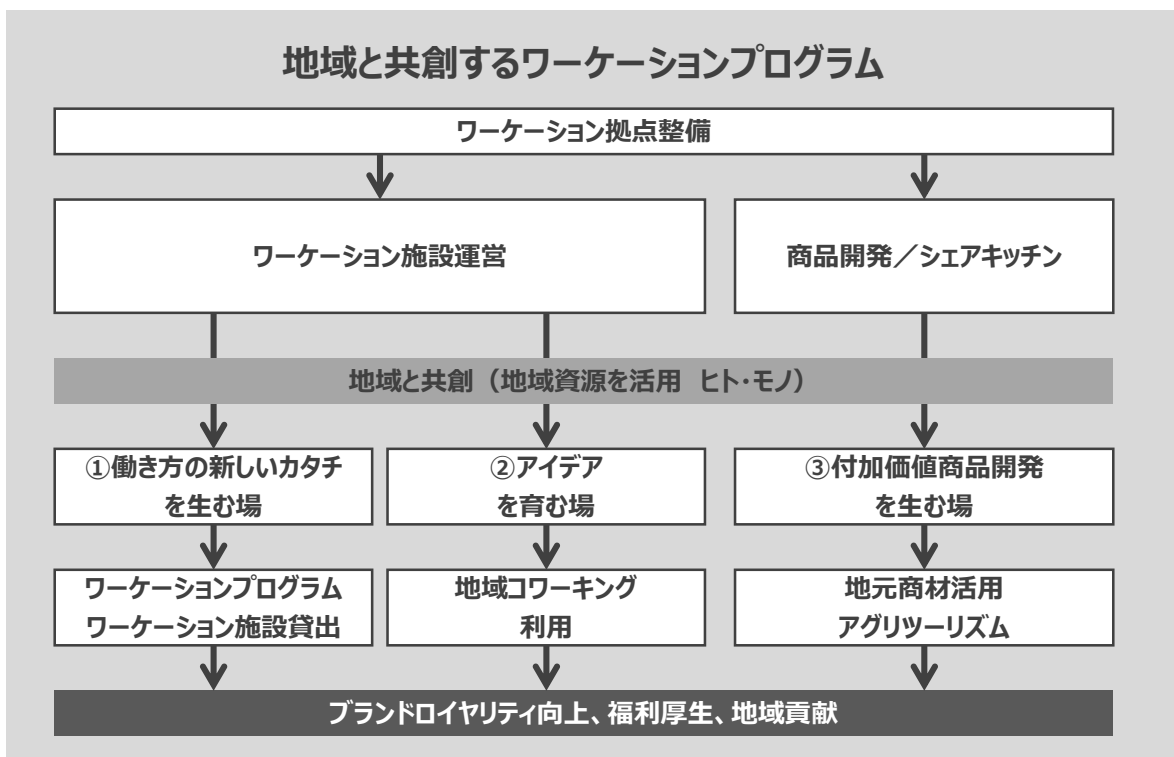
1. 事業者

提案事業者	株式会社文祥堂 【ワーケーション施設全体企画／運営】 1912年創業。ワークスペースのトータルコンサルティングサービス	株式会社空間編集舎 【ワーケーション施設企画／商品開発】 遊休地利活用や商品リブランディングのトータルプロデュース
協力事業者	波と風 【コンテンツ企画】 ワークプレイスやワーケーションの企画設計	アトリエサキアン 【施設デザイン／コンテンツ企画】 空間デザイナー。アートパフォーマンスや親子向けのワークショップを開催

2. 事業内容

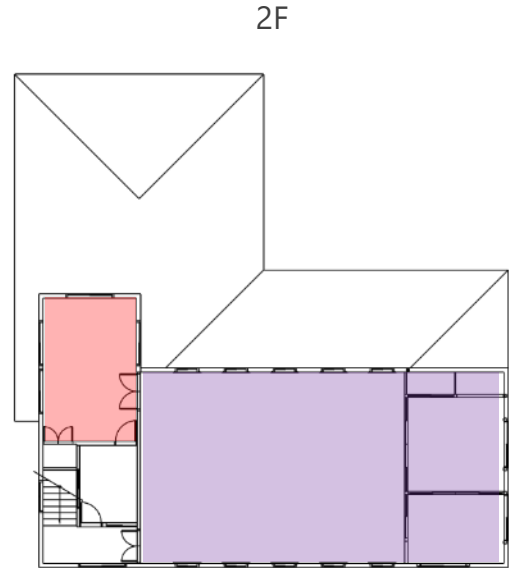
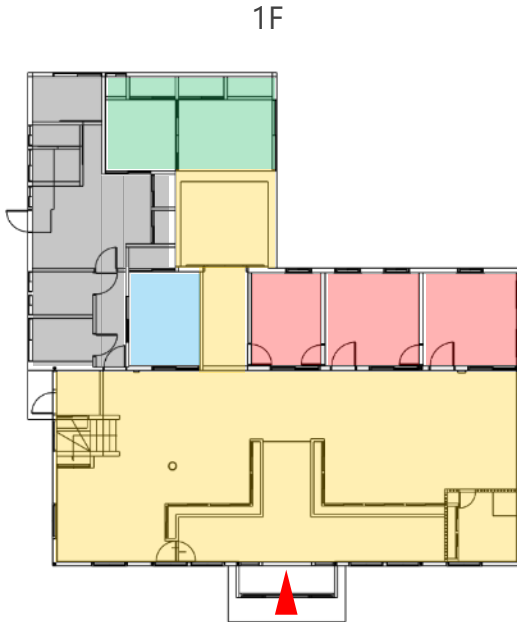
地域の方々に長く愛されてきた旧片浦支所の建屋をリノベーションし、地域と共創しながら下記3つのテーマでワーケーションプログラムを企画する。

①働き方の新しいカタチを生む場	様々な体験型プログラムを展開して、ワーケーションを体験出来る場を提供。
②アイデアを育む場	コワーキングスペースにて、地域の方や東京などから来られる方に利用頂き様々な交流の中でアイデアを育める場を提供。
③付加価値商品開発を生む場	アグリツーリズムを通して、地域の特産である柑橘類を使い新たな商品開発を生む場を提供。



旧片浦支所「地域と共創するワーケーションプロジェクト」

3. 建物利用イメージ



コワーキングスペース

“交流”を主体としたワークエリア。利用者の為のコピー機やロッカーも配置予定。

ゲストハウス

最大2名までが宿泊可能な機能を有したゲストハウスエリア。

キッチンスペース

商品開発を行う為のキッチンスペース。カフェやシェアキッチンとしての利用も運用を検討中。

レンタルオフィス

法人への賃貸契約による専有エリア。契約単位（月・年）は検討中。

コワーキング、レンタル、イベントスペース

1Fと同様のワークエリアの他、プログラムでの利用やレンタルスペースとして貸し出すなど多目的利用を想定。

共有スペース

トイレやシャワー室、キッチンなど施設利用者が共有で使えるエリア。

(仮称) 公共施設包括管理業務委託の事業化に向けた サウンディング型市場調査の結果について

1 調査の目的

本事業については、市有施設の管理における業務水準の向上や、維持修繕工事の優先度付けのための点検データの集積を主な目的として、再事業化に向け検討を進めている。

その一環として、改めて対象とする施設や業務、契約期間などについて、民間事業者の意向を十分に把握するため、事業化に向けたサウンディング型市場調査を実施した。

2 スケジュール

実施要領の公表	令和3年(2021年)9月21日(火)
参加申込受付期間	公表の日～令和3年(2021年)10月8日(金)
サウンディング実施期間	令和3年(2021年)10月11日(月)～14日(木)

3 参加事業者

10者(市外事業者6者、市内事業者4者)

4 調査結果概要

別紙参考資料5-1「小田原市公共施設包括管理業務委託の事業化に向けたサウンディング型市場調査の結果」のとおり

5 今後の予定

令和4年(2022年)2月	令和4年度当初予算計上 (委託料(債務負担行為)、審査委員謝礼等)
4月頃	公募に向けたサウンディング調査
6月頃	公募型プロポーザル実施要領の公表・施設見学
9月頃	審査
10月以降	詳細協議、契約締結
令和5年(2023年)4月以降	包括管理業務開始

(仮称) 小田原市公共施設包括管理業務委託の事業化に向けた サウンディング型市場調査の結果

1 サウンディングへの参加理由について

- ・ 同種業務での受託実績があるため。
- ・ 地域貢献も含めて、地元の事は地元でまとめたいという思いから参加した。
- ・ データを保全サイクルに生かすことに共感したため。
- ・ 対面で目的がはっきりしているため。
- ・ 本事業について理解を深めるため。
- ・ 地域にとって必要な事業と理解したため。
- ・ 市の方針をヒアリングし、事業参画の可能性を検討したいため。
- ・ 自社物件に対し同様の作業をしており、市の期待に応えられると思ったため。

2 サウンディング対象施設一覧【別紙1】に示した対象施設（案1・案2）について

【事業への参加可能性】

- ・ 自社に既にある体制を活用し十分参加可能。

【案1（93施設）のメリット】

- ・ 施設が多い方が一元化の効果が大きい。（複数者から回答あり）
- ・ 費用の削減や市の職員がコア業務へ集中するには多い方がメリットがある。
- ・ 案1でも案2でも窓口に配置する人数は変わらない。施設数が少ないと人件費が嵩み、付加価値提案に限られる。施設数は多い方が良い。

【案2（48施設）のメリット】

- ・ 案1は前回規模で大手限定となるのではないかと。案2のように施設を限定すれば、多様な事業者の参加が可能で市場性が高まるのではないかと。

【市場性の有無】

- ・ 案1・案2とも市場性は十分にある。（複数者から回答あり）
- ・ マネジメント経費、リスク分担、スケジュールを見て判断したい。
- ・ 前回の公募から見直した点を明らかにして欲しい。包括は地元への配慮当然だが、こういった仕組みで地元を配慮するのか示して欲しい。それが明らかにならないと、参加しにくい。
- ・ 包括を通じ付加価値提案が様々できる可能性がある。
- ・ 複数年契約のため、戦略的なマネジメントを提案できる。

- ・ 現行の地元事業者が市との直接契約でなくなることや、職員の施設への関心の低下は懸念材料である。

【履行期間】

- ・ 5年が妥当（複数者から回答あり）
- ・ 5年以上（複数者から回答あり）
- ・ 5年～6年

【採算性の高い施設】

- ・ 学校に特化すると様々な付加価値提案ができるため魅力的。
- ・ 中央監視に常駐者のいる施設。
- ・ 継続性を担保するには行政にメリットがないと意味がない。仕様や金額も決まっています採算性の良い施設は言い難い。
- ・ 事業がやりやすいのは庁舎。拠点を作りやすい。

【事業費の考え方】

- ・ 現場の人員体制と人工の積み上げ、点検等の委託のボリュームや契約数等による。（複数者から回答あり）
- ・ 事務所貸与の有無を示して欲しい。
- ・ 建築基準法第12条点検^{*}の費用とマネジメント経費は一緒にせず別で考えて欲しい。
- ・ 落札金額ではなく予算額ベースの積み上げや落札率考慮を検討してほしい。
- ・ 各社が持っている建物保全システムの扱いをどう考えるか示したほうが良い。
- ・ 最低賃金上がっている。人件費上昇分や物価変動を考慮して欲しい。

【市内業者の受注機会の確保及び地域経済循環への配慮】

- ・ 市内で発注しているものは引き続き市内が基本。（複数者から回答あり）
- ・ 市内業者を最優先し、市外の発注は市内に切り替えたい。（複数者から回答あり）
- ・ 大手は必ずダンピングがある。地元であればどこかで顔を合わす機会もありやらない。
- ・ 過去の経緯から説明を尽くすことが重要。
- ・ 現業者には説明会の実施やヒアリングなど実施する。地元企業をどう活かし育成するかが重要な事業。資金が他市に出ない様心がけている。
- ・ 当社はマネジメントに専念、実際の点検等は地元企業が行う。マネジメント会社が地元の業務を取り上げるのではない。
- ・ 市内業者には当社が包括に入るメリットを感じられるようにしたい。民間の他物件

の依頼など検討したい。

- ・ 現行の市内業者に委託している対象業務、発注額を保証する必要があるのではないか。

3 サウンディング対象業務一覧【別紙2】に示した対象業務（案1・案2）について

【追加業務全般】

- ・ 追加業務について対象とすることは特に問題がない。（複数者から回答あり）
- ・ 給食センター関係は、衛生面への配慮から特殊性がある。調理器具や窯の点検は包括の対象業務から外し調理委託などに含めたほうが良いのではないか。
- ・ 電気工作物は法令上、施設所有者と実務実施者での直接契約が必要なので注意した方が良い。

【修繕】

- ・ 前回の公募でもマネジメント経費に含んでいた、タッチアップ等の軽微な修繕を今回も含むべき。
- ・ 少額の修繕でも日が経つにつれ悪化するので、できるだけ早く修繕した方が良い。

【学校用務業務】

- ・ 学校用務業務を対象とすることは前向きにとらえている。（複数者から回答あり）
- ・ 学校用務業務など直接人件費の占める割合の多い業務は、最低賃金が全国一律上昇傾向のため、市とのリスク分担を考える必要があり、公募の際に協議事項として残してほしい。

【巡回点検時の草刈り・樹木管理】

- ・ 頻度とボリュームによるが許容範囲である。（複数者から回答あり）
- ・ 巡回点検に草刈りを重ねることは負担が大きいのではないか。そろそろ切り時かという判断はできる。

4 履行体制及びリスク分担について

【常駐スペースについて】

- ・ 庁舎内に事務所貸与、駐車場の貸与があると良い。光熱水費の負担などのリスク分担の取り決めが必要。（複数者から回答あり）
- ・ 庁舎内には不要。庁舎外に24時間体制の詰所を設置する。

- ・ 自社のスペースが活用できるため、庁舎内には不要。

【リスク分担】

- ・ 過度な物価変動や自然災害等の不可抗力についてはリスク分担を明示してほしい。
- ・ リスクも含めて、受けた範囲を正常に管理するが、投資的要素があるものや、大規模な修繕は所有者である市にやってもらいたい。

【再委託先の受注額の妥当性の検証】

- ・ 現行の委託額がベース。自社基準に照らし合わせ、内容や金額の妥当性は判断できる。（複数者から回答あり）
- ・ 再委託先への委託額を開示すべき。（複数者から回答あり）
- ・ 実際に受注している業者のため、仕様や金額の妥当性の検証は可能。

【仕様書の内容の妥当性の検証】

- ・ 自社の実績から検証可能。（複数者から回答あり）
- ・ 詳細協議の中で統一する。
- ・ 仕様書の検証は是非やりたい。横断的に見られる良い機会である。
- ・ 作業に立ち会い見極めたい。

5 建物管理システムを市で実装することについて

- ・ 問題なし（複数者から回答あり）
- ・ 公募の際、何のシステムを入れるか、どう運用して欲しいのか仕様書に示してほしい。（複数者から回答あり）
- ・ 市が実装するとして、市と事業者双方がアクセスでき、データを入れることも引き出すこともできると良い。

6 事前準備期間について

- ・ 詳細協議は半年は必要。（複数者から回答あり）
- ・ 早い段階で仮契約を結び準備したい。（複数者から回答あり）
- ・ 他との調整が必要。スキルアップやレベル強化に向け勉強会を頻繁に開催したい。

7 業務効果を最大限にするための手法や付加価値として提案可能な業務について

- ・ 公表なし

8 提案募集時に市から提示してほしい資料やその他要望について

- ・過去3年分の委託業務実績【件名、委託先、発注金額】（複数者から回答あり）
- ・過去3年分の小修繕実績【件名、発注先、発注金額】（複数者から回答あり）
- ・委託先の市内・市外の分け（複数者から回答あり）
- ・対象施設の基本情報【規模、築年数、図面】（複数者から回答あり）
- ・審査基準、価格点の計算式がわかる資料（複数者から回答あり）
- ・複数年契約ならば包括参入のタイミング（複数者から回答あり）
- ・事業者選定プロセス、具体的な審査基準、選定委員の構成（複数者から回答あり）
- ・現行業務の仕様書、仕様書が無ければ見積書の項目（複数者から回答あり）
- ・大規模改修や再編の予定（複数者から回答あり）
- ・契約金額ではなく予算額（複数者から回答あり）
- ・平均落札率
- ・設備のメーカー名、機種品番、設置台数、容量等
- ・作業報告書
- ・点検データ
- ・光熱水費のデータ
- ・どのくらい緊急で呼ばれるのか、その実績が把握できていれば知りたい。
- ・前回と同様の現地調査をしたい。古い学校を見学したい。
- ・職員の業務フロー
- ・PDF ファイルデータではなく、Excel データでの資料提供

9 その他小田原市公共施設包括管理業務委託の事業化に関すること

- ・公募でコンソーシアムを組んで出てきた構成企業が次点以下となった場合、その企業を再委託先として契約することを制限しないでほしい。
- ・小田原市公共施設包括管理業務については ALL 小田原のチームでできる。
- ・昨年度から運用開始している「民間提案制度」は包括と相性がよい。参加資格の拡大の見通しが知りたい。
- ・建築基準法第12条点検※を現行の市内業者へ再委託することは問題ない。
- ・本店が近くないとダメという縛りなどあれば明示してほしい。
- ・地元を大事にした公募にしてほしい。
- ・市内 PPP 事業に関する実績を考慮してほしい。

- ・他市でも事例があるが、エリアで分割して2業者を入れるという案もあるのではないかな。
- ・130万以下の修繕まで含めると、包括のメリットがより出るのではないかな。
- ・前回の経緯から地元優遇の公募となるのではないかな。地元企業様の強みを活かした上で役割を持ち対等な立場で関わると良い。
- ・債務負担行為を得た上で公募してほしい。
- ・関係各所（庁内、市議会、地元事業者）の十分な合意を得た上で公募してほしい。

※建築基準法第12条点検

建築基準法第12条第2項及び第4項に定める法定点検であり、国等の建築物のうち一定の用途及び規模要件のもの敷地及び構造については3年ごとに、これらの建築物における昇降機以外の建築設備、防火設備については1年ごとに、一級建築士等の有資格者に、損傷、腐食その他の劣化の状況を点検させなければならない。

【別紙1】◆サウンディング対象施設一覧

(案1) 93施設全て (案2) 48施設 ※93施設から網掛けの施設を除いたもの

No.	施設名称	管理番号 (白書)	所在地	所管課	竣工年	構造・階数			面積(m ²)		複合施設	
						構造	地上	地下	延床面積	敷地面積		
1	市役所本庁舎	20001	荻窪300番地	管財課	1976年	鉄骨鉄筋コンクリート造	7	-	23,463.0	23,768.4	荻窪出張所を併設	
2	市民集会施設	①下府中市民集会施設	100002	鴨宮555番地	地域政策課	1960年	木造・鉄骨造	2	-	544.7	809.3	
3		②下曽我市民集会施設	100003	曾我原147番地	地域政策課	1955年	木造	2	-	631.0	809.3	
4		③豊川市民集会施設	100004	成田477番地の1	地域政策課	1954年	木造	1	-	371.0	1,641.7	
5	前羽福祉館	180001	前川391番地	福祉政策課	1970年	鉄筋コンクリート造	3	-	467.5	2,413.0		
6	下中老人憩の家	190001	小船672番地	福祉政策課	1996年	軽量鉄骨造	2	-	257.0	332.9		
7	生きがいふれあいセンターいそしぎ	200001	酒匂二丁目32番15号	福祉政策課	1992年	鉄骨鉄筋コンクリート造	3	1	5,312.0	6,835.8	※敷地面積は「保健センター」と合算	
8	保育所	①下曽我保育園	210001	曾我原347番地	保育課	1984年	鉄筋コンクリート造	2	-	676.0	2,861.6	
9		②曾我保育園	210003	下大井104番地	保育課	1997年	軽量鉄骨造	1	-	320.0	1,053.1	
10		③早川保育園	210004	早川二丁目3番地の13	保育課	1978年	鉄筋コンクリート造	2	-	753.0	1,353.2	
11		④豊川保育園	210006	成田654番地の5	保育課	1987年	鉄筋コンクリート造	2	-	589.0	1,872.7	
12		⑤桜井保育園	210008	曾比2,153番地の2	保育課	1982年	鉄筋コンクリート造	2	1	823.0	1,463.2	
13	保健センター	270001	酒匂二丁目32番16号	健康づくり課	1988年	鉄骨鉄筋コンクリート造	4	1	5,924.1	6,835.8	※敷地面積は「生きがいふれあいセンターいそしぎ」と合算	
14	久野霊園	430001	久野4,859番地の7	みどり公園課	1990年	鉄筋コンクリート造	2	-	220.9	133,544.0		
15	市営住宅	①蓮正寺住宅	440001	蓮正寺821番地	建築課	1978年	プレキャストコンクリート造	5	-	7,971.2	16,568.1	
16		②橘住宅	440003	中村原708番地	建築課	1972年	鉄筋コンクリート造	4	-	1,447.6	1,719.1	
17		③蛸田住宅	440004	蓮正寺528番地	建築課	1971年	鉄筋コンクリート造	5	-	17,503.0	19,787.8	
18		④かすみのみせ住宅	440005	蓮正寺647番地	建築課	1981年	プレキャストコンクリート造	5	-	7,557.0	10,825.8	
19		⑤霞田住宅	440006	蓮正寺602番地	建築課	1976年	プレキャストコンクリート造	5	-	5,374.3	6,523.2	
20		⑥浜住宅	440007	酒匂三丁目16番21号	建築課	1981年	プレキャストコンクリート造	5	-	5,156.9	10,112.3	
21		⑦谷津住宅	440008	城山二丁目9番1号、2号及び3号	建築課	1959年	鉄筋コンクリート造	4	-	1,180.4	3,305.8	
22		⑧柳町住宅	440011	栢山1,046番地	建築課	1986年	プレキャストコンクリート造	4	-	9,004.1	11,729.6	
23		⑨久野住宅	440013	久野677番地	建築課	1964年	鉄筋コンクリート造	4	-	2,473.6	2,755.3	
24		⑩浅原住宅	440014	曾比3,200番地	建築課	1990年	プレキャストコンクリート造	5	-	5,439.4	6,719.6	
25		⑪早川住宅	440020	早川三丁目17番2号	建築課	1969年	鉄筋コンクリート造	4	-	723.6	1,179.0	
26	⑫東町住宅	440021	東町一丁目6番16号	建築課	1981年	プレキャストコンクリート造	3	-	933.2	1,518.0		
27	消防本部・消防署	①消防本部庁舎(小田原消防署含む)	490001	前川183番地の18	消防総務課	1994年	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)	3	-	4,289.5	3,779.1	
28		②南町分署	490002	南町一丁目9番36号	消防総務課	2006年	鉄筋コンクリート造	4	-	1,411.0	886.3	消防団待機機舎(60m)を併設
29		③栢山出張所	490005	栢山3,017番地の2	消防総務課	1988年	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)	2	-	814.3	1,365.2	
30		④成田出張所	-	成田923番2	消防総務課	2021年	鉄筋コンクリート造	2	-	1,116.2	1,480.0	令和3年2月供用開始
31		⑤足柄消防署	490007	南足柄市怒田40番地1	消防総務課	1972年	鉄筋コンクリート造	3	1	1,448.1	3,719.3	
32		⑥松田分署	490008	松田町松田総領2073番地	消防総務課	1972年	鉄筋コンクリート造	2	-	1,098.5	895.0	
33		⑦岡本出張所	490009	南足柄市岩原1025番地5	消防総務課	2020年	鉄筋コンクリート造	2	-	654.1	1,130.0	令和2年11月新庁舎供用開始
34		⑧山北出張所	490010	山北町山北2056番地1	消防総務課	1975年	鉄筋コンクリート造	2	-	331.4	655.5	
35		⑨中井出張所	490011	中井町雑色120番地1	消防総務課	2011年	鉄筋コンクリート造	1	-	330.1	1,311.0	
36	小学校	①三の丸小学校	510001	本町一丁目12番49号	学校安全課	1995年	鉄筋コンクリート造	4	-	9,599.0	12,716.0	
37		②新玉小学校	510002	浜町二丁目1番20号	学校安全課	1965年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	3	0	5,539.0	12,346.1	
38		③足柄小学校	510003	扇町三丁目21番7号	学校安全課	1972年	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)	3	-	6,929.0	11,544.0	
39		④芦子小学校	510004	扇町一丁目37番7号	学校安全課	1968年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	-	8,291.0	12,195.0	
40		⑤大窪小学校	510005	板橋985番地	学校安全課	1994年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	-	7,470.0	22,516.6	
41		⑥早川小学校	510006	早川二丁目14番1号	学校安全課	1964年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	3	-	4,336.0	12,433.0	
42		⑦山王小学校	510007	東町二丁目9番1号	学校安全課	1970年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	-	4,508.0	8,926.0	
43		⑧久野小学校	510008	久野1561番地	学校安全課	1974年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	-	4,528.0	11,197.6	
44		⑨富水小学校	510009	飯田岡481番地	学校安全課	1966年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	3	-	9,616.0	17,284.0	

No.	施設名称	管理番号 (白書)	所在地	所管課	竣工年	構造・階数			面積(m ²)		複合施設	
						構造	地上	地下	延床面積	敷地面積		
45	㊹町田小学校	510010	寿町二丁目7番25号	学校安全課	1967年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	5,416.0	11,081.9		
46	㊺下府中小学校	510011	酒匂930番地	学校安全課	1978年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	7,546.0	13,408.0		
47	㊻桜井小学校	510012	曾比1943番地	学校安全課	1967年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	7,623.0	13,926.0		
48	㊼千代小学校	510013	千代687番地	学校安全課	1970年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	3	—	5,677.0	12,647.8		
49	㊽下曾我小学校	510014	曾我原333番地	学校安全課	1989年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	5,928.0	14,640.3		
50	㊾国府津小学校	510015	国府津2485番地	学校安全課	1969年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	3	—	7,944.0	17,890.0	国府津学校給食共同調理場を併設	
51	㊿酒匂小学校	510016	酒匂五丁目15番3号	学校安全課	1973年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	7,658.0	16,958.0		
52	①片浦小学校	510017	根府川534番地	学校安全課	1982年	鉄骨造	4	—	3,957.0	10,216.0		
53	②曾我小学校	510018	曾我大沢69番地	学校安全課	1975年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	4,691.0	11,833.4		
54	③東富水小学校	510019	中曽根359番地	学校安全課	1970年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	4	—	7,048.0	12,810.0		
55	④前羽小学校	510020	前川858番地	学校安全課	1986年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	5,150.0	9,714.0		
56	⑤下中小学校	510021	小船178番地	学校安全課	1982年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	3	—	6,579.0	15,143.0	下中学校給食共同調理場を併設	
57	⑥矢作小学校	510022	矢作227番地	学校安全課	1973年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	3	—	6,877.0	14,151.0		
58	⑦報徳小学校	510023	小台405番地	学校安全課	1977年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	5,830.0	16,935.0		
59	⑧豊川小学校	510024	成田530番地の1	学校安全課	1983年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	6,722.0	20,267.0	豊川学校給食共同調理場を併設	
60	⑨富士見小学校	510025	南鴨宮三丁目25番1号	学校安全課	1984年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	4	—	7,811.0	16,672.0		
61	中学校	①城山中学校	520001	城山三丁目4番1号	学校安全課	1971年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	8,478.0	19,503.0	
62		②白鷗中学校	520002	東町四丁目13番1号	学校安全課	1960年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	4	—	6,528.0	18,636.0	
63		③白山中学校	520003	扇町五丁目7番17号	学校安全課	1956年	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	3	—	9,445.0	26,883.9	
64		④城南中学校	520004	板橋875番地	学校安全課	1962年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	3	—	3,832.0	25,948.0	
65		⑤鴨宮中学校	520005	鴨宮547番地	学校安全課	1961年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	3	—	7,622.0	16,395.0	
66		⑥千代中学校	520006	千代800番地	学校安全課	1979年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	4	—	7,283.0	16,820.7	
67		⑦国府津中学校	520007	国府津2372番地	学校安全課	1980年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	4	—	5,714.0	14,636.0	
68		⑧酒匂中学校	520008	酒匂三丁目4番1号	学校安全課	1982年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	4	—	9,277.0	42,509.0	
69		⑨泉中学校	520010	飯田岡22番地	学校安全課	1967年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	3	—	7,035.0	19,147.0	
70		⑩橘中学校	520011	羽根尾410番地	学校安全課	1967年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	4	—	5,189.0	13,062.9	
71		⑪城北中学校	520012	栢山2888番地	学校安全課	1975年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	4	—	8,226.0	19,380.0	
72	幼稚園	①酒匂幼稚園	530001	酒匂六丁目8番26号	学校安全課	1973年	鉄筋コンクリート造	2	—	1,319.0	2,219.0	
73		②東富水幼稚園	530002	中曽根355番地の5	学校安全課	1971年	鉄筋コンクリート造	2	—	823.0	1,758.0	
74		③前羽幼稚園	530003	前川510番地	学校安全課	1972年	鉄骨造	2	—	523.0	936.0	
75		④下中幼稚園	530004	小船174番地の1	学校安全課	1978年	鉄筋コンクリート造	2	—	1,005.0	2,148.0	
76		⑤矢作幼稚園	530005	矢作231番地	学校安全課	1974年	鉄筋コンクリート造	2	—	888.0	2,135.0	
77		⑥報徳幼稚園	530006	柳新田129番地の3	学校安全課	1978年	鉄筋コンクリート造	2	—	635.0	2,225.0	
78	学校給食センター		540001	飯泉1,248番地	学校安全課	1972年	鉄筋コンクリート造	2	—	1,503.5	3,105.6	
79	学校給食共同調理場	①豊川学校給食共同調理場	550001	成田530番地の1	学校安全課	1983年	鉄骨鉄筋コンクリート造	1	—	594.3	599.0	豊川小学校地内
80		②国府津学校給食共同調理場	550002	国府津2,485番地	学校安全課	1987年	鉄骨鉄筋コンクリート造	4	—	728.0	680.7	国府津小学校地内
81		③橘学校給食共同調理場	550003	小船178番地	学校安全課	1982年	鉄筋コンクリート造	2	—	446.2	339.0	下中学校地内
82	生涯学習センター	①本館 (けやき)	560001	荻窪300番地	生涯学習課	1980年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	4	—	4,521.9	3,629.6	
83		②国府津学習館	560002	国府津2,485番地の1	生涯学習課	1978年	鉄筋コンクリート造	2	—	505.3	1,004.8	
84	尊徳記念館		570001	栢山2,065番地の1	生涯学習課	1988年	鉄骨鉄筋コンクリート造	3	1	3,912.4	4,215.3	
85	小田原市集会所		580001	酒匂四丁目4番21号	生涯学習課	1986年	木造	1	—	132.5	458.3	
86	郷土文化館	①郷土文化館	590001	城内7番8号 (城址公園内)	生涯学習課	1945年	木造	2	—	1,111.6	1,298.0	
87		② (分館) 松永記念館	590002	板橋941番地の1	生涯学習課	1959年	鉄筋コンクリート造 (一部木造)	2	—	641.4	3,428.6	
88		③老樗荘	590003	板橋 5 1 3 - 7	生涯学習課	1946年	木造	1	—	175.4	2,366.4	
89	御幸の浜プール		660001	本町三丁目15番15号	スポーツ課	1970年	鉄骨鉄筋コンクリート造	2	—	539.6	4,052.0	
90	小田原市立中央図書館 (かもめ図書館)	710002	南鴨宮一丁目5番30号	図書館	1994年	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)	3	—	5,657.2	9,112.1		

No.	施設名称	管理番号 (白書)	所在地	所管課	竣工年	構造・階数			面積(m ²)		複合施設
						構造	地上	地下	延床面積	敷地面積	
91	文学館（白秋童謡館、尾崎一雄邸含む）	720001	南町二丁目3番4号	図書館	1937年	鉄筋コンクリート造（一部木造）	3	－	625.0	6,120.7	
92	酒匂川防災ステーション	830001	寿町五丁目22番32号	道水路整備課	2010年	鉄骨造	1	－	242.9	4,945.7	
93	おだわら子ども若者教育支援センター	860001	久野195番地の1	子育て政策課	1993年	鉄筋コンクリート造	4	－	2,589.0	1,309.4	

NO	施設名称	管理番号 (施設ID)	電気工作物	消防用設備・ 防火設備	消火器等 点検	自家発	空調設備	環境衛生 管理	ボイラー	EVDW	自動ドア	高架水槽 ・受水槽	高架水槽 用 ポンプ	浄化槽	グリス トラップ	ガスバー ナー	給食設備 機器冷媒 運油	遊具点検	プール 循環ろ過	機械警備	防鼠・害 虫	12条点検	総合管理・設 備運転 保守	清掃	受付・ 人的警備	その他
72	幼稚園	①酒匂幼稚園		○	○													○		○	○					汚水ポンプ等保守点検
73		②東高水幼稚園		○	○													○		○	○					
74		③前羽幼稚園		○	○													○		○	○					
75		④下中幼稚園		○	○							○	○					○		○	○					
76		⑤矢作幼稚園		○	○									○				○		○	○					
77		⑥報徳幼稚園		○	○									○				○		○	○					
78	学校給食センター	540001	○	○			○		○			○			○	○	○			○	○			○		食器具類衛生検査業務、学校給食用コンベクションオープン保守点検、灯油タンク漏洩検査及び循環式清掃業務、圧力容器検査業務
79	学校給食共同調理場	①豊川学校給食共同調理場										○			○	○	○			○	○			○		換気扇等清掃業務、真空式温水器総合点検業務、食器具類衛生検査業務、膨張タンク清掃・水質検査業務
80		②国府津学校給食共同調理場							○			○			○	○	○			○	○			○		食器具類衛生検査業務、膨張タンク清掃・水質検査業務、換気扇等清掃業務
81		③橋学校給食共同調理場										○			○	○	○			○	○			○		食器具類衛生検査業務、プロパン気化器定期保守点検、膨張タンク清掃・水質検査業務、換気扇等清掃業務
82	生涯学習センター	①本館（けやき）	○	○			○		○	○										○		○	○	○	非常用直流電源装置保守点検業務、電気設備高圧側点検業務、防火シャッター保守点検業務	
83		②国府津学習館	○	○							○									○		○	○	○		
84	尊徳記念館	570001	○	○		○	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○	ガス緊急遮断弁点検整備、直流電源装置保守点検、防火対象物定期点検、中央監視装置保守点検
85	小田原市集会所	580001		○																						
86	郷土文化館	①郷土文化館		○																○		○		○		
87		②（分館）松永記念館	○	○						○																
88		③老樺荘																								
89	御幸の浜プール	660001	○																○			○		○		水質検査
90	小田原市立中央図書館（かもめ図書館）	710002	○	○			○	○		○	○									○		○		○		直流電源装置保守点検業務、冷水機保守点検業務、
91	文学館（白秋童謡館、尾崎一雄邸含む）	720001		○																○		○		○		
92	酒匂川防災ステーション	830001	○	○		○					○															
93	おだわら子ども若者教育支援センター	860001		○						○		○								○				○		電気設備高圧側点検業務

デジタル化によるまちづくり推進事業等の進捗状況について

1 AIチャットボット（自動会話プログラム）システムの導入について

プロポーザルによる事業者募集をしたところ4事業者から参加申込みがあり、日本電気株式会社を優先交渉権者と決定し、契約を締結した。

選定のポイントは、運用のフォロー体制や職員への負担軽減策、本市が求める音声入力、価格などが優れていたことである。

今後は、既に導入済の新型コロナウイルス感染症関連に市ホームページに公開されている「よくある質問と回答」の情報等に加え令和3年（2021年）12月に本稼働する。その後、利用者の満足度を上げるべく内容を充実させる。利用方法については、令和3年（2021年）12月の広報紙等で周知する。

（参考）AIチャットボット導入業務に係る企画提案における審査結果

項目番号	評価項目	1次審査					2次審査			
		配点	A社	B社	C社	D社	配点	A社	B社	C社
1	提出書類	50	39.0	40.0	41.0	36.0				
2	システム機能	75	63.0	58.5	57.0	58.5	50	40.0	40.0	38.0
3	データ作成・検証・管理	50	41.0	36.0	35.0	37.0	25	19.0	19.0	18.0
4	操作性	50	40.0	39.0	35.0	40.0	25	18.0	22.0	19.0
5	運用・保守	75	67.5	57.0	48.0	51.0	50	36.0	42.0	36.0
6	全体として優れている点及び将来性	50	39.0	37.0	31.0	35.0	50	36.0	40.0	34.0
7	提案価格	70	47.7	54.5	64.8	70.0	70	51.6	59.0	70.0
8	参考価格	30	13.6	22.2	30.0	11.3	30	13.6	22.2	30.0
9	プレゼンテーションの評価						200	152.0	156.0	146.0
総合評価点		450	350.8	344.2	341.8	338.8	500	366.2	400.2	391.0

2 スーパーシティ規制改革などの再提案について

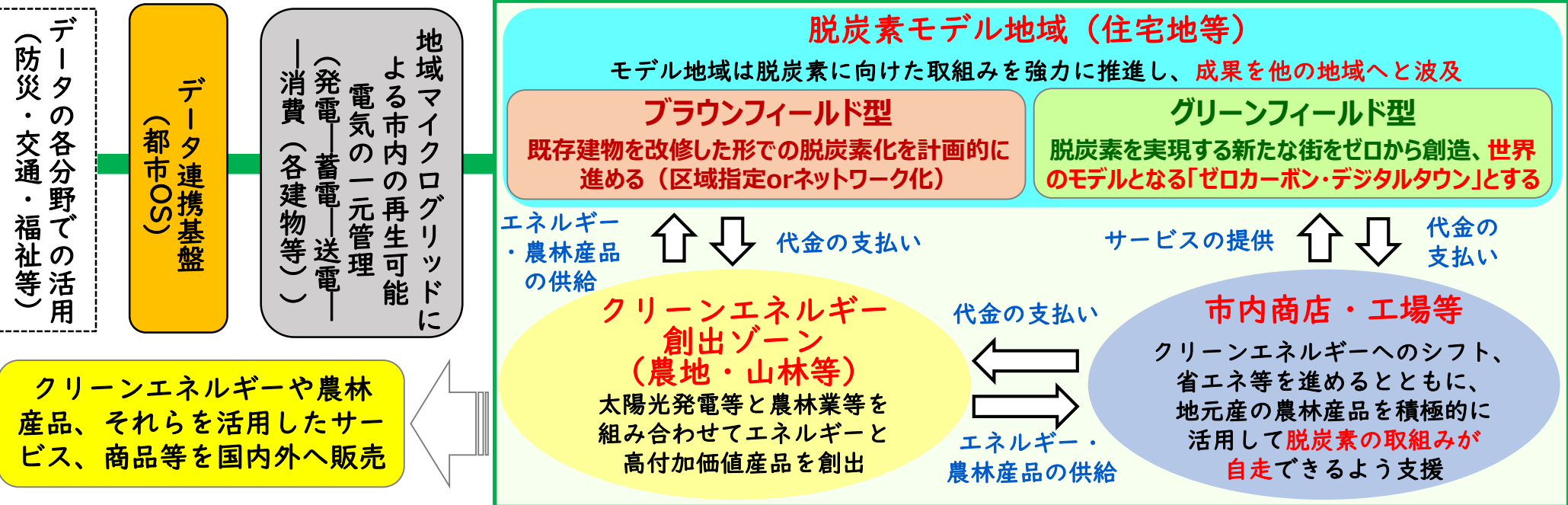
スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する公募について、令和3年（2021年）4月16日に提出したが、令和3年（2021年）8月24日付内閣府通知「スーパーシティに関する規制改革などの再提案の募集等について」において大胆な規制改革などの再提案の検討を求められた。

本市として地域課題を解決し、発展へとつながる提案として、「脱炭素」と「地産地消を軸としたエネルギーと経済の地域好循環」を達成するために「脱炭素モデル地域」を構築することを中心とした再提案をとりまとめ、令和3年（2021年）10月15日に提出した。（参考資料6－1参照）

クリーン&スマート城下町“ODAWARA”計画 (イメージ)

～ デジタル技術と規制改革を活用し、産学金官で連携して「脱炭素」と「エネルギーと経済の地域好循環」を実現 ～
<スーパーシティ & 脱炭素先行地域 & デジタル田園都市国家構想の先駆けを目指す>

<目標> 市内に「脱炭素モデル地域」を構築。同地域では**2030年まで**(※1)に、本市全域でも遅くとも**2050年までに、脱炭素**(※2)と地産地消を軸とした**エネルギーと経済の地域好循環**を達成。成果(培った技術や知見等)は市の内外へ横展開する。(※1) 可能となったサービスや規制改革は速やかに実装へ (※2) 民生部門の温室効果ガス排出実質ゼロ



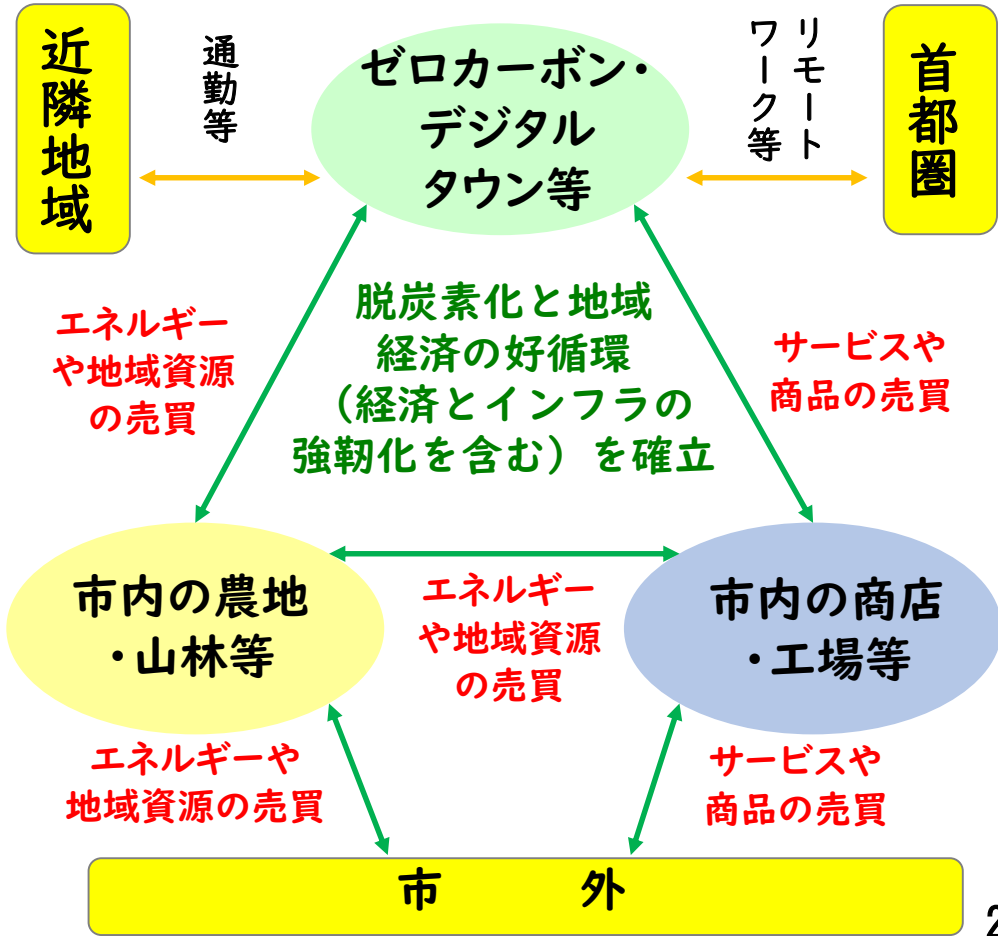
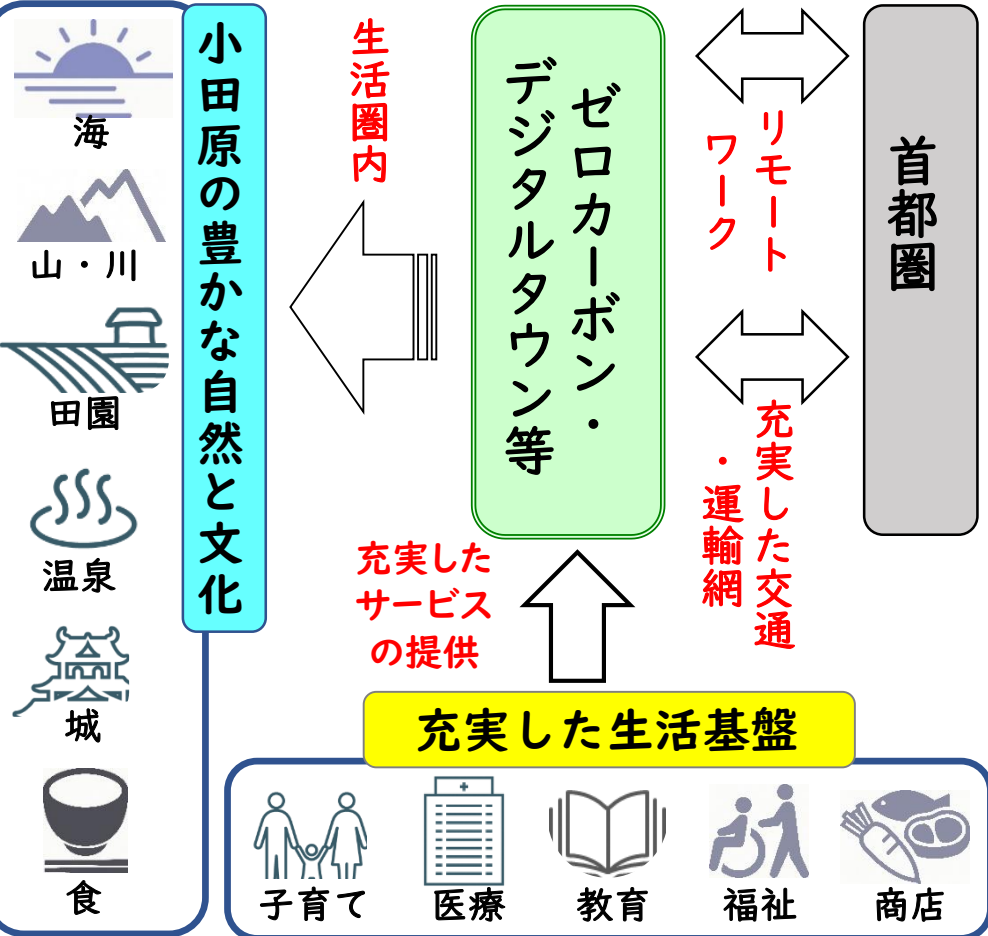
<小田原市の計画の特色 (小田原だからできること) >

- これまで培ってきた市民・企業等の高い環境意識を基に、市街地に「グリーンフィールド型脱炭素モデル地域」として、温室効果ガス排出実質ゼロを目指す数ha規模の街を、産学金官の連携で新規に建設。
- これまで、経済産業省、環境省等と共同で構築してきた地域マイクログリッド、VPP等を活用することにより、市内全域において、再生可能電気を発電-蓄電-送電-消費まで一元管理(個々のソーラーパネルから各家庭に至るまで一元的に管理することが可能)。また、地域マイクログリッド等のデータについて、データ連携基盤(都市OS)を通じて他分野で活用することを可能とする。(例:発電量、蓄電量等のデータを活用して、災害発生時、避難所等にEVで継続的に電力供給を行う。)
- 本計画は「スーパーシティ構想」の一翼として位置づけていることから、規制改革を活用した強力な施策を推進することを可能とする。(建築基準法、都市計画法等の規制改革による脱炭素社会の実現を提案しており、認められれば全国唯一の施策展開が可能となる。)

小田原市が本計画を通じて実現したいこと

1. 自然と文化に彩られた小田原で、リモートワークと充実した交通網を活用しながら、「豊かさ」と「脱炭素化」とを両立させた上質な生活を自分らしく実現できる場として「ゼロカーボン・デジタルタウン」等を構築する。このような取り組みを通じて、わが国のデジタル田園都市国家構想の先駆けとなり、本市の脱炭素化を実現するとともに、コロナ禍以降続いている人口の社会増を加速する。

2. エネルギーと地域資源（農林水産品等）の地産地消及び市外への販売を進めることで、本市の脱炭素化と地域経済の好循環確立との両立を実現する。エネルギーの地産地消を進めることや、再生可能エネルギーに対応した都市を構築することは、本市や近隣地域のエネルギー自給率の向上と災害時のインフラの確保等に有効であり、本市等の経済や災害対応力の強靭性を高める効果もある。

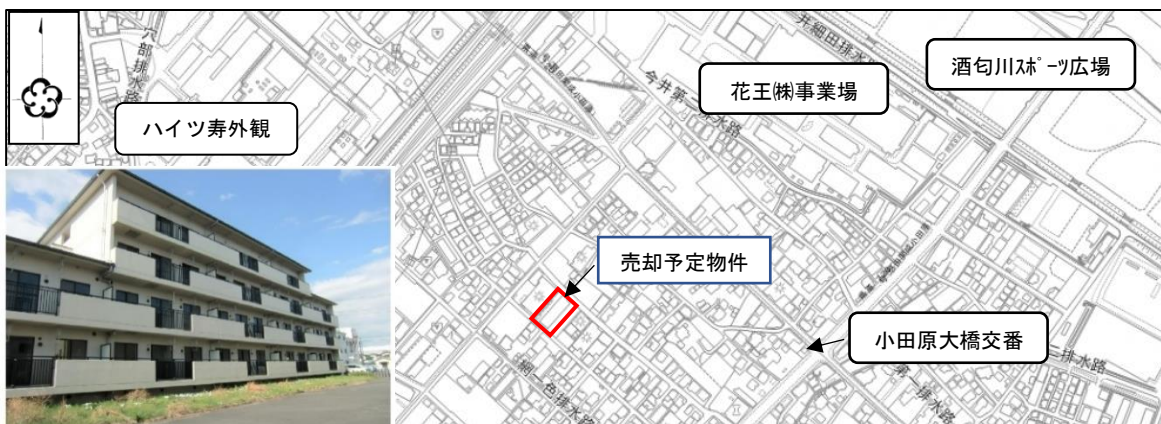


市有財産（ハイツ寿）の売却の再募集について

1 土地及び建物の表示

所在	小田原市寿町四丁目 512 番、513 番		
土地	地目	宅地	地積 1,421.15 m ²
建物	構造	①共同住宅：鉄筋コンクリート造スレート葺4階建 1階 395.46 m ² 2階 395.46 m ² 3階 325.08 m ² 4階 240.18 m ² 面積計 1,356.18 m ²	
		②倉庫：鉄骨造鉄板葺平家建 24.48 m ²	
	延床面積	1,380.66 m ²	建築年月日 平成9年（1997年）9月29日（築24年）

2 位置図



3 前回の募集概要と結果

市有財産（ハイツ寿）の売却について、令和3年（2021年）6月16日（水）から同年6月30日（水）を申込受付期間として、最低売却価格を133,876,200円と設定し、一般競争入札により募集を行ったが、応募件数は0件であった。

4 事業者ヒアリングの実施

- (1) 令和3年（2021年）6月の募集期間中及び現地確認に参加した事業者からは、価格設定に関する意見が寄せられた。
- (2) 再募集に向けた課題を整理するために、令和3年（2021年）9月に不動産事業者との意見交換会を開催し、同様に価格設定に関する意見が多く寄せられた。

5 再募集に向けた考え方

4で寄せられた意見を参考に、不動産鑑定士による最低売却価格の再設定を行う。

6 スケジュール

時期	対応内容
令和3年（2021年）11月	不動産鑑定士による鑑定評価
令和3年（2021年）12月	広報活動・入札案内の配布
令和4年（2022年）1月	入札
2月	売買契約締結
4月	物件引渡し（落札者からの入金確認後）

放置自転車の移動・処分等の事務における通知漏れ事案に係る対応について

1 通知漏れ事案の概要

令和2年度中に移動した放置自転車の一部について、小田原市自転車等の放置防止に関する条例に規定されている所有者への通知を行わないまま、廃棄処分等を行っていた。

本事案に係る対象件数は、次のとおりである。

令和2年度中の放置自転車移動件数	863件
所有者を特定できた件数	362件
所有者に通知書を送付せずに廃棄処分等を行った件数 (令和2年6月、8月及び10月に移動したもの等)	120件

2 所有者への対応

市が通知書を送付せずに廃棄処分等を行った120件の自転車の所有者全てに対し、文書により謝罪するとともに、補償の申出があった所有者に対し、補償を行う。

3 補償の方式

補償の申出があった所有者と、(1)又は(2)の方法により算定した額により示談書を締結し、補償金を支払う。

(1) 市が廃棄処分等を行った自転車の推定再取得額を所有者が立証できる場合は、その額

(2) 市が廃棄処分等を行った自転車の取得額等に使用年数に応じて一定の率を乗じた額

ア 原則として、所有者から取得額及び使用年数に係る挙証書類(領収書、カード利用明細等)を提出していただき、これらを基に算定する。

イ 挙証書類がない場合は、所有者から、取得額や自転車の種別、取得年月日を特定し得る情報を聞き取りし、市がその内容を検証した上で算定する。

ウ 使用年数に応じて取得額等に乗じる率は、次表のとおりとする。

使用年数	取得額に乗じる率
1年未満	100%
1年以上2年未満	80%
2年以上3年未満	60%
3年以上4年未満	40%
4年以上5年未満	20%
5年以上	5%

4 予算

事故賠償金

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 4 諸費 (節) 21 補償補填
及び賠償金

5 今後の予定

時 期	内 容
令和3年 11月中旬～	・所有者への対応 謝罪、補償額の算定、示談書の締結 ・損害賠償に係る市長専決処分
令和4年 3月	・市議会3月定例会 専決処分の報告

持続可能な消防団体制のあり方に関する検討の開始について

1 目的

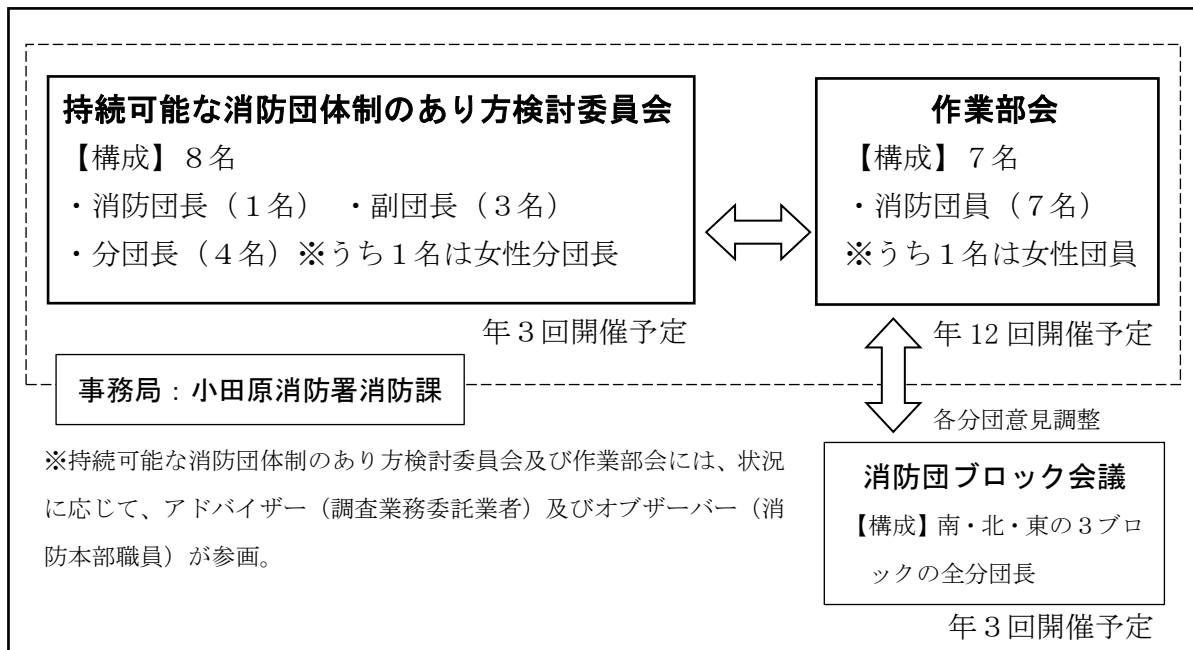
消防団による地域防災力の維持及び向上を図るため、消防団が抱える様々な課題を整理するとともに、将来の小田原市消防団のあり方及び方向性について検討し、今後の小田原市消防計画等に反映することを目的とする。

また、消防団の主体性を重んじるとともに、地域住民である消防団が、地域とともに消防団のあり方を考えることで、地域の実情に沿った消防団体制の構築を目指す。

2 検討内容

- (1) 消防団の組織及び運用について
- (2) 消防団の施設及び車両・資機材について
- (3) 消防団員の処遇改善及び人員確保について
- (4) その他、消防団体制に関すること

3 検討体制



4 検討スケジュール

令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度～ (2024年度～)
<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会準備 ・構成員選任 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会設置 ・検討開始 ・中間報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討結果報告 ・事業予算計上 	<ul style="list-style-type: none"> ※検討結果をもとに計画的に事業を進める。